

目次

License Agreement and Copyright	6
テクニカル サポートと支援.....	7
(略：英文の原本を参照してください：Home・Wiki・GridTracker.org / GridTracker・GitLab)	7
序章.....	7
グリッドトラッカーとは	7
システム要求.....	8
ハードウェアの最小要件.....	8
オペレーティング システムの最小要件	8
GridTracker のインストール.....	8
(略：英文の原本を参照してください：Home・Wiki・GridTracker.org / GridTracker・GitLab)	8
はじめに.....	9
グリッドトラッカーの概要	10
GridTracker マップ ビュー — メイン ウィンドウ.....	12
GridTracker Map.....	12
GridTracker マップの凡例	13
GridTracker タイトル バー	13
コントロールパネル.....	14
操作情報	14
「グリッドトラッカー」	14
「周波数／日時」	14
「ワーキングコールサイン/ロケーション」	15
送受信ステータス.....	15
バンド・アクティビティ.....	15
交信状況	16
マップ ビューフィルター	17
Band.....	18
Mode.....	19
Prop[agation]	19
Data	19
機能メニュー	20
コール・ロースターを開く - ホットキー → R 	20
押しピン モード - ホットキー → P 	20
コールサイン検索ウィンドウを開く - ホットキー → R 	21
統計を表示 - ホットキー → I (i) 	21

オンライン/オフライン モード	 	21
グレーライン オン/オフ - ホットキー → N	 	21
GridTracker マップの凡例のオン/オフ	 	22
オンエア ステータスの共有	 	22
ホットキー一覧 - ホットキー → F1		22
アワード オーバーレイ - ホットキー → ^ or =	       	22
月の位置追跡 - ホットキー → D	 	23
メイデンヘッド グリッド サイズ - ホットキー → W	 	23
オーディオのオン/オフ - ホットキー → M	 	23
GridTracker 設定 - ホットキー → S		23
ADIF ログをロード - ホットキー → L		24
現在の太陽と地球の状態を表示する - ホットキー → C		24
寄付		24
タイムゾーン - ホットキー → 9		24
US Nexrad オン/オフ - ホットキー → 0 (数字のゼロ)		24
メイデンヘッド グリッド オーバーレイのオン/オフ - ホットキー → B		24
PSK スポット レポートの表示 - ホットキー → O	  	24
あなたの PSK 24 時間レポート		25
LoTW ログをダウンロード		26
QRZ ログをダウンロード		26

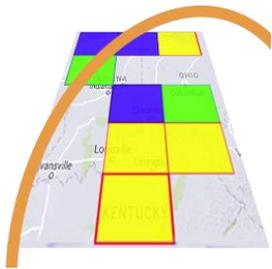
Club ログをダウンロード 	26
ローカル ログのロード 	26
POTA アクティベータ オーバーレイのオン/オフ  	26
GridTracker ユーザーの表示 - ホットキー → G   	27
メッセージウィンドウ 	27
ヒストリー.....	28
設定サブメニュー.....	29
一般タブ General.....	29
参照 タブ Lookups.....	30
オーディオタブ Audio.....	32
地図タブ.....	32
グリッド タブ.....	34
ロギングタブ.....	35
アラートタブ.....	37
音声アラートのクラスの設定.....	37
アラートの限定クラスの設定 (Exceptions)	38
カスタム アラート	39
OAMS タブ.....	40
ログブックタブ.....	41
[Apply Changes].....	42
更新タブ.....	42
About タブ.....	43
GridTracker をあなたのために働かせる.....	44
コール・ロースター (Call Roster) の使用.....	44
コール・ロースターページのレイアウト	44
誰が誰を呼んでいますか?	46
コール・ロースター: データ表示オプション.....	46
コール・ロースターデータ テーブルの列.....	47
コール・ロースター: 「無視」オプション	48
任意の CALLSIGN ステーションを右クリック	48
任意の DXCC の国を右クリック.....	49
Edit Ignores : 無視リストを編集します。	49
コール・ロースターコントロール.....	49
コール・ロースター: ログブックのオプション	50
コール・ロースター: コールサイン オプション.....	50
コール・ロースター: ハンティング オプション	51

探索オプションと限定オプションの設定.....	51
探索ステーション	52
Wanted 「QRZ」 (レスポンス)	53
限定の設定	53
限定の種類.....	54
No、Only、および Regex リミッター.....	54
限定を使用してコールサインをフィルタリングする	55
限定を使用してグリッドをフィルタリングする.....	55
限定を使用して国をフィルタリングする.....	56
コール・ロスター設定.....	57
コール・ロスターモード	57
名簿モード:.....	58
コンパクトモード	59
Call Roster を使用して CQ に応答する.....	59
Call Roster を使用してヒットのスク립トを実行する (例: 携帯電話にプッシュ通知を送信する).....	61
(略: 英文の原本を参照してください: Home・Wiki・GridTracker.org / GridTracker・GitLab)	61
GridTracker ログインのオプションと機能	62
GridTracker は「ログイン プログラム」ですか?.....	62
GridTracker が保存する QSO/Logging レコード	62
GridTracker からログイン情報をエクスポートする	62
ログイン情報の GridTracker へのインポート	63
起動時のログデータのインポート.....	63
ローカル ファイル:.....	64
ウェブサイトのデータ:.....	64
オンザフライ (随時) /任意のログのインポート	64
「ログのクリア」および「ログのロード」ボタンの使用.....	65
「Clear Log」ログをクリアボタンをクリックする	65
「Load Logs」ログの読み込みボタンをクリックする.....	66
オーディオおよびビジュアル アラートの設定.....	66
音声アラート	66
ビジュアルアラート	67
GridTracker 統計	69
ログブックデータ	69
ログブック データの操作	69
スコアとアワード.....	73
スコア	74
アワードタブ	74
ホットキーでのみアクセスできる機能.....	76
GridTracker ファイル ストレージ.....	77
GridTracker プログラム ファイル	77
Windows	77

MacOS.....	77
Linux.....	77
GridTracker データ ファイル	77
ユーザーのメディア ディレクトリ	77
Windows.....	78
ファイルを削除したと思い込ませる__Windows ユーザー向けの特記事項:	78
MacOS.....	79
Linux.....	79
サードパーティの統合.....	79
HamClock.....	79
(略：英文の原本を参照してください：Home・Wiki・GridTracker.org / GridTracker・GitLab)	79
よくある質問 トラブルシューティング	80
問題: GridTracker マップにすべての QSO が表示されない.....	80
問題: GridTracker QSO ステータス (およびマップ) に「正しくない」QSO カウントが表示される	80
問題: GridTracker からの音声アラートが聞こえない	80
問題: Call Roster 機能で送信を開始できないようです (CQ に応答するため)。	80
バグレポートの送信	81
それはバグですか?	81
バグです!	81
Firewalls.....	82
Anti Virus.....	82
リリースノート	83
付録.....	86
付録 A グリッドトラッカーのインストール.....	86
(略：英文の原本を参照してください：Home・Wiki・GridTracker.org / GridTracker・GitLab)	86
付録 B GridTracker 用の WSJT X および JTDX の構成	86
GridTracker 用の WSJT-X の構成.....	86
GridTracker 用の JTDX の構成.....	88
WSJT-X および JTDX 用の GridTracker の構成.....	89
付録 C ホットキー	91
「ホットキー」とは何ですか?	91
GridTracker で「ホットキー」はどのように使用されますか?.....	91

- ◇ 2023/2/23 google 翻訳を基に和訳 JQ3GJU (原本：[Home・Wiki・GridTracker.org / GridTracker・GitLab](https://www.gridtracker.org/wiki/Home))
- ◇ 原本のリリースノート GridTracker v1.21.1212 に対し、翻訳時の動作確認は GridTracker v1.23.0205 と異なるため動作確認環境において、できるだけ実際の動作を頼りに改変していますが、誤りが多々あると思いますので参考程度にご利用ください。
- ◇ 動作確認環境：GridTracker v1.23.0205 WSJT-X v2.5.4 Windows11 v22H2
- ◇ 2023/03/10：Wanted と Exception の訳を“希望”と“例外”から“探索”と“限定”に変更

GridTracker ユーザーガイド



Software written by

Stephen “Tag” Loomis / N0TTL and Henry “atouk” Forte / N2VFL

And the GridTracker.org team

License Agreement and Copyright

GridTracker is Licensed under the BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

The information contained within this site / document is subject to change without notice. The products identified within this document are not approval of or endorsements for any of the product names or trademarks appearing in this document.

Permission is granted to copy this site / information, at no charge for non-commercial purposes. The sources cited and present copyright notice is to be included in all copies. Recipients of copies are equally bound to abide by the present conditions. Prior written permission is required for any commercial use or publication of this document, in whole or in part.

Copyright © 2022 GridTracker.org

All Rights Reserved Worldwide

WSJT-X is copyright © Joseph Taylor, K1JT and the WSJT-X Development Group, et al.

<https://physics.princeton.edu/pulsar/K1JT/wsjsx.html>

JTDX is copyright © Igor Chernikov, UA3DJY and Arvo Järve ES1JA

<https://jtdx.tech/>

HamClock is copyright © Elwood Charles Downey, WB0OEW, Clear Sky Institute

<https://www.clearskyinstitute.com/ham/HamClock/>

Microsoft® is a registered trademark and Windows Vista®, Windows 7®, Windows 8®, Windows 8.1®, Windows 10® are trademarks of Microsoft Corporation.

Mac® and macOS® are registered trademarks of Apple, Inc.

Linux® is the registered trademark of Linus Torvalds in the U.S. and other countries.

Linux AMD/Intel --

AMD is a registered trademark of Advanced Micro Devices, Inc.

Intel is a registered trademark of Intel Corporation
Linux ARM 32 / Raspberry Pi - Odroid -- add registered trademark info/stuff
Raspberry Pi is a registered trademark of the Raspberry Pi Foundation
PSK-Reporter (are we using the .de or .info site for the GT feed?)
QRZ.Com: Copyright 2021 by QRZ.com
ClubLog: Club Log © Michael Wells G7VJR
eQSL.cc: Copyright 1998-2021 Electronic QSL Card Centre, a division of Air Wave Productions, LLC
LotW : Copyright 2021 American Radio Relay League, Inc. All Rights Reserved
Log4OM : (Copyright 2011-2012) by Daniele Pistollato
N3FJP Loggers: (Copyright 1997-2021)Written by G. Scott Davis N3FJP

テクニカル サポートと支援

(略: 英文の原本を参照してください : [Home · Wiki · GridTracker.org / GridTracker · GitLab](https://www.gridtracker.org/))

序章

グリッドトラッカーとは

GridTracker はアマチュア無線用に設計されています。元のキャッチフレーズは、「GridTracker は WSJT-X からのトラフィックをリッスンし、マップ上に表示します。ADIF ログ ファイルも読み込みます」でした。

これは 2018 年 2 月にさかのぼります。GridTracker のコアはその説明に忠実であり続けていますが、FT8 だけでなく、非常に強力なアマチュア無線ツールに進化しました。

GridTracker は、ライブ トラフィック デコード、ログブック、スポット レポート、天気、現在の太陽の状態などから、使いやすいインターフェイスに表示されるアマチュア無線情報の倉庫です。

GridTracker の機能の一部は次のとおりです。

- 鮮やかで高度にカスタマイズ可能なインタラクティブなマップ上で、リアルタイムおよび過去の交信先を高度にマッピングします。 グレーライン、リアルタイムアワード追跡、落雷、月の位置、PSK-レポーター受信レポート (スポット) など、多くのオーバーレイがサポートされています。 詳細な州、グリッド、および郡の情報は、マップからすぐにアクセスできます!
- オーディオ/ビジュアルのカスタマイズ可能なアラート
- 一般的なデータベースからの包括的なコールサイン検索サポート。
- ライブ アクティビティの「Call Roster」テーブル ビューも、アワード チェイサーや特別なイベントをサポートするために高度にカスタマイズ可能です。 ワンクリックで簡単に QSO を開始できます。
- GridTracker は、多くの一般的なログ記録プログラムや Web ベースのシステムと統合されているため、アワードの進捗状況を分単位で確認できます。
- 完全な DXCC、国、コールサイン プレフィックスの認識
- フィールドデイ、SOTA、IOTA、および/またはモバイルでの使用に使用できる 100% オフライン モード。

- Off-Air Messaging System (インターネットを介して潜在的な QSO パートナーにメッセージを送る)
- GridTracker ステーション間のリアルタイムスポッティングネットワーク
- これは無料です!

GridTrack ではないもの:

GridTracker はロギング プログラムではありません。代わりに、WSJT-X からの QSO ログ データに加えて、コンピュータ、ネットワーク、またはインターネットに保存されている adif 形式のファイルの任意の組み合わせが表示されます。

GridTracker は現在、あなたを念頭に置いて活発に開発されています。あなたが見たいものを教えてください!

システム要求

ハードウェアの最小要件

無線機	SSB/FM トランシーバー
アンテナ	さまざまな構成
コンピューター	最近の x86 (32 または 64 ビット) PC、MacOS Intel または ARM (32 または 64 ビット)
モニター	解像度 1024 x 780 SDR、WSJT-X/JTDX、および GridTracker を一度に見るには、2 台目または 3 台目のモニターが非常に役立ちます。

オペレーティング システムの最小要件

Windows	バージョン: 7、8、8.1、10
MacOS	バージョン: OS X Mojave、Catalina または OS 11 Big Sur
Linux AMD/インテル	最新の Linux カーネルとグラフィカル ユーザー環境を備えた任意の Linux ディストリビューション。32 ビットのサポートは最終的に終了するため、64 ビットを強くお勧めします。
Linux ARM 32 / ラズベリー PI - Odroid	Linux の 32 ビット ARM ディストリビューション (64 ビットは現在まだサポートされていません)

GridTracker のインストール

(略: 英文の原本を参照してください: [Home · Wiki · GridTracker.org / GridTracker · GitLab](https://www.gridtracker.org/wiki/Getting_GridTracker))

はじめに

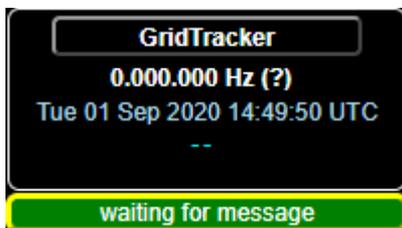
オペレーティング システムに応じて、GridTracker はコマンド ライン、スタート メニュー、またはショートカットから起動できます。

GridTracker は、WSJT-X または JTDX をコンピュータにインストールする必要はなく、実行する必要さえありません。ただし、いずれかのプログラムがインストールされているかどうか、および起動時に実行されているかどうかは、(可能であれば) 自動的に検出されます。

GridTracker がシステム内の WSJT-X または JTDX の構成ファイルを見つけることができる場合、コールサイン、メイデンヘッド グリッド スクエア、オペレーティング バンド、オペレーティング モード、およびネットワーク構成を自動的に読み取ります。GridTracker の最初の起動時に WSJT-X または JTDX がコンピュータ上で実行中のプロセスであることを GridTracker が検出すると、実行中のプログラムのネットワーク構成の詳細に合わせて自分自身を構成しようとします。



GridTracker と WSJT-X の間の接続が確立されると、コントロール パネルの上部にある操作情報セクションに周波数と時刻/日付の情報が表示され、WSJT-X ステータス バーに "RECEIVE" が表示されます。



GridTracker が WSJT-X からステータス情報を受信していない場合、WSJT-X ステータス バーにはメッセージを待っていると表示されます。

WSJT-X が実行されていないか、GridTracker がネットワーク設定を検出できるように構成されていないか、GridTracker が WSJT-X からのメッセージをまだ受信していない可能性があります (最大 15 秒かかる場合があります)。UDP¹ ネットワーク接続を "引き継いだ" 他の支援プログラムを実行している可能性もあります。別の支援プログラムを使用している場合は、GridTracker とその広範な機能に慣れるために、今はシャットダウンすることをお勧めします。

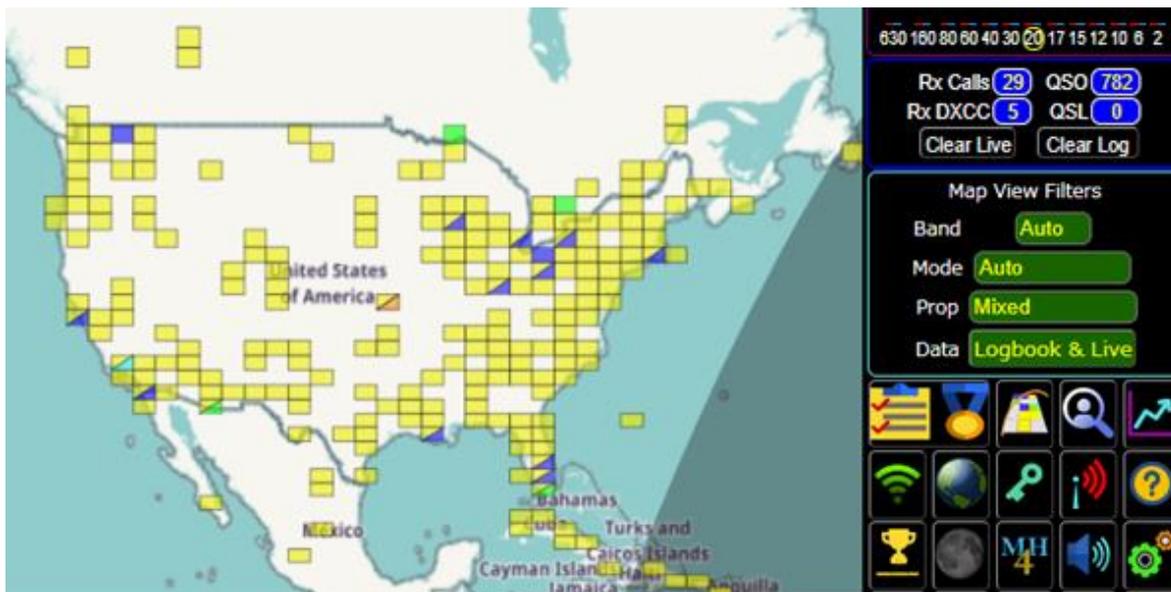
これがすべて計画どおりに進んだ場合、GridTracker は WSJT-X または JTDX からリアルタイムで情報を受信するはずです! そうでない場合は、WSJT-X または JTDX を構成する方法の詳細な手順について、付録 B を参照してください。

¹UDP はユーザー データグラム プロトコルの略です。これは、ネットワーク内のコンピューティング デバイス間でメッセージ (つまり、データグラム) を送信するために、TCP (伝送制御プロトコル) の代替として使用できる通信プロトコルです。 ←

グリッドトラッカーの概要

GridTracker マップは、メイデンヘッド グリッドによるすべての無線交信先 (QSO) を視覚的に表現したものです。地図上の任意の場所をクリックしてドラッグすると、地図を移動できます。マップを拡大して、1 つの国で交信先がある場合とない場合のすべてのグリッドを確認できます。マップのサイズを縮小して、世界中で交信先を作成したすべてのグリッドを確認できます。

WSJT-X にはグリッド スクエアがロードされており、それが GridTracker が存在する理由です。



GridTracker は、起動時にアクティブな wsjtx_log.adi ファイルを自動的にロードします。この GridTracker は、「交信済み」の QSO を得て「表示」します。(ただし、他のソースから他のログ ファイルをロードできるオプションもあります。)



GridTracker の右上隅に「QSO」というラベルがあり、右側に数字が表示されます。これは、「ログ レコード」とも呼ばれる GridTracker が wsjtx_log.adi ログ ファイルで検出できた QSO の数です。(インポートすることを選択した場合は、その他のログ ファイルも含まれます)。

Legend	QSO	QSL
QSX	CQ	CQDX
QRZ	QTH	WSPR

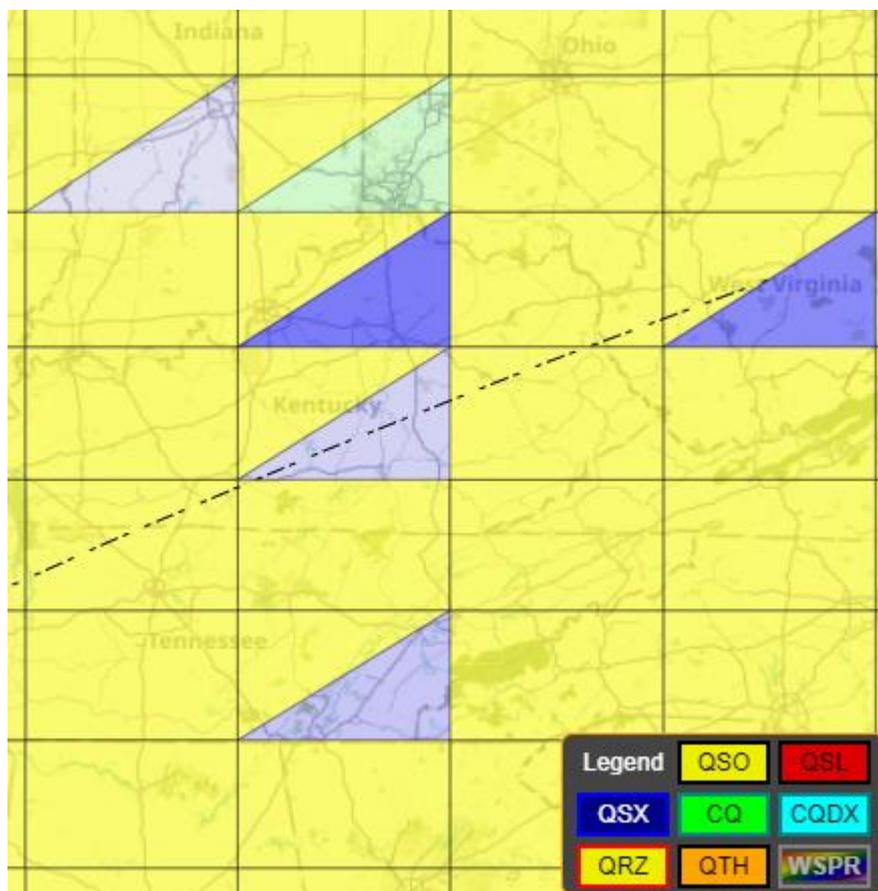
これらの QSO は、交信先を見つけるためにアマチュア無線で使用される標準のメイデンヘッド グリッド システムに対応するマップ上の黄色のボックスで強調表示されます。マップの左下隅にあるマップの凡例には、交信先だけでなく、確認済みの交信先 (赤いボックス) とライブ トラフィックの色分けが表示されます。通常、標準の WSJT-X メッセージには、送信者のメイデンヘッド グリッドの場所が含まれています。これは、WSJT-X が作成する標準の [初期設定] メッセージに含まれています。

「CQ N0TTL CN84」

「NOTTL N2VFL FN20」

GridTracker は、WSJT-X で行われたライブ メッセージのデコードからグリッドの位置を取得し、リアルタイムで GridTracker マップにマッピングします。

GridTracker は、2 つのステーションが互いに QSO 状態にあることも認識します。2 つのステーションのグリッド間に「Q パス」(測地線)が描画されます。アニメーションを有効にすることを選択した場合、ラインはトラフィックの方向に「アリの行進」として表示されます。これを「QSX」(2局間のトラフィック)と呼んでいます。

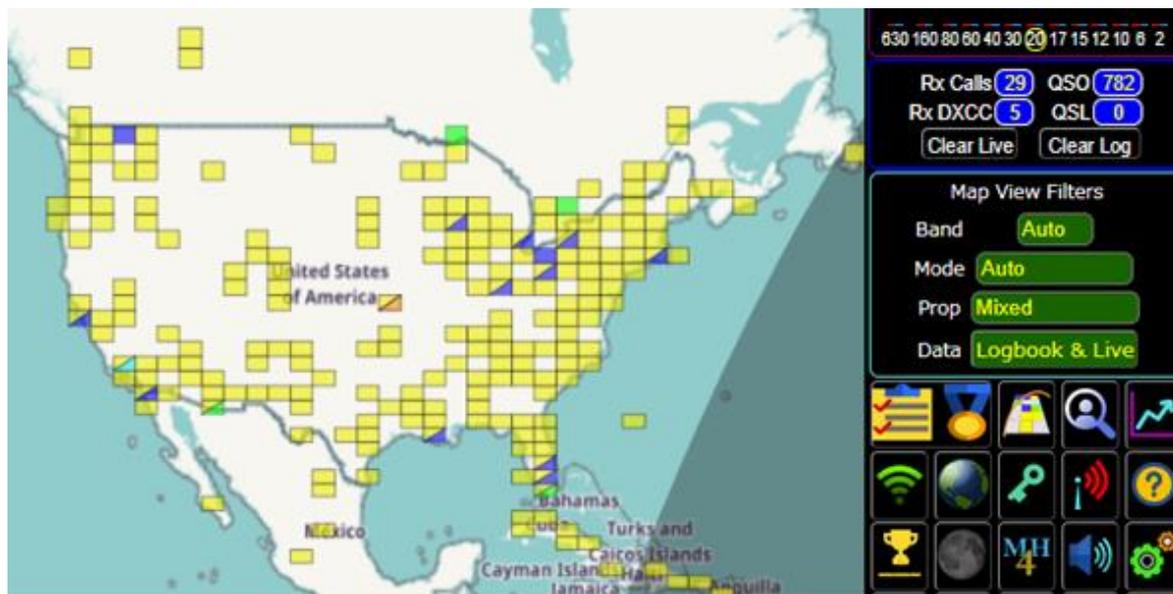


WSJT-X で確認済みのステーションをいくつか蓄積すると、最終的にいくつかのグリッドが対角線で半分に分割されていることがわかります。これらのグリッドは、「スプリット グリッド」と呼ばれるものです（「リグ スプリット」と混同しないでください）。

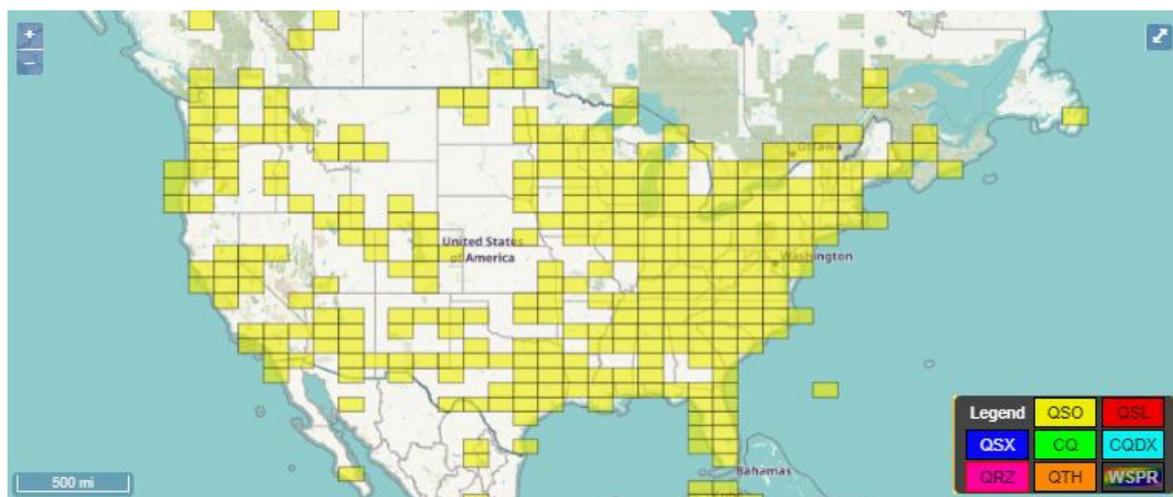
ログブック（または履歴）データとライブ データの両方を表示するオプションを選択すると、GridTracker マップは分割グリッドを表示します。スプリット グリッドは、以前にグリッド内のステーションとの QSO をログに記録した（黄色の三角形）と、現在ライブ QSX トラフィック（青色の三角形）が発生しているグリッドです。緑と水色の三角形も表示され、これは、グリッド内のステーションが CQ を呼び出していることを意味します。

GridTracker マップ ビュー — メイン ウィンドウ

GridTracker のメイン ウィンドウは、GridTracker マップ、コントロール パネル、およびアプリケーション タイトル バーの詳細で構成されています。



GridTracker Map



GridTracker マップは、選択した世界の「グリッド ステータス」を表示します。拡大して 1 つの国または大陸だけに注目したり、縮小して地球全体を表示したりできます。マップの焦点をどこに合わせるかを決定したら、ベース マップに追加するオーバーレイの種類と、それらのオーバーレイが表示する詳細とデータを決定します。上記の例は、ユーザーのログブック データを示しています。QSO を行ったすべてのメイデンヘッド グリッドが黄色で強調表示されます。ライブ データまたはログブックとライブ データの表示を選択すると、グリッドが異なる色で強調表示されます。マップ ウィンドウの右下隅にある凡例は、グリッドの強調表示に使用される色分けスキームを示しています。

➤ 練習のヒント: [設定→グリッド メニュー](#)で、好みに合わせてグリッドの色分けを変更できます。

マウス ポインタをマップ上の「強調表示された」グリッドに合わせると、一時的なポップアップ ウィンドウが表示され、グリッド内のステーションに関する情報が表示されます。グリッドで行った QSO の情報や、そのグリッドで現在発生しているライブ トラフィックの情報が表示されます。

任意のグリッドを右クリックすると、固定ポップアップ ウィンドウが表示され、マウスまたはキーボードでグリッドの詳細を調べることができます。

GridTracker マップの凡例



これは、GridTracker マップの凡例です。覚えておいてください：

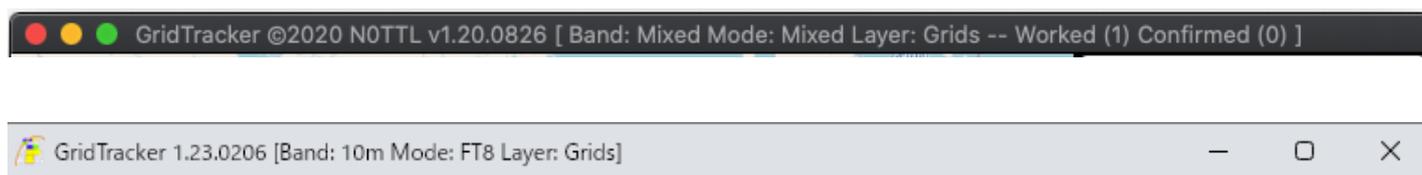
- オンまたはオフにすることができます。
- これらの色は、好みに合わせて変更できます。

凡例では、標準の「Q」コードを短縮形として使用して、GridTracker マップ内のグリッドのステータスを識別します。

- QSO: 更新済みの局があるグリッド。
- QSL: あなたの QSO が相手局によって確認されたグリッド。
- QSX: あなた以外の局と交信中の局があるグリッド。
- CQ: 少なくとも 1 つのステーションが CQ を呼び出しているグリッド。
- CQDX: 少なくとも 1 つのステーションが CQ DX を呼び出しているグリッド。
- QRZ: 少なくとも 1 つのステーションがあなたを呼んでいるグリッド。
- QTH: あなたの局が稼働しているホーム グリッド。
- WSPR: ウィスパー (微弱信号伝播レポーター) 局の信号を受信しているときに表示されるグリッド。グリッドの色は、PSK Reporter の配色に従ってグリッドがデコードされたバンドによって異なります。

GridTracker タイトル バー

タイトル バーは、オペレーティング システムによって若干異なります。



使用することを選択したマップ機能に関する情報が表示されます。これらの例では、ユーザーは以下を示すマップを使用しています。

上の例、Mac OS: すべてのバンド (つまり、Band: Mixed) とすべてのモード (つまり、Mode: Mixed) の交信先を持つすべてのグリッド。

下の例、Windows 11: FT-8 モードを使用して 10 メートル バンドで作成されたコンタクトを含むすべてのグリッド。

コントロールパネル

コントロール パネルにはいくつかのセクションがあり、幅広い情報と機能が小さなスペースに詰め込まれています。



操作情報

「グリッドトラッカー」

このセクションの上部にある「GridTracker」というラベルの付いたボタンをクリックすると、GridTracker コントロール パネルのオンとオフが切り替わります。

「周波数／日時」

GridTracker ボタンの下の最初の 2 行には、現在の動作周波数、バンド、モードが表示され、その後に現在の日付と時刻 (UTC) が表示されます。

➤ 練習のヒント: 日付/時刻情報の行をクリックして、UTC と現地時刻を切り替えます。

「ワーキングコールサイン/ロケーション」

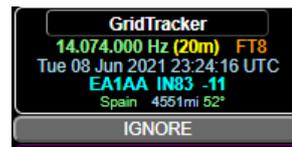
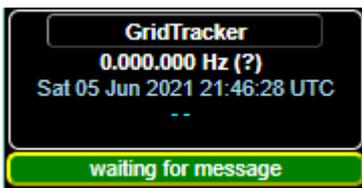
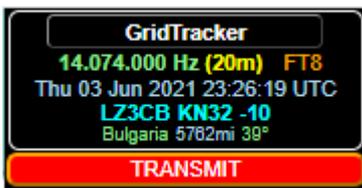


日付と時刻の後の 2 行は、最近メッセージを送信または受信したステーションのコールサインと地理的位置、グリッド スクエア、および Tx の dB レベルを示します。また、相手の国、自分のステーションと相手のステーションの間の距離、および方位角も表示されます。

オフラインの場合、または WSJT-X に接続していない場合、これらの行は空白になります。

送受信ステータス

このボタンは、WSJT-X 操作のステータスを示します。

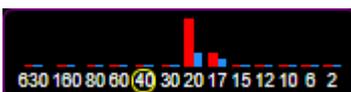


←着信メッセージ無視

Tx/Rx ステータスボタンをクリックすると、他の GridTracker ユーザーからの着信メッセージを無視します

注: このボタンをクリックすると、ログ イベント以外の WSJT-X からの受信データが遮断されます。

バンド・アクティビティ



この棒グラフは、あなたが使用する QTH のグリッド スクエアに基づいて PSK Reporter から取得したデータを示しています。（注: サーバーが過負荷の場合、PSK Reporter からのフィードは停止または遅延する可能性があります。）

新しい OAMS「バンド アクティビティ」機能によりリアルタイム スポットニング ネットワークを利用して補足的なバンド アクティビティを提供できるようになりました。 [\[設定\]](#) > [\[OAMS\]](#) で「バンド アクティビティ

(Band Activity)」が有効 (デフォルト) の場合、青いバーは OAMS スコアで、PSK-Reporter は赤いバーです。

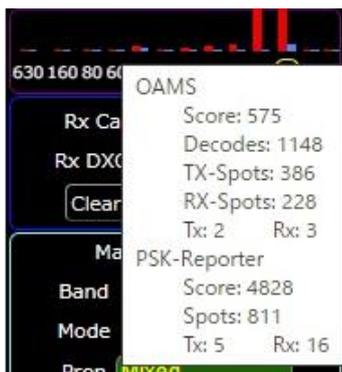
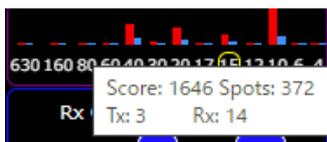
[\[設定\]](#) > [\[OAMS\]](#) 「バンド アクティビティ (Band Activity)」で「近隣グリッド (Neighboring Grids)」を有効にすることができ、自分のグリッドを含む隣接する 8 つのグリッドが含まれたスコアになります。

このグラフは次のことを示しています。

- 現在使用しているバンド - 丸で囲まれています。上の図では 40 メートルです。
- バンドの現在の相対的なアクティビティ。この例では、ユーザーの約 75% が 20 メートル、25% が 17 メートルにいるように見えます。

- 赤: PSK-Reporter スコア (PSK-Reporter によって計算された値で、あなたのグリッドスクエアにおける現在の操作モードでのこのバンドの総合スコアを示します)
 - 青: OAMS スコア
- これらのいずれかにマウスオーバーすると、スコアが表示されます: XXX スポット:ZZZ TX: AAA RX: BBB

- ・ XXX:計算されたスコア
- ・ ZZZ: あなたのグリッドスクエアで検出されたリモート ステーションの数
- ・ AAA: あなたのグリッドスクエアから送信しているアクティブなステーションの数
- ・ BBB: あなたのグリッドスクエアからの受信ステーションの数。



←[オンエア ステータスの共有](#)をオンすると
[OAMS](#) スコアが追加されます

あなたの送信が受信されたスポットの表示を見たい場合は、[機能] メニューの [[PSK スポット レポートの表示](#)] ボタンを使用します。

交信状況



- RX Calls: GridTracker の現在の起動時より WSJT-X で受信したコールサインの数。
- QSO: これまでの交信の総数。 初期設定では、これは現在の作業中の WSJT-X ログに反映されている交信先の総数です。 追加のログから QSO データをインポートすることを選択した場合、その数はそれに応じて増加します。
 - 練習のヒント: ここに表示される合計数は、選択した GridTracker オプションと、WSJT-X 以外のソースからの QSO データを含めるかどうかによって異なります。
 - 練習のヒント: カウント数 (楕円形の数字) をクリックすると、GridTracker 統計ページが開きます。
- Rx DXCC: GridTracker の現在の起動時より WSJT-X で受信した DXCC ステーションの数。
- QSL: ログブックにある「確認済み」の交信先の数。

WSJT-X ソフトウェアが「確認」と呼ぶものと、ログ サイトまたは LoTW などのアプリケーションで発生する「確認」を区別することが重要です。

WSJT-X のメイン ウィンドウで [ADD] または [Log QSO] ボタンをクリックするか、自動ログ機能を使用しているときに [OK] をクリックすると、WSJT-X でコンタクトが「確認」されます。 しかし、それは、あなたと別

のステーションの両方が独立して情報を送信するときに発生する「確認」とは異なります。

GridTracker は、指示しない限り WSJT-X 以外のソースからのログ情報を「見る」ことはありません。これを行うには、LoTW や eQSL などのソースから情報をアップロードするためのオプションを具体的に選択する必要があります。それは [設定] > [ロギング] サブメニューで行われます。

- **Clear Live:** GridTracker に表示されている現在のライブ データをクリアします。
- **Clear Log:** 作業ログ情報をクリアします - QSO ステータス ボックスの QSO カウントとグリッドの強調表示の両方をクリアしますが、ファイルは削除しません。ロードして GridTracker に表示するログ ファイルを変更する場合は、これを選択できます。既存のログ データをインポートするためのオプションの詳細

wsjtx_log.adif ファイルからデータを消去し、代わりに他のソース (システムのどこかに保存された .adif ファイル、LoTW からアップロードされたデータなど) からの QSO/QSL データの組み合わせを調べたい場合は、暫定的な方法があります。

注意: GridTracker を使用してロギング アプリケーションにデータをアップロードしたり、WSJT-X から別のロギング プログラムに交信先情報を手動でアップロードしたりした場合、WSJT-X データが含まれます。

- (1) メイン GridTracker コントロール パネルの QSO ステータス セクションにある [ログのクリア] ボタンをクリックします。
- (2) Load Local または Download LoTW または Download Club Log または Download QRZ Log ボタンを使用して、これらのログの 1 つまたは複数 を GridTracker の作業データベースに手動でロードします。(ADIF ボタンをクリックすると、GridTracker_QSO.adif ファイルがロードされますが、これは単に WSJT-X データの複製である可能性があります。

細に

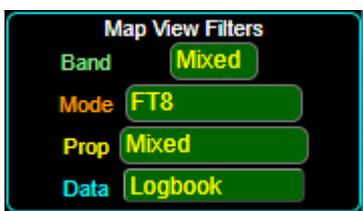
については、このマニュアルの「[ログのオプションと機能](#)」セクションを参照してください。

注: 大まかに言えば、WSJT-X QSO データを表示しないオプションはありません。GridTracker は、プログラムの起動時に、コンピューターに保存されている wsjtx_log.adif ファイルに含まれる情報を常に取得します。

- **Load Logs:** このコマンドは、(1) wsjtx_log.adif ファイルと (2) 起動時に GridTracker にロードするように指示したその他の .adi / .adif ファイルをロードします。既存のログ データをインポートするためのオプションの詳細については、このマニュアルの「[ログのオプションと機能](#)」セクションを参照してください。

GridTracker QSO ログ データが保存される場所の詳細については、このマニュアルの最後にある「[GridTracker ファイル ストレージ](#)」セクションを参照してください。

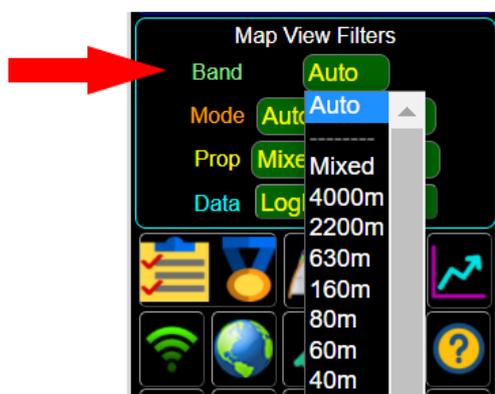
マップ ビューフィルター



このセクションでは、マスター グリッド オーバーレイの GridTracker マップに表示する情報の種類と量を決定できます。(タイムゾーンやグレーラインなどのその他のオーバーレイは、GridTracker 機能メニューで個別に処理されます。)

➤重要な練習のヒント: このボックスのオプションは、「日々の」作業グリッド マップだけでなく、アワード オーバーレイと統計表にも表示されるデータの量と種類に影響します。ログブック データのカラー グリッド マップ ビュー オーバーレイは、選択したバンド、モード、伝播オプションを反映しています。バンド、モード、またはデータに関係なく、すべての交信先をグリッド オーバーレイで表示したい場合は、これら 3 つのマップ ビュー フィルター オプションすべてで [混合] を選択します。

Band

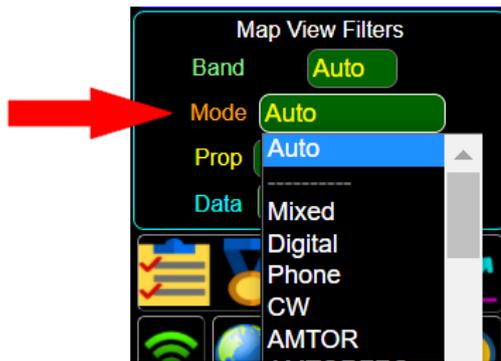


Gridtracker は、WSJT-X を自動的に追跡します。つまり、「グリッド ステータス」、つまり、グリッドを操作したかどうか、または特定のグリッド内のステーションが選択したバンドでアクティブに送信しているかどうかが表示されます。ドロップダウンリストには、米国のハムが操作できないバンドがいくつかありますが、GridTracker は世界中のユーザーが利用でき、他の国では異なる帯域権限があります。

- **Auto:** WSJT-X で現在使用されている (または、新しいセッションを開始している場合は最後に使用された) バンドのグリッド ステータスを示します。
- **Mixed:** すべてのバンドのグリッド ステータスを表示します
- **選択したバンド:** その特定のバンドのグリッド ステータスを示します。

注: これらの各選択肢は、選択したデータ ストリームによってさらに絞り込まれます: Logbook、Live、または Logbook & Live。以下の [DATA](#) を参照してください。

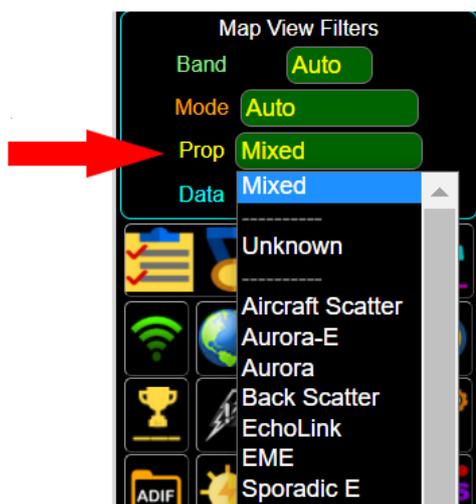
Mode



モードセレクターを使用すると、グリッド表示を広くまたは狭く調整できます。ドロップダウンリストでは、電話、デジタル、または CW などの送信のタイプまたはモードを選択できます。特定のデジタルプロトコル (FT-8、PSK、JT9 など) または「自動」または「混合」。

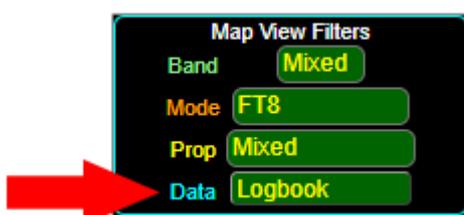
- **Auto:** WSJT-X で現在使用されているモードのグリッドステータスを表示します (または、新しいセッションを開始する場合は最後に使用されたモード)。
- **Mixed:** モードに関係なく、Gridtracker に読み込んだすべての交信先のグリッドステータスを表示します。SSB、CW、すべてのデジタルまたは個別のデジタルモードがすべて混在しています。
- **Digital、CW、FT-4、FT-8、PSK31、WSPR など。** 選択した特定のモードの QSO グリッドを表示します。選べるモードは 100 種類以上！

Prop[agation]



表示する伝播モードを選択します。初期設定値は Mixed ですが、他に 18 個の値と共に "unknown" を選択することもできます。

Data



このボックスをクリックすると、ログブック、ログブックとライブ、またはライブの 3 つのオプションでメイン

の GridTracker マップが循環します。(GridTracker がアクティブ ウィンドウの時には、代わりにホットキー Q を入力することもできます。)

- **Logbook:** 過去に交信 [QSO を行った] をグリッドに記録したことがある場合、グリッドが強調表示されます。強調表示の配色は、マップの凡例に表示されます。QSO に割り当てられた初期設定の色は黄色ですが、[\[設定\] > \[グリッド\]](#) サブメニューで配色を変更できます。

▶ 練習のヒント: ログブック オーバーレイに表示される情報は、[\[設定\] > \[ロギング\]](#) サブメニューで選択したオプションによって異なります。作業ログ以外の QSO データを WSJT-X に組み込みたい場合は、LoTW、QRZ.com などからそのデータを ADIF ファイルの形式でロードするオプションを選択する必要があります。グリッド オーバーレイに QSL データを表示する場合は、ローカルの ADIF ファイル、LoTW、QRZ.com などからデータをロードする必要があります。繰り返しますが、WSJT-X からのデータ ストリームとログ レコードは、別の局が QSO を確認したかどうかを知りません。

- **Logbook & Live:** 過去にグリッドに交信先を記録したことがある場合、またはグリッド内のステーションが現在アクティブである場合、グリッドが強調表示されます。両方の状況が当てはまる場合、グリッドは対角線で分割されます。グリッドの上側の三角形は、QSO の凡例の色で強調表示され、下側は CQ などと呼び出すステーションの凡例の色です。
- **Live:** ステーションが現在アクティブかどうかを反映するために、グリッドが強調表示されます。

機能メニュー



上のスクリーン グラフは、GridTracker 機能メニューの初期状態を示しています。設定サブメニューで特定のオプションを選択すると、その機能用のボタンが追加で表示されます。

コール・ロースターを開く - ホットキー → R



コール・ロースター (受信された局の名簿) 機能は非常に広範囲に及ぶため、このマニュアルには独自のセクション“[コール・ロースターの使用](#)”があります。しかし、要するに、CQ を呼び出しているステーションなどを追跡してアタックするために使用できる多くの機能です。

押しピン モード - ホットキー → P



この機能は、グリッドの色の凡例をオフにし、代わりに、交信先を作成したすべてのグリッドの中央に「押しピン」を配置します。ライブ モードの場合、すべてのアクティブなグリッド (つまり、アクティブなステーションのあ

るグリッド) にピンク色のピンが表示されます。ログブック モードでは、QSO を行ったグリッドに赤いピンが表示されます。 ログブック & ライブ モードでは、ピンク色と赤色のピンが混在して表示されます

コールサイン検索ウィンドウを開く - ホットキー → R



WSJT-X を実行しているかどうかに関係なく、いつでもコールサインの所有者を調べることができます。このボタンをクリックして Callsign ボックスにコールを入力し、「Lookup」ボタンをクリックするか、キーボードの「Enter」キーを入力します。

GridTracker は、コールサイン検索の初期設定のウェブサイトとして Callook.info を使用します。ただし、[設定 > Lookups](#) サブメニューで別の Web サイトに手動で変更できます。

GridTracker は WSJT-X とリンクされているため、WSJT-X で送信するたびに GridTracker がコールサイン情報を含むウィンドウを自動的に開くオプションを選択できます。これらの設定については、[設定 > Lookups](#) を参照してください。WSJT-X で CQ をクリックして応答すると、この機能は自動的にそのステーションを検索します。

▶ 練習のヒント: コールサイン検索ウィンドウ に表示される量とタイプの情報は、検索用に選択した ウェブサイトによって異なります。

統計を表示 - ホットキー → I(i)



これは GridTracker ログブックと統計ウィンドウです。そこに含まれるデータは、ほぼ無数の方法でフィルタリングおよびソートできます。アワードボタンを使用すると、交信先の範囲を視覚的に表示できます。統計機能を使用すると、それらをリスト形式で表示できます。

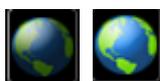
▶ 練習のヒント: 統計ページに表示される情報は、[マップ ビューフィルター](#)と [\[設定\] > \[ログブック\]](#) サブメニューの両方で選択したオプションによって異なります。

オンライン/オフライン モード



GridTracker のオンライン/オフライン状態を切り替えます。オフラインの場合、オンライン マップは使用できず、初期設定のオフライン マップが使用されます。また、GridTracker は、QSO をオンライン ログ サービスに記録したり、オンライン ログ サービスから同期したりすることはなく、OAMS およびスポットティング サービスも利用できません。このモードは、インターネット接続が利用できない場合、または非常に信頼できない場合 (フィールドデイ、POTA など) のために GridTracker を最適化します。

グレーライン オン/オフ - ホットキー → N



昼と夜の間のグレーラインを表示するかどうかを選択します。

GridTracker マップの凡例のオン/オフ



マップの凡例の詳細については、[\[設定\] > \[グリッド\]](#) を参照してください。

オンエア ステータスの共有



オンエア ステータスを他の GridTracker ユーザーと共有するかどうか。ただし、ステータスを共有しない限り、GridTrackers ユーザーを表示する機能は使用することができません。

共有については[\[設定\] > \[OAMS\]](#)を参照してください。

ホットキー一覧 - ホットキー → F1



ホットキー オプションの完全なリストについては、[付録 C](#) を参照してください。

➤ 練習のヒント: このホットキーまたは他のホットキーが機能するには、GridTracker がアクティブなコンピュータ ウィンドウである必要があります。

アワード オーバーレイ - ホットキー → ^ or =



- このボタン (またはホットキー“^”：日本語キー or “=”：英語キー) を押すと、一連のオーバーレイが循環し、さまざまなアワードに対するステータスが表示されます。
- マップ ビュー フィルターを使用してアワードの実績をフィルター処理して、すべての交信先を表示したり、バンドやモードの任意の組み合わせで交信先を絞り込んだりできます。
- : アワード カップに下線はアワードが表示されない初期設定のビューです。

注: アワード オーバーレイをクリアするには、“_”まで移動させるか「ホットキー → 1」を押す必要があります。アワード オーバーレイ ボタンはオン/オフを切り替えません。

- CQ: 交信した CQ ゾーン (ホットキー → 2)
- ITU: 交信した ITU ゾーン (ホットキー → 3)
- WAC: すべての大陸と交信 - あなたが交信した大陸 (ホットキー → 4)
- WAS: 米国のすべての州と交信 - あなたが交信した米国の州 (ホットキー → 5)
- DXCC: 交信した DX の国 (ホットキー → 6)
- USC: 交信した米国の郡 (ホットキー → 7)
- US48: 米国本土で交信したメイデンヘッド グリッド (ホットキー → 8)

➤ 練習のヒント: 英数字のメイデンヘッド グリッド コードは、アワード グリッドの上に重ねることはできません。

アワード オーバーレイ + アクティブな GridTracker マップ - ホットキー → U

GridTracker マップに表示される強調表示されたグリッドに加えて (またはその上に) アワード レイヤーを表示したい場合は、2 つの方法でそれを実現できます。

1. 常にグリッド ステータスの上にアワードを表示する: [\[設定\]](#) > [\[マップ\]](#) メニューに移動し、[Merge Award Overlay] のボタンをクリックします。これにより、グリッド ステータス レイヤーに重ねてアワード レイヤーが「永続的に」表示されます。

2-a グリッド ステータスの上にアワードを表示するオプション: [\[設定\]](#) > [\[マップ\]](#) メニューで [Merge Award Overlay] ボタンをオフのままにします。

b. アワード レイヤーがアクティブな状態で、文字「U」を入力します (ホットキー → U)。

これにより、アワードレイヤー表示の下にアクティブな グリッド ステータス マップ データが追加されます。

注: グリッド ステータスは、ログブック、ログブックとライブ、またはライブのいずれかです。そして、これら 3 つの状態を個別に切り替えることができます。

月の位置追跡 - ホットキー → D  

GridTracker マップ上に大きな月 (チーズ ボール) の位置を示します。

メイデンヘッド グリッド サイズ - ホットキー → W  

メイデンヘッド 4 と メイデンヘッド 6 のグリッドを切り替えます。

MH4 グリッドは メイデンヘッド グリッドです。1 つのグリッド = 緯度 1°、経度 2°。MH4 グリッドは、2 つの文字と 2 つの数字で定義されます (例: EM76)。MH4 と MH6 の違いは、MH6 グリッドが MH4 正方形の「サブグリッド」であることです。MH6 グリッド コードは、2 つの大文字、2 つの数字、および 2 つの小文字を使用します。たとえば、EM76ko です。MH4 グリッド内に 576 個の MH6 サブグリッドがあるため、比較するとサイズが「小さい」です。MH6 グリッドは、マップをかなり拡大するまで、GridTracker マップ上のドットのように見えます。MH6 を選択すると、6 桁のグリッドを提供する QSO/QSL ステーションがマップから消えたように見えます。これは、多くの QSO が「削除」された理由を疑問に思っているユーザーからよく寄せられる質問で、MH4 を選択すると表示の問題が「解決」されます。

オーディオのオン/オフ - ホットキー → M  

さまざまなイベントが発生したときに、GridTracker から可聴アラートを受け取ることを選択できます。このボタンを使用すると、オーディオをオンまたはミュートにすることができます。

GridTracker 設定 - ホットキー → S 

[設定サブメニュー](#)の下には、ユーザーが特定の設定に合わせて GridTracker を最適化できる広範なメニュー オプションがあります。これらの各サブメニューについては、それぞれのセクションで説明します。このボタンは、設定ウィンドウのオンとオフを切り替えます。

ADIF ログをロード - ホットキー → L



このボタンをクリックすると、ローカルの GridTracker_QSO.adif ファイルが保存されているフォルダーのディレクトリ ウィンドウが開きます。そのファイル名（または実際にはそこに保存されている他の .adi/adif ファイル）をクリックするだけで、GridTracker にアップロードされます（つまり、GridTracker ファイルである必要はありません）。

オペレーティング システムが GridTracker_QSO.adif ファイルを保存する場所については、[GridTracker データファイル](#)のセクションを参照してください。

現在の太陽と地球の状態を表示する - ホットキー → C



出典: <http://www.hamqsl.com/solar.html>

寄付



このボタンをクリックすると GridTracker の Web サイトに移動し、GridTracker を無料でダウンロードできるようにしてくれている人々に少しお返しをすることができます。

タイムゾーン - ホットキー → 9



GridTracker マップにオーバーレイを追加して、グローバル タイム ゾーンの線を表示します。それだけではありません。マウスを任意のゾーンに合わせると、ポップアップ ウィンドウが表示され、GMT に対する現地のオフセットと現地の日付と時刻が表示されます。

US Nexrad オン/オフ - ホットキー → 0 (数字のゼロ)



このオーバーレイには、米国（のみ）の気象レーダー フィールドが表示されます。NEXRAD (Next Generation Weather Radar) は、National Weather Service (NWS) およびその他の米国政府機関によって運用されている 160 の高解像度 S バンド ドップラー気象レーダーのネットワークです。

メイデンヘッド グリッド オーバーレイのオン/オフ - ホットキー → B



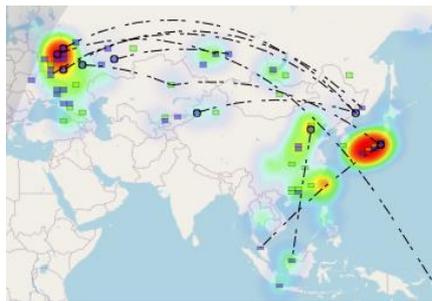
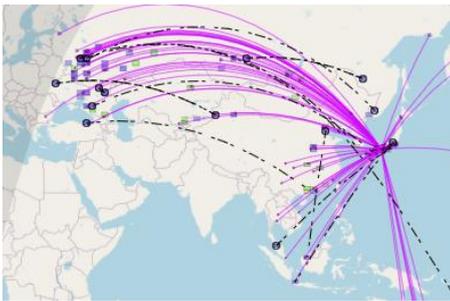
このオーバーレイには、MH4 のメイデンヘッド グリッド コードの実際のグリッド ラインが表示されます（例: DM78）。グリッドには、使用している地図の解像度に応じて、最初の 2 つのアルファベット ロケータ（「DM」）または最初の 4 文字（「DM78」）のラベルが付けられます。より高い解像度にドロップダウンする場合は、MH6/MH4 ボタンをクリックして MH6 グリッドに切り替え、GridTracker マップの解像度を上げて表示できるようにします。注: これらのすごく小さいグリッドにはラベルが付けられていません（例: DM78pf）。

PSK スポット レポートの表示 - ホットキー → O



このボタンをクリックすると、あなたが送信した信号の PSK Reporter データのレポートマップ、RX スポット ヒ

ートマップ、オフが循環表示されます。



PSK スポット レポートをオンにすると、コントロール パネルの下部に新しいツールが開き、あなたが送信した信号を受けた PSK Reporter のスポット数とレポートマップ書き換えまでの残り時間が表示されます（送信を行わないと“**No recent TX**”と表示されます）。オレンジ色のスライダー ボタンを動かして、レポートマップに表示するデータの期間（最長 24 時間）を設定できます。

RX スポット ヒートマップでは受信したスポットの？度合を色で表しています。

▶ 練習のヒント：スライダーのサイズを考えると、スライダーをクリックして移動することによって、レポート期間を「微調整」するのが難しい場合があります。ただし、ボタンをクリックした後に左矢印 (⇐) と右矢印 (⇒) のキーボード キーを使用して、期間を好みに設定できます。

PSK データに使用できるオプションがいくつかあります。

- [\[設定\] > \[グリッド\]](#) に移動し、[PSK-Spots Over Grids] のボタンのオン/オフをクリックして、PSK データをグリッド マップの上に重ねるか、グリッド マップの代わりに表示するかを選択します。（または、ホットキー T を押して、PSK スポット データをグリッド上のオーバーレイにするか、別のマップにするかを切り替えます。）
- [\[設定\] > \[マップ\]](#) に移動して、次のオプションを選択します
- PSK スポットカラー
- PSK スポットパスを表示するかどうかと、
- PSK スポットのパス幅。



注: [マップ ビュー フィルター](#) を使用して特定の帯域またはモードを選択することで、報告された PSK データを絞り込むことができます。

あなたの PSK 24 時間レポート

このボタンは、コントロール パネルに表示される前にオンにする必要があります。 [\[設定サブメニュー\] > \[Logging\]](#) メニューを参照してください。このボタンをクリックすると、過去 24 時間の PSK データが取得され、現在のリアルタイムの QSX/Station-2-Station の交信先をマークするために使用されるのと同じ色で関連するグリッドをマークすることで、グリッドマップにプロットされます。この追加された「PSK 情報」のマークは、時間の経過とともにフェードアウトし、[\[設定\] > \[グリッド\]](#) の[live grid decay]（ライブ グリッド減衰）で設定した制限時間に従って最終的に消えます。

LoTW ログをダウンロード



このボタンをコントロール パネルに表示するには[\[設定サブメニュー\]](#) > [\[Logging\]](#) で[LoTW]の[Menu?]をオンにする必要があります。

ノート：

1. Web から LoTW データをダウンロードしてインポートする場合、GridTracker は、GridTracker_QSO.adif が保存されているフォルダに別の一時的な LoTW.adif ファイルを作成します。LoTW データは、グリッドの強調、統計、アワードの表示に組み込まれます。
2. ダウンロードした LoTW.adif ファイルは次のいずれかにより削除されます。
 1. [「Clear Log」](#) ボタンをクリックした場合、または
 2. GridTracker プログラムの終了時 (OneDrive クラウドのみ?)

削除されるのは一時ファイルにすぎないため、問題ではありません。LoTW Web サイトのファイルは変更されません。

QRZ ログをダウンロード



このボタンをコントロール パネルに表示するには[\[設定サブメニュー\]](#) > [\[Logging\]](#) で[QRZ.com]の[Menu?]をオンにする必要があります。

このボタンを使用してログをロードする方法は、“LoTW ログのダウンロード操作”とまったく同じです。

Club ログをダウンロード



このボタンをコントロール パネルに表示するには[\[設定サブメニュー\]](#) > [\[Logging\]](#) で[ClubLog]の[Menu?]をオンにする必要があります。

このボタンを使用してログをロードする方法は、“LoTW ログのダウンロード操作”とまったく同じです。

ローカル ログのロード



このボタンをコントロール パネルに表示するには[\[設定サブメニュー\]](#) > [\[Logging\]](#) で[Local File(s)]の[Menu?]をオンにする必要があります。

このボタンをクリックすると、コンピュータに保存されている特定の ADIF ファイルがロードされます。「指定」とは、コンピュータまたはアクセス可能なネットワークに保存されている 1 つ以上の .adif (または .adi) ファイルの場所を GridTracker に指示したことを意味します。これを行うには、[\[設定\]](#) > [\[ロギング\]](#) メニューに移動し、[Local File(s)]で[ファイルの追加] ボタンをクリックして、個々の .adif ファイルのパスとファイル名を入力します。

POTA アクティベータ オーバーレイのオン/オフ



POTA (Parks on the Air) 登録公園からオンエアしているアクティベーター局をマップに表示します。



アクティベーター局

GridTracker ユーザーの表示 - ホットキー → G



このボタンは、GridTracker ユーザーの場所にフラグを付けたオーバーレイを表示する 3 つのオプションを循環します。

- 他のオーバーレイを追加しないでください。
- (1)現在オンラインで、(2) OAMS ネットワークに接続している [オンエア ステータスを共有するために選出された] すべての GridTracker ユーザーのフラグ付きオーバーレイを GridTracker マップに追加表示します。
- (1)オンラインで、あなたと同じバンド/モードを使用し、(2) オンエア ステータスを共有することを選択した GT ユーザーのサブセットのフラグ付きのオーバーレイを GT マップに追加表示します。

マウスを GridTracker フラグの上に置くと、ユーザーのコールサイン、グリッド、およびその他の位置情報を含むポップアップ ウィンドウが表示されます。

▶ 練習のヒント: この機能は、[オンエア ステータスの共有](#)機能をオンにしない限り、使用できません。

メッセージウィンドウ



このボタンをクリックすると、チャット ウィンドウが開きます。 ページの右側の列に、英数字順に並べられたコールサインの長いリストが表示されます。 これらは、オンエア ステータスを共有することを選択した GridTracker ユーザーです。



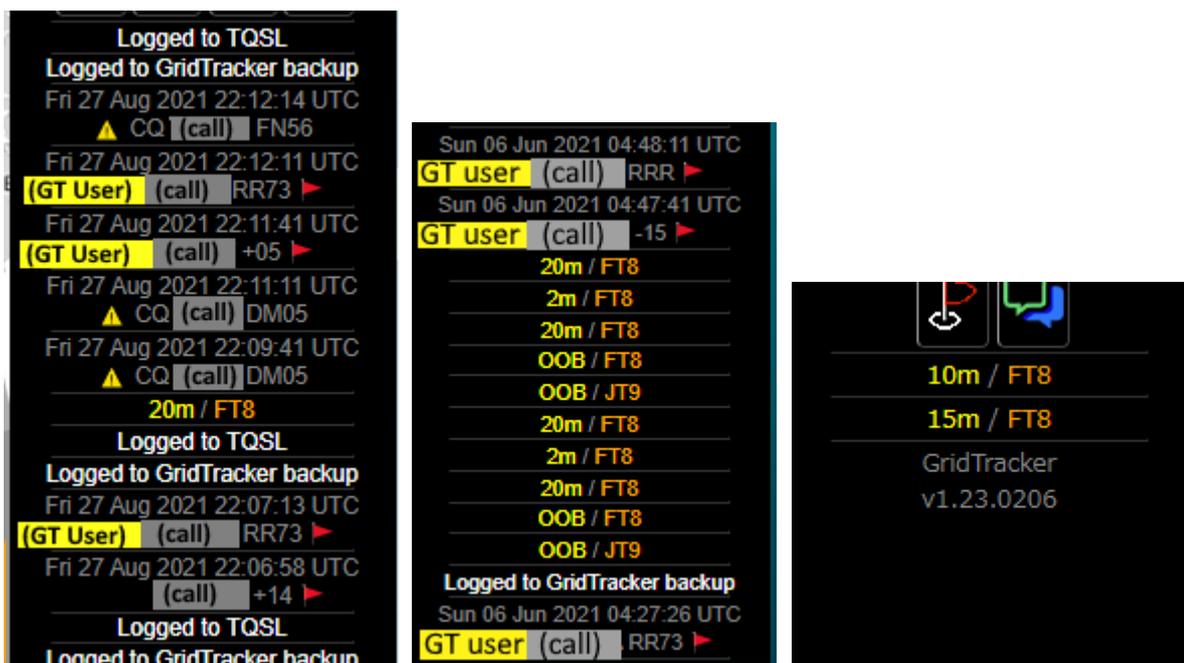
注: チャット ウィンドウを使用するには、[\[設定\] > \[OAMS\]](#) で[メッセージング (Messaging)]を有効にし、かつ [\[オンエア ステータスの共有\]](#) ボタンを有効にする必要があります。

相手がオンラインかどうかを確認したい場合は、リストから探すか、ウィンドウの右上隅にある開いた緑色のボックスにコールサインの全部または一部を入力して検索します。

注: GridTracker の複数のインスタンスを実行してオンラインにしている場合を除き、自分のコールサインはリストに表示されません。

*メッセージが届いた時のアラートと離席の通知については[\[設定\] > \[OAMS\]](#)を参照してください。

ヒストリー



コントロールパネルの下部セクションには、WSJT-X を積極的に使用しているかどうかに応じて、さまざまな情報が表示され、GridTracker ソフトウェアのバージョンも表示されます。

デコードされているステーションのスクロールリストを表示できます。また、あなたを呼び出しているステーション、またはアラート基準を満たすステーションを、アラートとフラグのシンボル、およびログに記録されている QSO に関する情報とともに表示します。

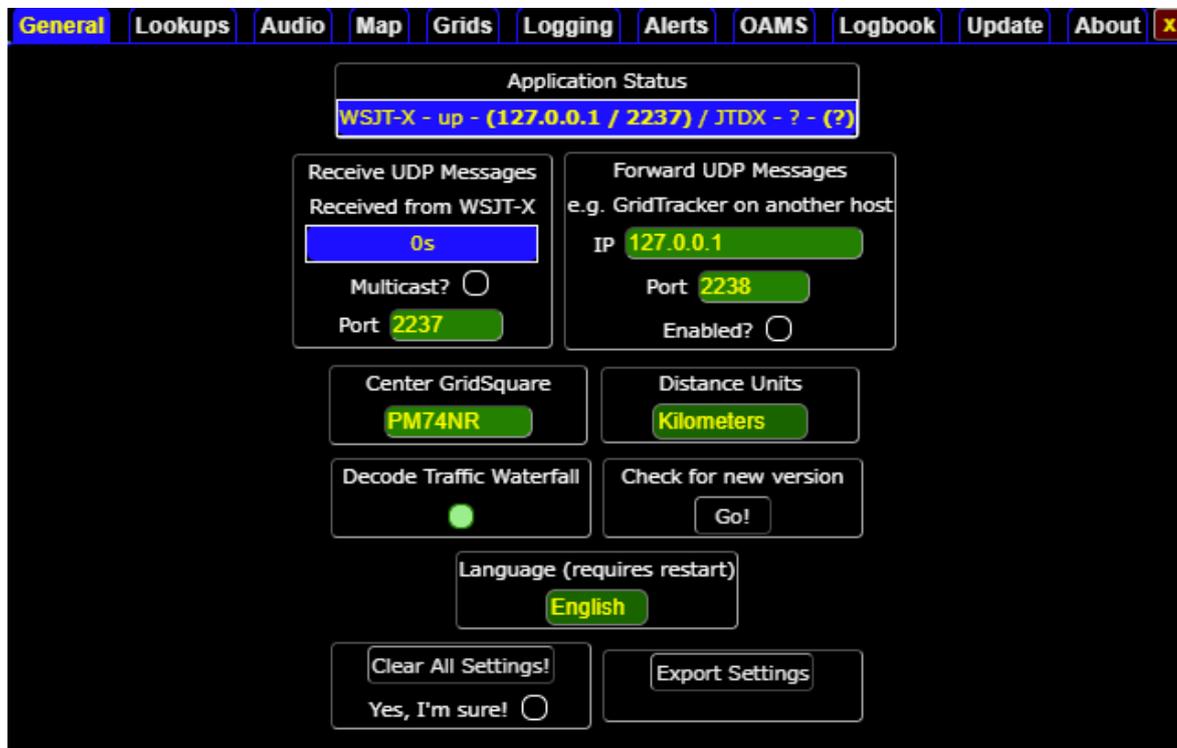
また、最近使用した周波数とモードが一番上に表示されます。また、GridTracker のログデータのバックアップステータスも表示されます。

設定サブメニュー

[設定] の下には、ユーザーが特定の設定に合わせて GridTracker を最適化できる広範なメニュー オプションがあります。これらのサブメニューのそれぞれについて、このセクションで詳しく説明します。

一般タブ General

GridTracker 操作の基本設定は、[全般] タブにあります。



- アプリケーションのステータス: WSJT-X および/または ????? のステータス そして、彼らが使用している IP アドレスは??
- UDP メッセージの受信(Receive UDP messages): テキストのすぐ下にあるボックスには、UDP メッセージを受信してからの経過時間が表示されます。設定に応じて、色が赤、青、黄色に変わります
 - マルチキャスト: マルチキャストを選択した場合は、このボタンをクリックして、表示されるボックスに適切な IP アドレスを入力します。初期設定の IP 値は 127.0.0.1 です
 - ポート: UDP メッセージを受信するための初期設定のポート番号は 2237 です
- UDP メッセージを転送(Forward UDP messages) 例: 別のアプリやホストにも転送
 - IP: 初期設定の IP アドレスは 127.0.0.1 です
 - ポート: 発信 UDP メッセージの初期設定 ポートは 2238 です。
 - 有効?: 有効にする場合チェックする
- マップの中心(Center Gridsquare): GridTracker は WSJT-X から情報を取得できるため、WSJT-X の設定-局の詳細で入力した“自局のグリッドロケータ値”を自動的に使用します。ただし、任意のグリッド スクエアを GridTracker マップの初期設定の中心として使用する場合は、ここに手動入力します。
- 距離単位(Distance Units): キロメートル、法定マイル、航海マイルまたは度を選択できます。
- トラフィック ウォーターフォールのデコード(Decode Traffic Waterfall): GridTracker は、WSJT-X ウォーターフォールで受信しているトラフィックを自動的にデコードします。このボタンをクリックして、このオプションをオフにします。
- GridTracker の新しいバージョンを確認(Check for new version)

- すべての設定をクリア: [Yes, I'm sure!]をチェックしてから[Clear All Settings!]をクリックすると、すべての GridTracker プログラム設定を初期設定にリセットします。
- 設定のエクスポート(Export Settings): このボタンを使用すると、設定のエクスポートとインポートが行えます。[Export Settings]ボタンを押して Gridtracker ユーザー設定をエクスポートすると、設定のインポート[Import Settings]ボタンが表示されるようになります。

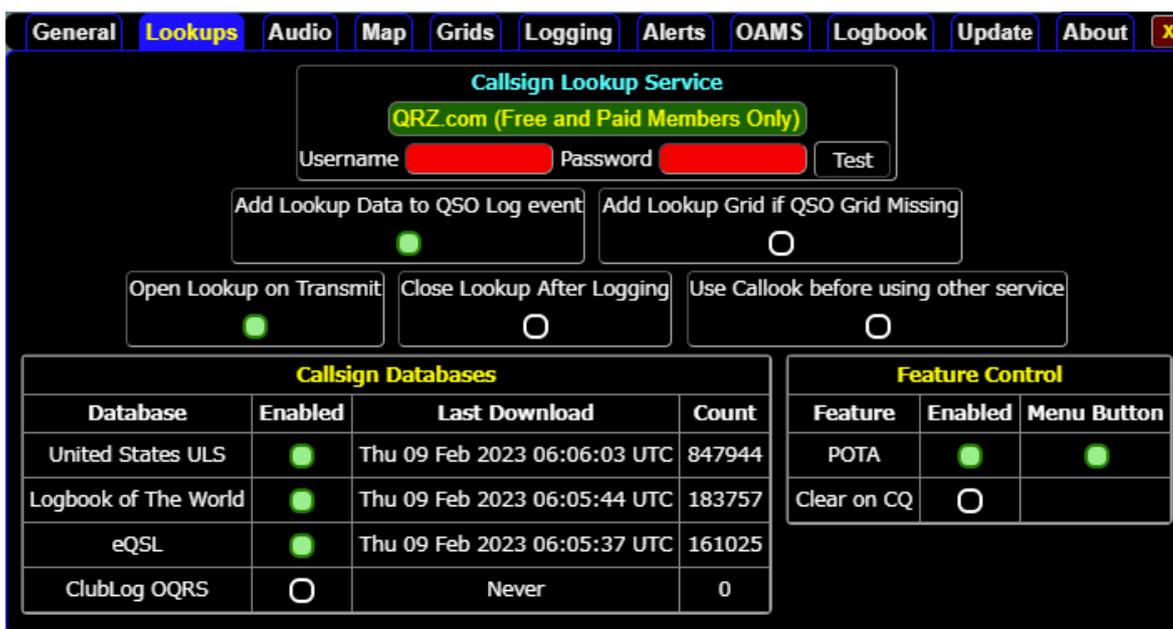
なぜこれを行うのですか？ おそらく、あなたのコンピュータで他の誰かが GridTracker を学ぶことを許可していて、他の人が実験している間はあなたの好みの設定を保存したい場合、コンピュータを変更した場合のバックアップとして使用できます。GridTracker を再インストールし、手動ですべてを変更する代わりに、好みの設定をインポートするだけです。

注: エクスポートとインポートは同一のバージョンの GridTracker でないとエラーになります。エクスポート後にバージョンアップするとインポートできなくなります。

注: この設定ファイルに割り当てられる初期設定のファイル名は、Windows では C:\Users\%user%\Documents\gt_settings.json、Linux では /Home/\$user/Documents/gt_settings.json です。これがエクスポートに指定されたファイル名であり、その決められたファイル名がインポート用に取得されます。さまざまな人が(クラブなどで)1台のコンピュータを使用していて、それぞれが独自の特定の Gridtracker 設定をエクスポートおよびインポートしたい場合、合意された方法でファイルのエクスポート、保存、および名前変更を行う必要があります。

参照 タブ Lookups

検索タブは、検索機能の操作だけでなく、コールサインの検索に使用されるインターネット Web サイトを制御します。



- コールサイン参照サービス(Callsign Lookup Service): このボタンをクリックすると、参照先として4つのオプションのドロップダウン リストが表示されます。
 - ✓ CALLOOK - これが初期設定ですが、米国の局のみのデータが含まれていることに注意してください

- ✓ HamQth.com
 - ✓ QRZ.com
 - ✓ QRZCQ.com
- 参照データを QSO ログ イベントに追加(Add Lookup Data to QSO Log Event): このオプションを選択すると、GridTracker ログにのみデータが追加されます。 WSJT-X.adif ファイルに追加し直すことはありません。
 - QSO にグリッドが欠落している場合は参照データのグリッドを追加(Add Lookup Grid if QSO is Missing Grid): これは、4 ~ 6 文字で構成される「標準的な」米国のコールサインに対して非常にうまく機能します。
注意:選択したルックアップ サービスによっては、グリッド ID を取得できる場合と取得できない場合があります。 Callook.com は、米国外のコールサインのグリッド ID を提供していません。 また、特殊な記号の付いたスラッシュを持つコールサインも処理できません。
 - 送信時に参照データを開く(Open Lookup on Transmit): コールサインを送信すると、自動的にコールサイン 参照データ ウィンドウが開きます。
 - ログイン後にルックアップを閉じる: クリックして QSO を確認し、それを WSJT-X ログ データに追加すると、コールサイン 参照データ ウィンドウが自動的に閉じます。
 - 別の参照サービスを使用する前に Callook を使ってみて(Use Callook before using another service):
 - コールサイン データベース -- 4 つのデータベースを有効にするか無効にするかを選択できます
 - ✓ 米国 ULS: FCC ULS データベースに基づいて、GridTracker から米国のコールサインのデータベースをダウンロードします。(これは、[Call Roster](#) に州と郡を表示するために必要です)。このデータベースは、ほぼ毎週更新されます。
 - ✓ 世界のログブック: ARRL から LoTW ユーザーのデータベースをダウンロードします。これにより、[Call Roster](#) の LoTW 列が有効になります。これは毎週更新されます。
 - ✓ eQSL: eQSL ユーザーのデータベースをダウンロードします。これにより、[Call Roster](#) の eQSL 列が有効になります。
 - ✓ ClubLog OQRS: ClubLog から OQRS ユーザーのデータベースをダウンロードします。これにより、[Call Roster](#) の OQRS 列が有効になります。
 - 機能コントロール(Features Control)
 - POTA 機能:
 - 有効 (Enabled) にするとコール・ロースターの表示列の選択肢に POTA が加わります。
 - 有効状態でメニューボタンをオンにするとメイン画面の機能メニューに POTA ボタンが追加されます。
 - CQ でクリアする機能:
 - 有効 (Enabled) にすると WSJT-X で CQ 呼出しを行った時に DX コール、DX グリッド、およびメッ

ページの Tx1~Tx5 のデータをクリアします。

オーディオタブ Audio

[オーディオ] タブには、テキスト読み上げアラート機能のコントロールと、GridTracker が使用するオーディオデバイスの選択があります。また、GridTracker で利用可能な 2 つのオプション アラートのコントロールもあります。WSJT-X で新しい QSO を記録するたびに音声通知を受け取るオプションです。

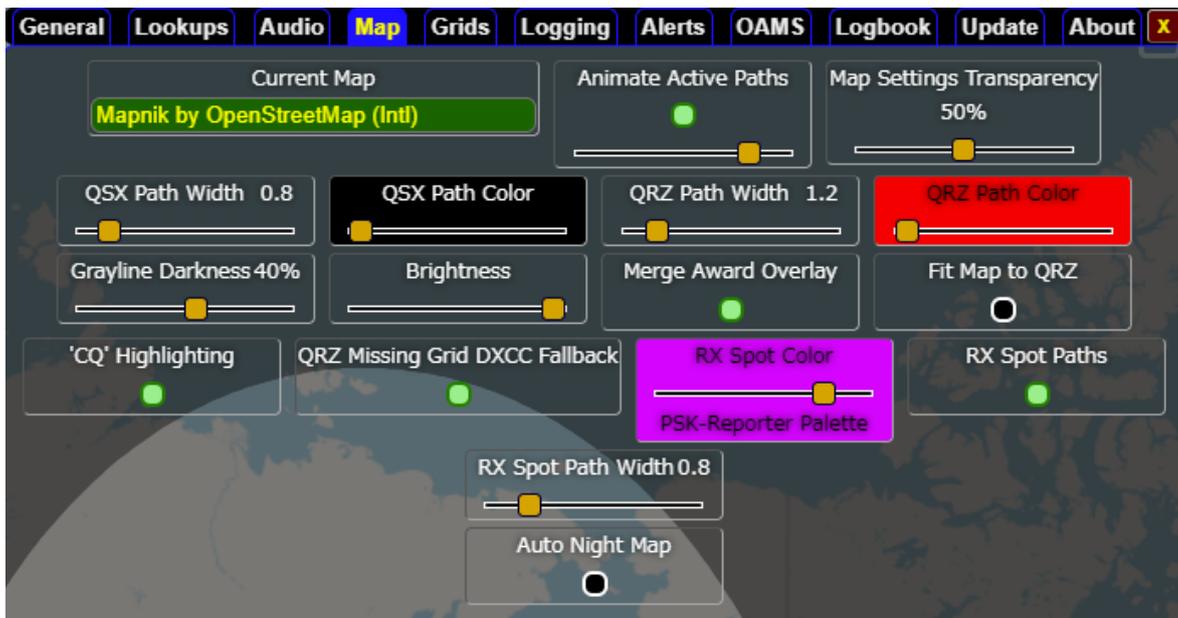


緑色のボタンのいずれかをクリックすると、ドロップダウン メニューが表示され、好みを選択できます。

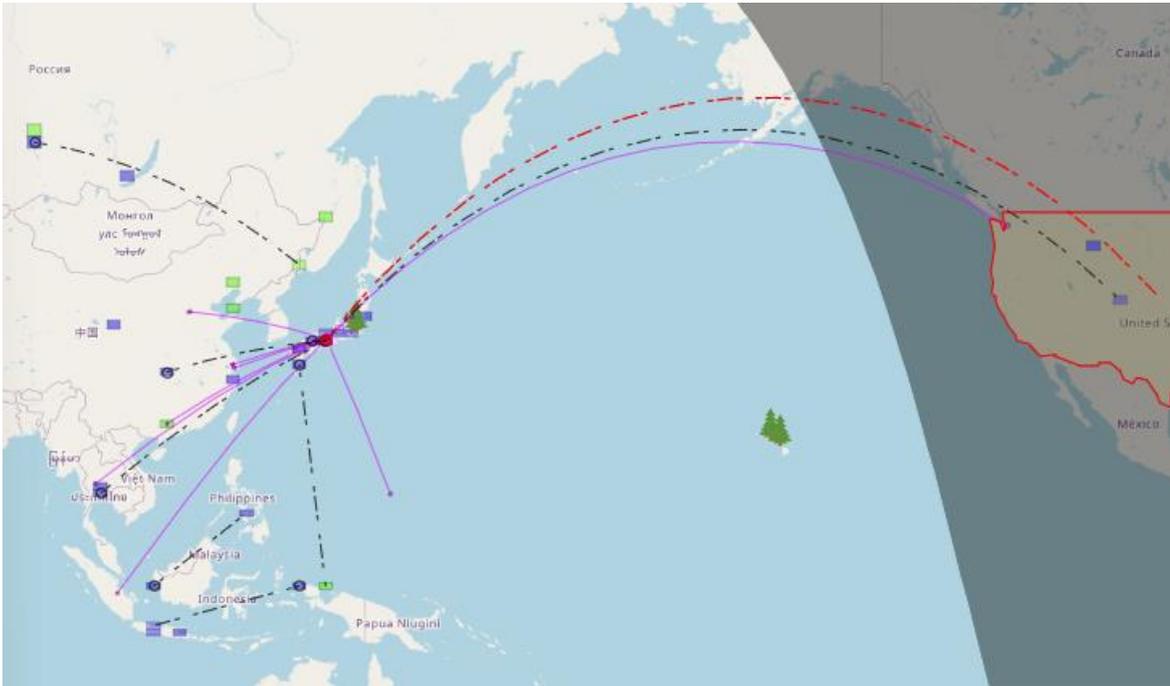
注: オーディオ デバイスを選択するときは、無線機と WSJT-X の接続に使用しているサウンド カードを選択しないでください。

地図タブ

これは、QRZ パス オーバーレイ、PSK スポット情報、およびアクティブなステーションで何が起きているかを示すその他のオーバーレイ機能の外観を制御するサブメニューです。



現在の地図(Current Map): ベース マップ レイヤには 30 を超える選択肢がありますのでお好みのマップをお選びください。(初期設定は、Mapnik by OpenStreetMap (Intl)です。



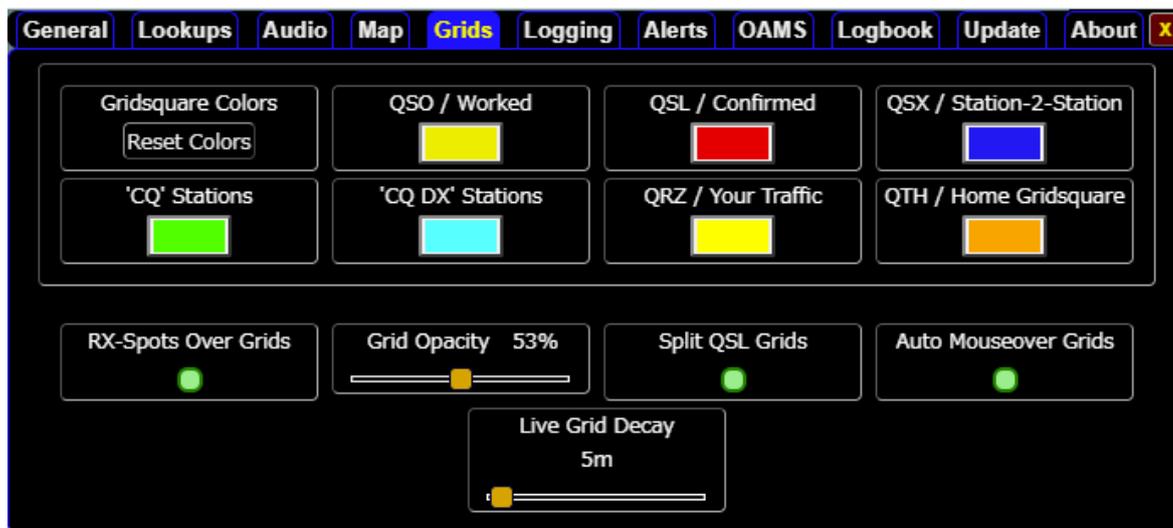
- **アクティブパスのアニメーション化(Animate Active Paths):** GridTracker は、「アクティブパス」、つまり、あるステーションが別のステーションに接続しようとする試みを反映するパス（線）を表示するように設定されています。試行された接触の方向を示すアニメーション化されたパスラインを使用することを選択できます。有効化ボタンの下にあるスライダーコントロールは、アニメーション内の「走るアリ模様」の移動速度を制御します。
- **マップ設定の透明度:** 接触グリッドが上に重ねられている場合でも、ベースマップで一部のフィーチャ（たとえば、国または州/県間の境界線）を確認できると便利です。マップの透明度のスライダー（実際にはグリッドオーバーレイの透明度です）は、好みに合わせて調整できます。
- **QSXパスの線幅と色(QSX Path Width/Color):** あなた以外の局間のパスの線幅と色を変更します。
- **QRZパスの色(QRZ Path Width/Color):** あなたの局とのパスの線幅と色を変更します。
- **グレイラインの暗さ(Grayline Darkness):** 夜の地域の暗さを調整します。
- **明るさ(Brightness):** ベースマップの相対的な明るさを調整します。
- **Merge Award Overlay:** このボックスをクリックすると、グリッドステータスマップを使用してベースレイヤーの上にアワードオーバーレイを表示できます。このオプションを選択しない場合、アワードレイヤーがベースレイヤーに置き換わり（Logbook、Liveなどのデータが見えなくなります）ます。
- **Fit Map to QRZ:** これにより、GridTracker は自動的にマップのサイズを変更し、中心を再調整して、マップがあなたの位置と他のステーションのグリッドの両方を表示できるようにします。これは、WSJT-X でTX を有効にするとアクティブになります。WSJT-X での送信が無効になると（QSO が完了してログに記

録されたとき、あるいはユーザーまたはソフトウェアによってなど) マップは、QSO を開始する前に持っていたサイズと中心に戻されます。CQ を呼び出すと、送信が無効になるまでマップが拡大されます。

- **CQ の強調表示('CQ' Highlighting):** このオプションをオンまたはオフにして、WSJT-X で CQ メッセージの対象となる米国の州または国を赤い枠線で囲みます。例: 北米の局を呼ぼうとしている場合は CQ NA XXXXX、アラスカの局を呼ぼうとしている場合は CQ AK YYYYYY の場合。
- **QRZ Missing Grid - DXCC Fallback:** グリッドスクエアが送信されない場合、ステーションのコールサインに基づいて DX エンティティの中心を使用して QSO パスを描画します。
- **RX スポット カラー (RX Spot Color):** 機能をオンにしたときに、[PSK スポット](#)の色を選択します。
- **RX スポット パス(RX Spot Paths):** ホーム QTH スポットと PSK スポットの間に描かれたパスを表示するかどうかを選択します。パスは、PSK スポット カラーに選択した色と同じ色になります。
- **RX スポット パス幅(RX Spot Path Width):** PSK スポット パスの線幅を変更します。
- **自動夜間マップ(Auto Night Map):** ベースマップとして選択した「現在のマップ」を自動的に置き換えるナイトマップを使用したい場合は、ここで変更を行います。緑色のボタンをクリックしてこの機能をオンにすると、ベース マップに 30 を超える選択肢が表示されるほか、夜間のパス カラー、PSK スポット カラー、マップの明るさのオプションも選択できます。

グリッド タブ

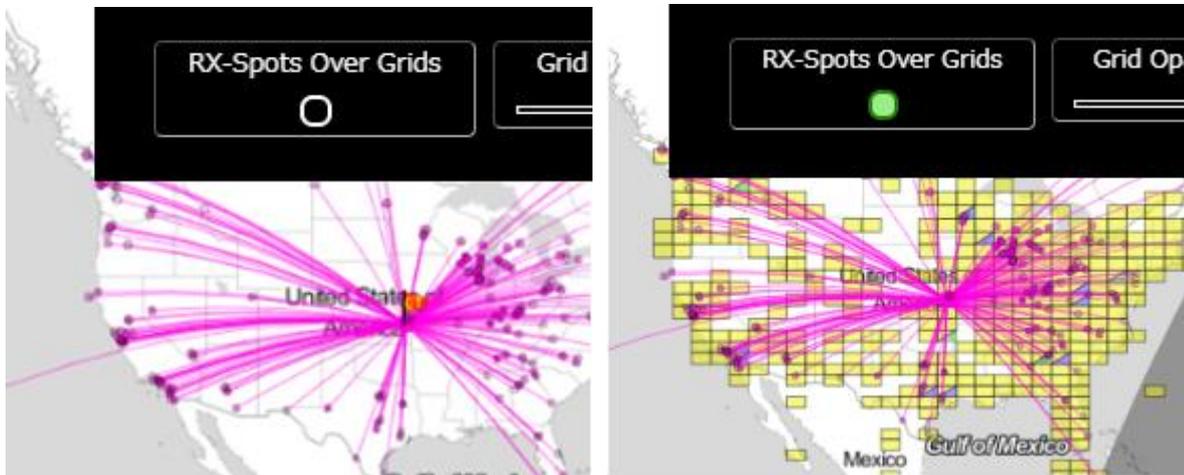
グリッドの状態毎の色を変更できます。ここで選択した色分けは、GridTracker マップの凡例にも反映されます。また、マップの表示方法を調整できるその他のオプションがいくつかあります。



- **グリッド上の RX スポット(RX-Spot Over Grids):** このオプションを選択すると、GridTracker 機能メニューの「スポット」機能をクリックしたときに、PSK レポート データがライブ、ログブック、ライブ & ログブック グリッド、または任意のアワード レイヤー上にオーバーレイされます。このオプションを使用

しない場合は、[スポット] をクリックしてオフにするまで、PSK データだけが表示されます。

RX スポット パスがどのように見えるかの例を次に示します。左の例は、グリッド マップの上に情報を表示しないことを選択した場合の RX スポットとそれらと QTH の間のパス ラインを示しています。右の例は、グリッド マップの上に重ねられた RX データを示しています。



繰り返しますが、これらのパスを表示するかどうかを選択できます。それは、[設定]>[マップ] メニューのボタンです。

- **グリッドの不透明度(Grid Opacity):** このスライダーは、グリッドの色分けの不透明度を調整できます。
- **QSL グリッドの分割(Split QSL Grids):** ・ QSL グリッドの分割モードを有効にします。すでに稼働中または確認済みのグリッドにアクティブな局がある場合、対角線によってグリッドが半分に分割され、半分は稼働中/確認済みの状態を示し、残りの半分は QSO/CQ/CQ-DX/QRZ の状態を示します。
- **自動マウスオーバー グリッド(Auto Mouseover Grid):** 気の利いた便利な機能です。このボタンをクリックしてオンにし、マウスをグリッドに合わせると、いずれかのステーション情報を一覧表示するポップアップ ウィンドウが表示されます。
 - (a) そのグリッド内のアクティブなライブ ステーション、または
 - (b) そのグリッドのログにあるステーションのリスト。ログブック & ライブ モードで QSL グリッドの分割を使用し、グリッドの四角形が斜めに分割されている場合、マウスオーバーは各三角形に対して個別に機能します。
- **ライブ グリッドの減衰(Live Grid Decay):** アクティブなグリッドの不透明度は、時間の経過とともに減少します。このスライダーは、それが発生する速度を制御します。この機能を使用すると、GridTracker マップで CQ 呼び出しがどの程度最新であるかを一目で確認できます。

ロギングタブ

Logging タブには、QSO データを外部の Web サイトやソフトウェア ロギング プログラムにインポートおよびエクスポートするための幅広いオプションがあります。

重要な注意事項: GridTracker は QSO のファイルを保持していますが、それを主要なロギング サイトと見なすべきではありません。Gridtracker はログ ビューアであり、ロギング プログラムではありません。WSJT-X は交信先のテキスト ベースおよび ADIF ファイルを維持しますが、ログ プログラムでもありません。GridTracker Logging 機能を使用して、交信情報を永久的なマスター ログに自動的に送信します。

Source/Sync	Menu?	Startup?	Log?	Details	Test	Result
GridTracker		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	GridTracker QSO Logfile		
Local File(s)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
PSK-Reporter	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		24 Hour History		
QRZ.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	API Key [redacted]	Test	
ClubLog	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Callsign [redacted] Password [redacted] Email [redacted]	Test	
HRDLOG.net			<input type="checkbox"/>	Callsign [redacted] Upload Code [redacted] *** How to get upload code ***	Test	
CloudLog			<input type="checkbox"/>	URL http://127.0.0.1/index.php/api/qso API Key [redacted] Station Profile ID 1	Test	
eQSL.cc			<input type="checkbox"/>	User [redacted] Password [redacted] QTH Nickname <input type="checkbox"/>	Test	
LoTW	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Login [redacted] Password [redacted]	Test Download	
N1MM Logger+			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 2333		
Log4OM			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 2236		
N3FJP Loggers			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 1100		
DXKeeper			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 52000		
HRD Logbook			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 7826		

Service	Active?	Details
CatRotator / PstRotator	<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 UDP Port 12000

このメニューは一見複雑に見えますが、実際には簡単に使用できます。 Logging メニューを使用すると、新しい QSO 交信データを 1 つ (または複数) のローカルおよび Web ベースのサイトに自動的に送信できます。 これを行うには、適切なサイトの場所および/またはログイン データを取得して入力する必要があります。

- Source/Sync: 交信データの保存先名称および/または、同期元名称。
- Menu?: チェックすると、機能メニューにオン/オフボタンを表示します。
- Startup?: チェックすると、GridTracker 起動時に自動的にオンになります。
- Log?: チェックすると、他の設定に依らず QSO 交信データが発生すると常にその保存先にデータを送ります。

OneDrive を使用している Windows システムに GridTracker をインストールすると、GridTracker QSO データが .adif ファイルとして、OneDrive 内に保存されます。 それ以外の場合、GridTracker QSO データはローカルディスクに .adif ファイルとして保存されます。 詳細については、このマニュアルの「[GridTracker データ ファイル](#)」セクションを参照してください。

アラートタブ

このタブには、受信している現在のトラフィックの自動音声アラートを設定するオプションがあります。 WSJT-X(および GridTracker) は、周波数帯域とデジタル モードに関して、ユーザーが指示した内容を「聞き取り」ます。 使用しているバンドとは異なるバンドまたはモードでステーションがアクティブになっているかどうかを認識して警告する方法はありません。

さまざまな状況でアラートを設定できます。「必要な」グリッドや国、仲間のコールサイン、さらには自分のコールサインまで、何でもかまいません。 初期設定では、アラートはテキスト読み上げで行われますが、代わりに効果音を使用することもできます。

➤ 練習のヒント: 無線中にマルチタスクを行う傾向がある場合は、自分のコールサインの [可聴] アラートを設定すると、誰かがあなたの Tx に応答したときに“音の合図”を受けることができます。



音声アラートのクラスの設定

➤ 上の図の青色で囲まれた設定を参照してください。

● リファレンス(Reference)

このボタンをクリックすると、バンドとモードのさまざまな組み合わせから選択できます。



これは、GridTracker が新しいコールサイン、グリッド、DXCC、CQ ゾーン、ITU ゾーン、または米国の州につ

いて警告する必要があるかどうかを確認するためにログデータを参照する範囲です。

- 現在のバンドとモードは、現在のバンドとモードのみで記録された交信先を参照します。
- 現在のバンド、全てのモードは、現在の帯域で全てのモードで記録された交信先を参照します。
- 現在のバンド、全てのデジ モードは、現在のバンドおよび全てのデータ モードで記録された交信先を参照します。例：JT65 でログにある DXCC は、FT8 でアラートを出さない。
- 現在のモード、全てのバンドは、現在のモードで任意のバンドに記録された連絡先を参照します。
- 全てのバンド、全てのモード は、バンドやモードに関係なく、ログブックに記録された交信先を参照します。
- 全てのバンド、全てのデジ モードは、バンドに関係なく、ログブックに記録されたデータ モードの交信先を参照します。

● 音声アラート条件

- 「オーディオ アラート (Audio Alerts)」という見出しの下のメイン ボックスには、交信先に関連付けられる参照範囲 (Reference) のリストがあります。以前に連絡したことのないコールサインまたはグリッドから信号を受信している場合、アラートを設定できます。
- 最初に「Callsign」または「CQ Zone」などの横にあるボタンをクリックして、アラートを有効にします。次に、その条件の横にある緑色のボタンのいずれかをクリックします。交信先のステータス (新規または新規 + uconfirmed)、通知の種類 (テキスト読み上げまたはメディア ファイル)、およびアラートの「値」に使用できるオプションが表示されます。
- アラートの値は、通知にテキスト読み上げとメディア ファイルのどちらを選択するかによって異なります。テキストを選択すると、「値 (Value)」が音声で通知されます。メディア ファイルを選択すると、200 以上のサウンド エフェクトから 1 つを選択して再生します。「値」は単に効果音の名前になります。

● 探索局新規登場のオーディオアラート(Audio Alert on New Wanted)

オンにすると、[コール・ロースター](#)で“Wanted”に設定した項目に合致する局が現れたときにアラートを発します。

アラートの限定クラスの設定(Exceptions)

➤ 上の図の金色で囲まれた設定を参照してください。

限定リストは、青色のボックス内の条件を変更または絞り込むために使用されます。

- **CQ のみ(CQ Only):**探索するコールサイン、ITU ゾーンなどのアラートを CQ を送信している局のみに制限します。局が一般的な FT-8 応答の最中である場合、アラートは表示されません。
- **グリッドが必要(Require Grid):** Tx にグリッドの場所が含まれているステーションのみにアラートを制限します。
- **最小 dB (Min dB):**設定するレベル (dB) を超えているステーションのみにアラートを制限します。
- **最大時刻差(Max DT):** 一定の時刻差内に送信しているステーションのみにアラートを制限します。
- **最低／最高周波数 (Min/Max Freq):** 特定の周波数より上または下のステーションのみにアラートを制限します。

- 自分の DXCC 以外 / 自分の DXCC (Not my DXCC / Only my DXCC): アラートを国外または国内のステーションのみに制限します。たとえば、日本国外 / 内の局にアラートを設定します。
- 切り上げなし / 切り上げのみ: アラートを無視するか、しないか。RTTY ラウンドアップ コンテスト メッセージのみ。RTTY ラウンドアップを行っていて、ステーションがアラート基準を満たし、コンテストに参加している場合にアラートを受け取りたい場合または、RTTY Round-Up 参加者がアラート基準を満たしていても無視したい場合に便利です。
- LoTW を使用 / eQSL を使用: このオプションをクリックして、[LoTW](#) または [eQSL](#) を使用するステーションのみにアラートを制限します。

カスタム アラート

- 赤で囲まれた設定を参照してください

The screenshot shows the 'Custom Alerts' configuration interface. A red box highlights the configuration area for a new alert, which includes fields for 'Type' (set to 'Callsign (exact)'), 'Value' (a yellow input field), 'Notify' (set to 'Text-to-speech'), and 'Repeat' (set to 'Until Deleted'). An 'ADD' button is also visible.

Type	Value	Notify	Repeat	Filename	Alerted	Last Message	When	Reset	Delete
QRZ	N6OPE	<input checked="" type="checkbox"/>	Inf	Bouncing-3	Yes	N6OPE KC1FUU RR73	Sun 18 Jul 2021 00:53:36 UTC		
Call (exact)	KG6MZS	TTS	Inf	-	No	-	-		

ここで、特定のコールサインや DXCC などの特定の事柄に対する非標準アラートを設定できます (例えば、スバル諸島がついにあなたのウォーターフォールに現れたときなど)。

すぐ下に表示される白で囲まれた表は、設定したカスタムアラートのリストを示しています。

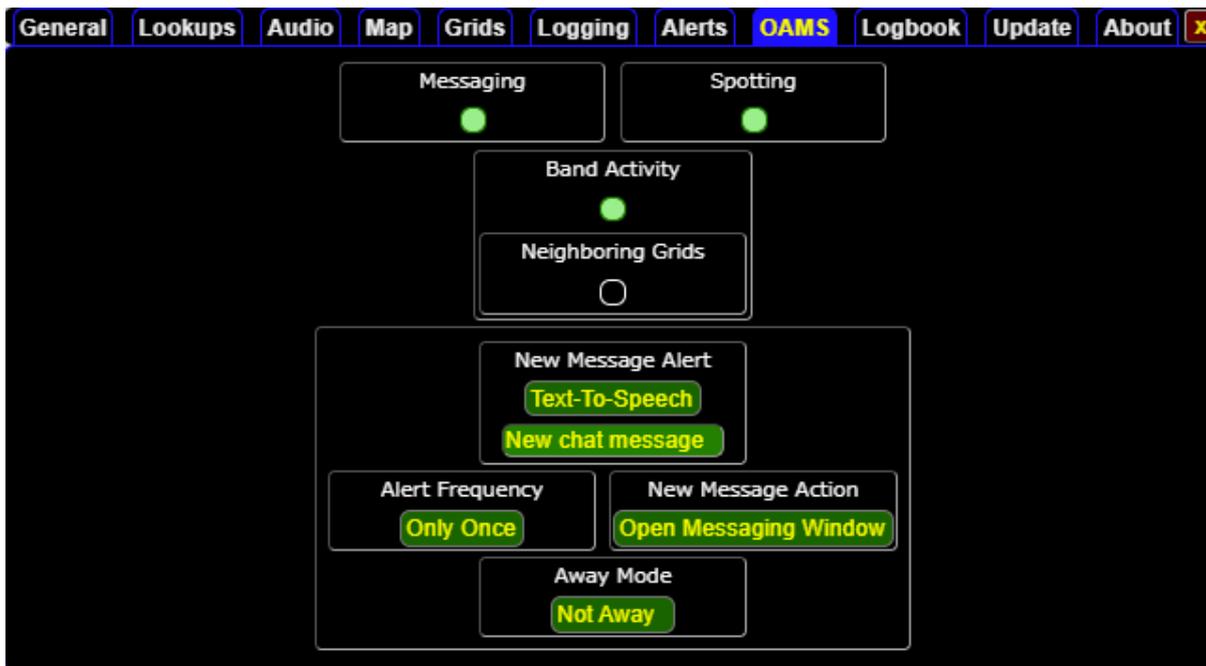
上のスクリーンショットは、2 つのカスタム アラートを示しています。1 つ目は、デコードされた WSJT-X メッセージにユーザーのコールサインが含まれるたびに、音声アラート (サウンド) を提供します。(QRZ 応答) 2 つ目は、特定のコールサイン (KG6MZS) が WSJT-X でデコードされたときのテキスト読み上げアラートです。

ノート:

- 新しいアラートを追加するには、[追加] ボタンをクリックする必要があります
- カスタム アラートのテーブルには、アラートをリセットまたは削除 (ゴミ箱) するためのボタンがあります。

さまざまなアラートの設定方法の例については、このマニュアルの「[オーディオおよびビジュアル アラートの設定](#)」セクションを参照してください。

OAMS タブ



[OAMS](#) (発音はオームス) は、GridTracker と [Log4OM](#) の「オフエア メッセージ サービス」です。これにより、ユーザーは自分の「オンエア」ステータスを他のユーザーと共有でき、ユーザー同士のチャットが可能になり、リアルタイムのスポッティングが可能になります。

[OAMS] タブには、メッセージ サービスとスポッティングを有効または無効にする設定があります。また、受信メッセージのアラートを受信する方法と、そのメッセージを処理する方法も制御できます。

Spotting:

- [Spotting]を有効にすると送信後速やかに[スポットレポート](#)が表示されるようになります。
ここで使用されている「スポッティング」とは、スポットが PSK レポーターではなく他のアクティブな OAMS ユーザーから来ていることを意味します。これは、最初の送信後、GridTracker が PSK Reporter サーバーに ping を実行する前の最初の 5 分間、PSK Reporter スポットを補足します。
また、あなたの活動によって PSK Reporter が更新されるまでの 5 分間隔の間に更新されたスポットを提供できます。
- [Band Activity]を有効にするとコントロールパネルの[バンド・アクティビティ](#)に OAMS レポートが加わります。
さらに、[Neighboring Grid]を有効にすると OAMS レポートが隣接の 8 グリッドを加えたものになります

Messaging:

[Messaging]を有効にするとその下にメッセージ関係の機能メニューが表示され、[オンエア ステータスの共有]がオンになっていれば機能メニューの[メッセージウィンドウ]ボタンによりチャットが出来るようになります。

- [New Message Alert]新しいメッセージが届いた時のアラート
 - None : アラート無し
 - Text-To-Speech : 下の枠に書かれたテキストを読み上げます。
 - Media File : 下の枠プルダウンリストから効果音を選択します。
- [Alert Frequency]アラートの繰り返し間隔
 - プルダウンリスト : 1 回だけ、1 分、3 分・・・1 時間から選択します。

- [New Message Action] 新しいメッセージが届いた時のアクション
 - Do Nothing:何もしません。
 - Open Messaging Window:メッセージウィンドウを開きます。
- [Away Mode]離席モード
 - Not Away:シャックにいます。
 - I Am Away:シャックから離れています。

[Away Text]に書かれた伝言が相手に伝えられます
初期値:I am away from the shack at the moment(しばらくシャックから離れます)

ログブックタブ



このページのコントロールにより、ユーザーは GridTracker ログブックとその統計を個々のコールサインや特定の期間に合わせて調整できます。

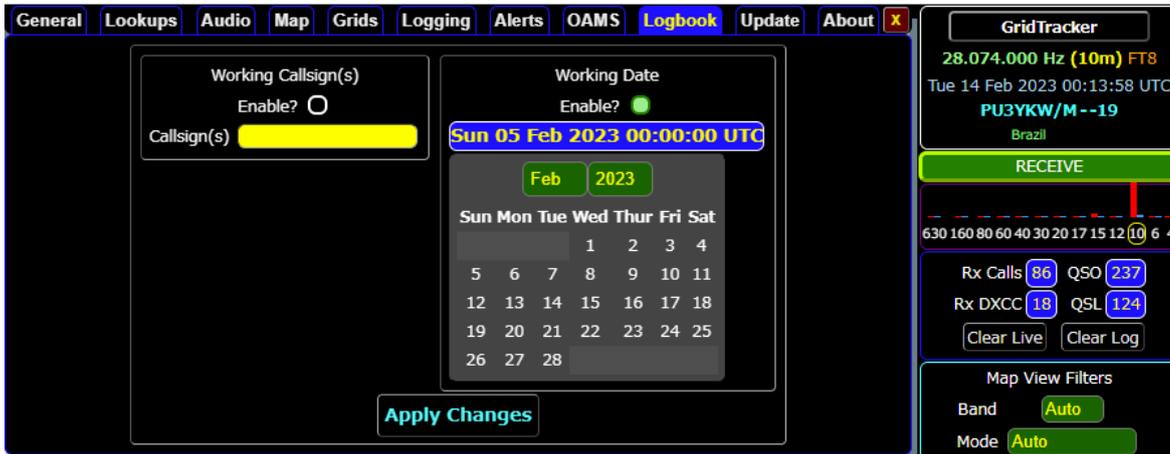
これらの選択を単独で行うことも、ワーキング コールサインの選択とカレンダーの選択を組み合わせることもできます。 選択を有効にするには、画面の下部にある [変更を適用] ボタンをクリックする必要があります。

1. 「Working Callsign」を有効にするボタンをオフのままにしておくと、GridTracker はすべての QSO が - どのコールサインとその日付に関係なく - ログブック グリッド オーバーレイと統計に表示されるべきであることを意味すると解釈します。
2. ボタンをクリックして「Working Callsign」を有効にし、ボックスにコールサインを入力すると、GridTracker ログブックと統計機能はそのコールサインのデータのみを反映します。 自宅の QTH から離れて旅行している場合は、一時的なステータスを示すために "/4" などのインジケータをコールに追加する場合には、これを行うことができます。 ただし、ここで入力するコールサインが、WSJT-X の設定に入力したコールサインと一致することを確認してください。
3. 「Working Callsign」を有効にするかどうかに関係なく、「Working Date」を有効にして、交信先データを特定の日付に絞り込むことができます。 これを使用して、たとえばコンテストの統計を確認できます。

注:「稼働日」を日付の範囲に限定することはできません。「稼働日」は、指定された日付以降のログブックを参照するだけです。

Working Date を有効にしてカレンダーで日付を 2023/2/5 に設定。

日付を設定すると、[Apply Changes]ボタンが表示されます。

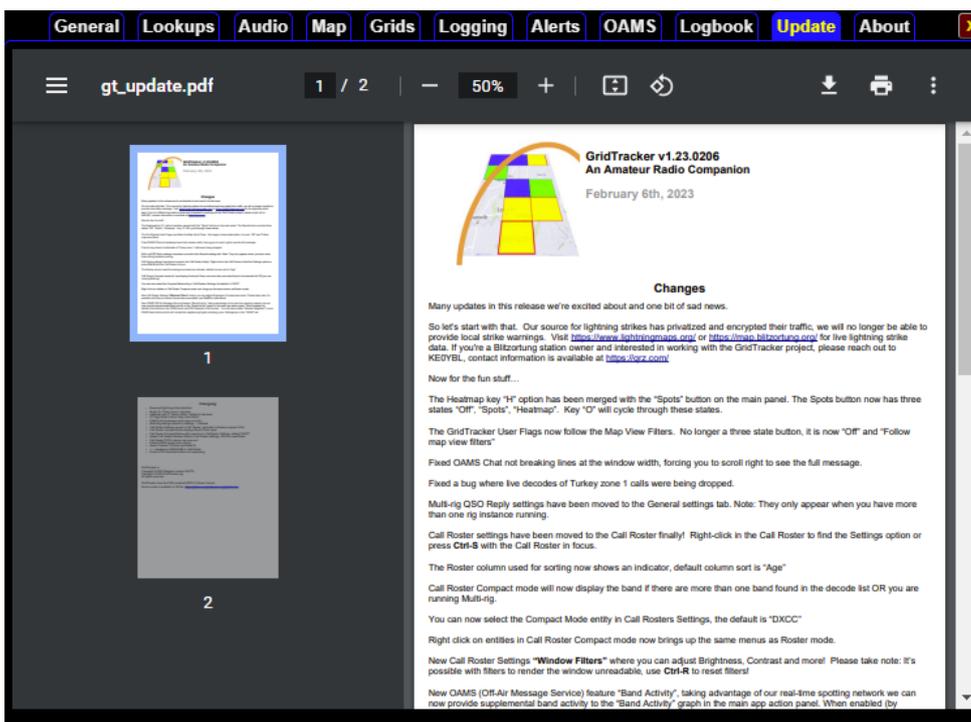


[Apply Changes]

ボタンを押すとコントロールパネルの交信状況は QSO、QSL が設定日以降の数になります。

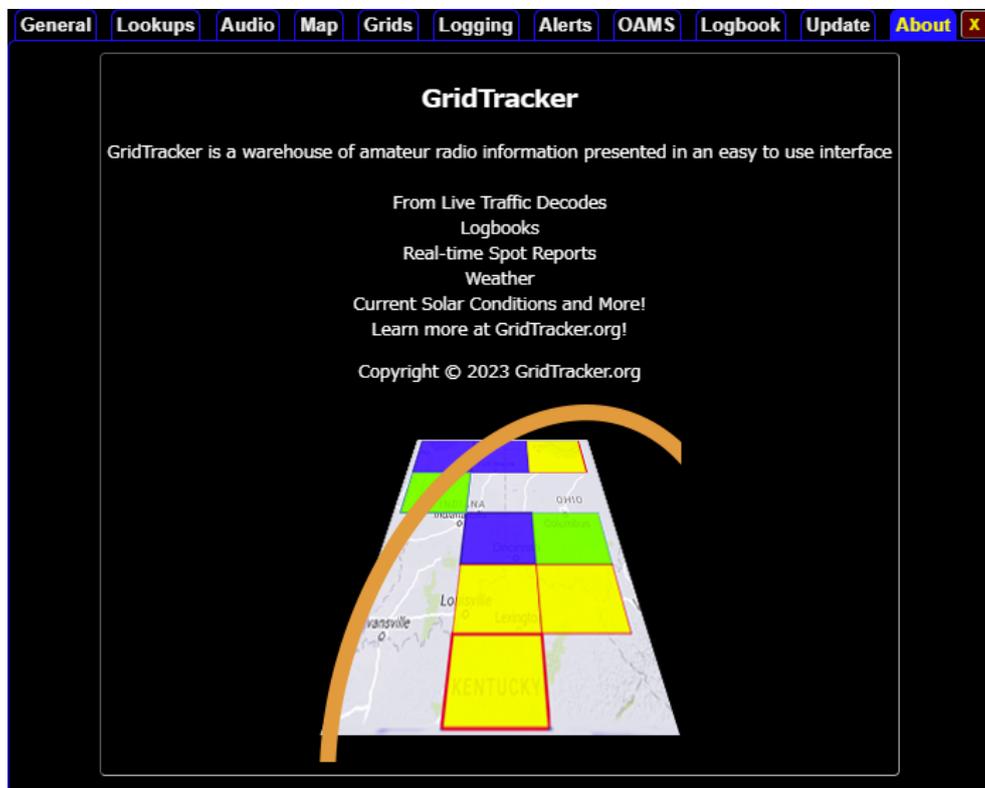


更新タブ



このタブには、使用している GridTracker のバージョンのアップデート ノートが表示されます。これは、GridTracker を更新した後に確認する重要なセクションです。ここでは、開発者チームが GridTracker の最新バージョンで変更された内容と、現在進行中の主要な問題について説明しています。

About タブ



GridTracker の案内です。

GridTracker は、使いやすいインターフェイスで表示されるアマチュア無線情報の倉庫です

ライブ トラフィック デコードから

ログブック

リアルタイムスポットレポート

天気

現在の太陽の状態など！

GridTracker.org で詳細をご覧ください

GridTracker をあなたのために働かせる

ユーザーズ ガイドのこのセクションでは、Call Roster の使用、GridTracker のロギング オプションと機能の詳細な説明、および GridTracker 統計ページについて説明します。

コール・ロスター(Call Roster)の使用

GridTracker の コール・ロスター 機能は、WSJT-X (または JTDX) で受信している現在のトラフィックに関する情報をテーブルに表示します。これは、WSJT-X が使用している特定のデジタル モードおよび特定のバンドのトラフィックを反映します。したがって、Grid Map および Statistics ページとは異なり、GridTracker コントロール パネルの Map View Filters で選択した設定とは無関係に機能します。

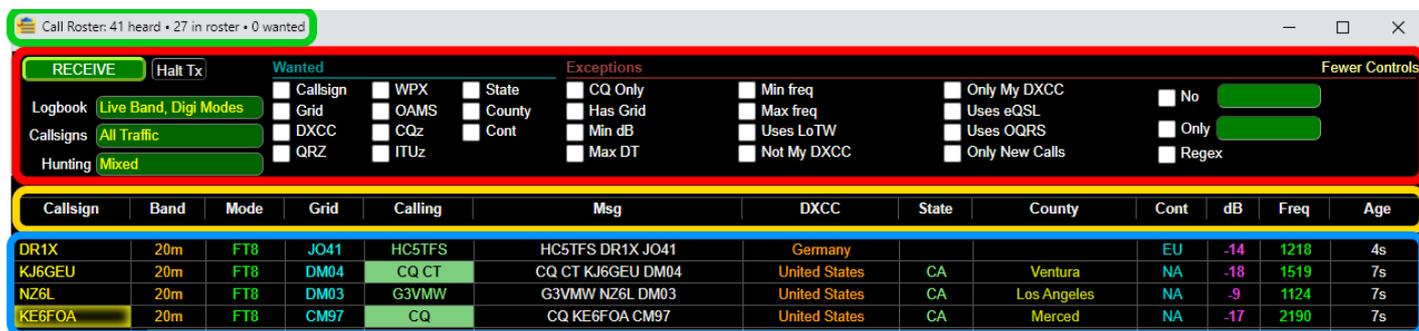
Call Roster を使用して帯域上のチャッター (関心のないトラフィック) を除外し、見たいトラフィックのみを表示できます: DXCC トラフィック、特定のグリッドからのトラフィック、特定の ITU ゾーンからのトラフィック、特定のロギング サイトを使用するトラフィックなど など

しかし、重要なことは次のとおりです。GridTracker が WSJT-X と適切に「通信」するように構成している限り、Call Roster を使用して CQs に応答できます。また、見たいトラフィックのみを表示できる機能があるため、Call Roster を使用すると、必要な交信先をすばやく簡単に作成できます。

GridTracker Call Roster は、WSJT-X の CQ メッセージにのみ応答できます。ただし、JTDX および場合によっては他のプログラムでは、他のメッセージ タイプに返信できます。

JTDX では、MISC -> Accept UDP Reply Message メニューが CQ に設定されている場合、CQ メッセージのみに応答できます。同様に、CQ および 73 に設定されている場合、CQ および 73 メッセージに応答できます。メッセージが選択されている場合、GridTracker は任意のメッセージに応答できます。CQ を呼び出していない限り、送信オーディオ周波数は、送信ステーションがオンになっている周波数とは異なる必要があることに注意してください。

コール・ロスターページのレイアウト

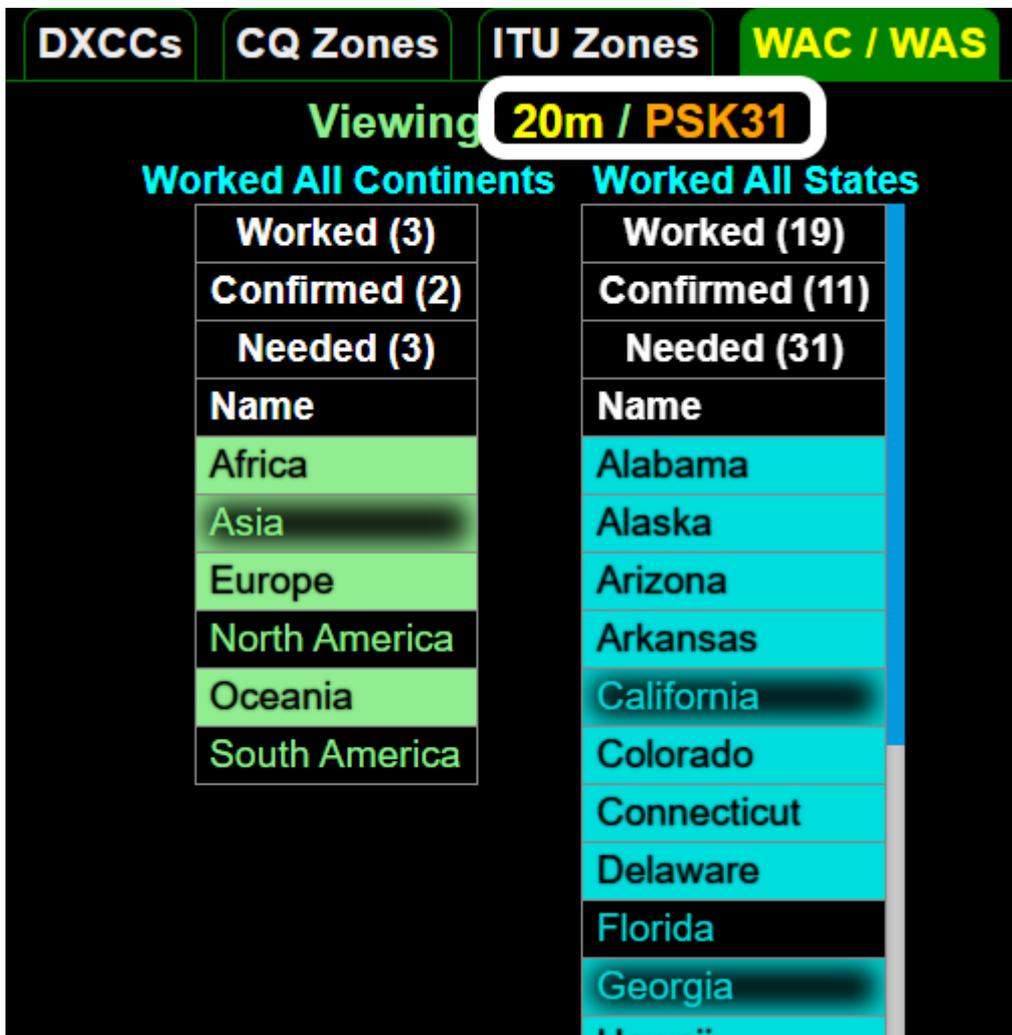


- 緑色のボックス: Call Roster ページのタイトル バーには、過去 2 分間に WSJT-X で受信された信号の数、名簿にリスト表示されている信号の数、および探索(Wanted)ステーションである信号の数が表示されます。“探索”とは、Call Roster コントロール の Wanted セクションで具体的に特定したステーションです。
- 赤いボックス: Call Roster コントロールです。これは、関心のあるトラフィックのみに Call Roster テーブルを制限するための選択を行うことができる場所です。(以下で詳しく説明します。) その外観は、左側のロ

グブック、コールサイン、およびハンティングメニューで選択したオプションに応じて変化します。

- **ゴールド ボックス:** トラフィック データの列見出し。 テーブルに表示する列 (データの量または量) を選択できます。(以下で説明します。)
- **ブルー ボックス:** リアルタイム トラフィックのデータ。

*先に進む前に、短い回り道をして、Call Roster と Statistics の両方で使用されるテキスト強調表示規則について説明する必要があります。



- テキストの周りにあいまいな境界線がある場合、テキストは「影付き」と呼ばれます。この図ではアジア、カリフォルニア、ジョージアが影付きになっています。
- 背景色が付けられているテキストを「強調」と呼びます。この図ではアフリカ、ヨーロッパ、オセアニア、アラバマ、アラスカなどが強調されています。
- 黒い背景に表示されるテキストを「通常の」書式設定と呼びます。ここでは、北米、南米、フロリダが通常のテキストで表示されます。

誰が誰を呼んでいますか？

Callsign	Band	Mode	Grid	Calling	Msg
DR1X	20m	FT8	JO41	HC5TFS	HC5TFS DR1X JO41
KJ6GEU	20m	FT8	DM04	CQ CT	CQ CT KJ6GEU DM04
NZ6L	20m	FT8	DM03	G3VMW	G3VMW NZ6L DM03
KE6FOA	20m	FT8	CM97	CQ	CQ KE6FOA CM97

これは、このセクションの最初のスクリーンショットの一部を拡大したものです。

- コールサインは、トラフィックを送信しているステーションです。
- グリッドは、コールサインによって報告されるグリッドです。
- Calling 列は、コールサインが誰と交信しようとしているかを示します。
- Msg 列（表に含めることを選択した場合）には、WSJT-X または JTDX で表示されるように、送信されたトラフィックが表示されます。

- 1 行目: グリッド JO41 の DR1X が HC5TFS を呼び出しています（おそらく CQ に応答しています）。
- 2 行目: グリッド DM04 の KJ6GEU は、CT のステーションのみからの応答を要求する CQ を送信しています。
- 3 行目: グリッド DM03 の NZ6L が G3VMW を呼び出しています
- 4 行目: グリッド CM97 の KE6FOA が一般的な CQ を送信しています

コールサイン KE6FOA の周りに影が付いている「影付き」なのはなぜですか？

??ユーザーは、過去にそのステーションと別のバンドまたはモードを**含めて**交信していた可能性があるためです。

他のコールサインは「通常」のテキストですが、それはどういう意味ですか？

これは、ユーザーにとっての新しいコールサインであることを意味します。

CQ が「強調表示」されていますが、これはどういう意味ですか？

これは、ステーションが CQ を呼び出しているという事実をより見やすくするためのプログラミングの選択にすぎません。

➤ 練習のヒント: WSJT-X の「Band Activity」ウィンドウのライブトラフィックを Call Roster の同じトラフィックと比較しようとしていて、「一致」していないように見える場合は、送信に使用されるメッセージング規則が原因である可能性が非常に高くなります。

上記のスクリーンショットの例を考えてみましょう:

送信されるメッセージは次のとおりです: G3VMN NZ6L DM03。

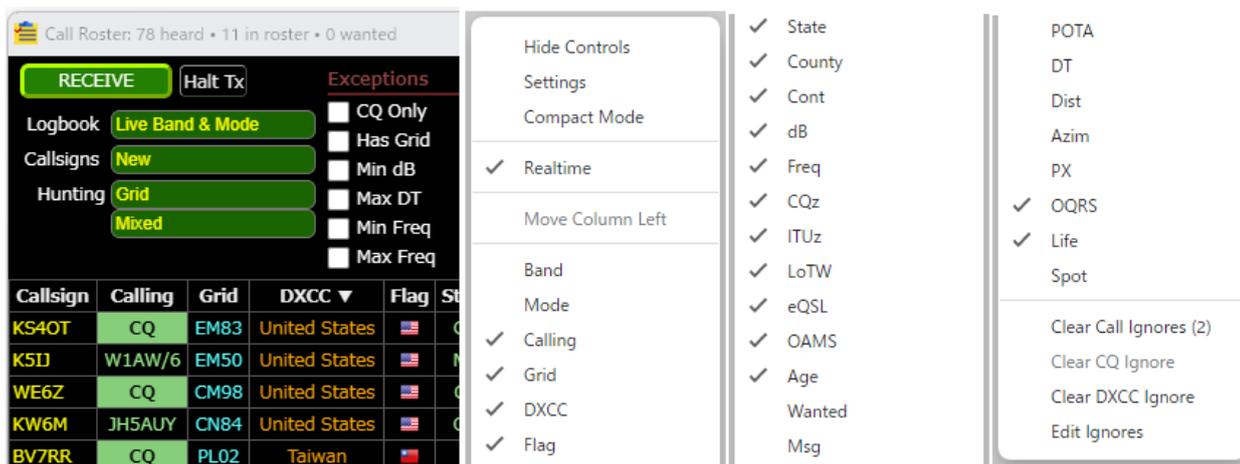
Callsign 列で G3VMN を探すのは安易な間違いで、彼は送信していません。彼は NZ6L から呼び出されています。NZ6L は Callsign 列に表示され、G3VMN は Calling 列に表示されます。

コール・ロースター: データ表示オプション

コール・ロースターデータ テーブルの列

GridTracker は、名簿モードで送信から入手可能なすべての情報を表示するオプションを提供します。Call Roster ウィンドウのほぼ任意の場所を右クリックしてオプションを表示させ、データ タイプなど適切なオプションを選択します。

- 例外は Callsign、DXCC、CQz、ITUz および Calling 列です。Callsign、DXCC、CQz、ITUz の列のいずれかのエントリを右クリックすると、そのエントリを非表示または「無視 (Ignore)」するオプションが表示されます。「[無視オプション](#)」を参照してください。Callsign、Calling 列のエントリを右クリックすると、「Lookup」、「Gen Msgs」が表示されます。「[Callsign、Calling ステーションを右クリック](#)」オプションを参照してください。
- オプションの上部にある「Settings」については「[コール・ロースター設定](#)」を、「Hide Controls」、「Compact Mode」については「[コール・ロースターモード](#)」を参照してください。
- オプションの下部では「Clear Call Ignores」など無視 (Ignore) 設定のクリア、および無視の編集 (Edit Ignores) が選択できます。無視 (Ignore) については「[無視オプション](#)」を参照してください。



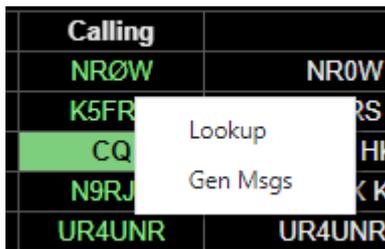
上のスクリーンショット右側のオプション表示 Band~Spot は、Call Roster データ テーブルに含めることができるすべてのタイプのデータを示しています。ほとんどは一目瞭然ですが、いくつかの意味を確認しておきます:

- **Msg** は、WSJT-X で送信される実際のメッセージを意味します。
- **LoTW**、**eQSL**、**OQRS** は、TX を送信するステーション (つまり、「Callsign」ステーション) がこれらのサービスのいずれかを使用することを意味します。
- **Spot** は、ステーションが PSK レポーターまたは OAMS のいずれかで信号をスポットしたことを示し、スポットの経過時間と信号強度 (+/-dB) がこの列に表示されます。

- 列見出しをクリックすると、その列でテーブルが並べ替えられます。
- 列見出しを右クリックすると、オプション表示の“Move Column Left”が有効になり、クリックするとその列の表示が左隣の列と入れ替わります。

➤ 練習のヒント: Age 列で並べ替えると便利な場合があります。これにより、Call Roster に表示されているものと WSJT-X に表示されているものを簡単に関連付けることができます。

Callsign、Calling ステーションを右クリック



Calling 列のコールサインを右クリックすると、次のことができるポップアップメニューが表示されます。

- **Lookup** : GridTracker Lookup 機能を使用して、ステーションに関するより多くのデータを取得します。
- **Gen Msgs** : WSJT-X でこのコールサインのメッセージを生成しますが、不用意に呼び出しを開始しないでください。
- **注**: 呼び出し(Calling)列に表示されるステーションに対して「無視」を設定することはできません。

コール・ロスター: 「無視」オプション

任意の CALLSIGN ステーションを右クリック

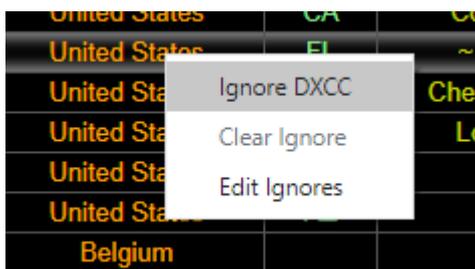


Callsign 列のコールサインを右クリックすると、次のオプションを提供するポップアップメニューが表示されます。

- **Lookup** : GridTracker Lookup 機能を使用して、ステーションに関するより多くのデータを取得します
- **Gen Msgs** : WSJT-X でこのコールサインのメッセージを生成しますが、不用意に呼び出しを開始しないでください。
- **Ignore Call** : ステーションを「無視」します。コールサインは「無視」リストに入れられ、そのステーションからの送信は、無視のブロックを解除するまで Call Roster では隠されます。
注: 無視は、Callsign 列のコールサイン (送信を送信する局) にのみ適用されます。Calling 列のコールサイン (呼び出されている局) には適用されません。
- **Clear Ignore** : この列 (ここでは Callsign) に設定した無視をクリアします。複数の無視を作成すると、その数が表示され一度にすべてを消去されます。
行が何も表示されない状態の場合は [オプション表示](#) の下部で“Clear Call Ignores”、または“Edit Ignores”を選択

します。

任意の DXCC の国を右クリック



DXCC 列にリストされている国名を右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

- その国の「無視」を設定すると、無視のブロックを解除するまで、Call Roster テーブルでその国からの送信が非表示になります。
- 複数の「Ignore」を作成すると、各タイプの数が表示され、1 つずつクリアする代わりに、一度にすべてを消去するオプションが表示されます。

Edit Ignores:無視リストを編集します。

無視の編集を選択すると、無視リストを含むポップアップ ウィンドウが表示されます。(次の図を参照してください。) 「無視」の横にあるごみ箱アイコンをクリックするだけで、リストから削除できます。

“Clear All”をクリックするとその項目の「無視」がすべて削除されます。



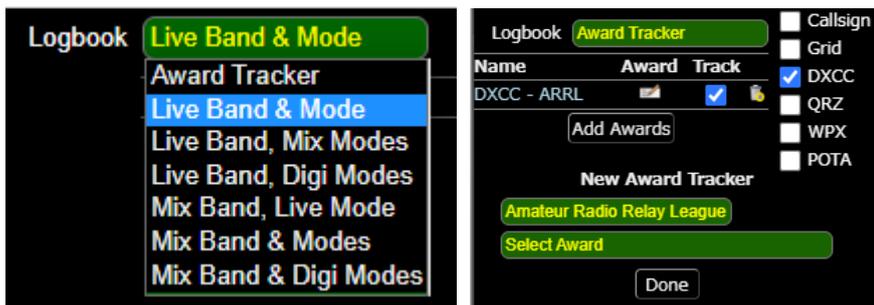
コール・ロースターコントロール



上のスクリーンショットは完全な「標準」メニューを示していますが、左側の 3 つのメニューで行う選択に応じ

て変更されます。

コール・ロースター: ログブックのオプション



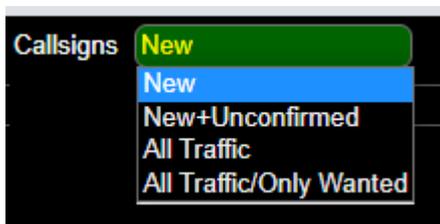
「ログブック」の横にあるボタンをクリックすると、ドロップダウンメニューが表示され、バンドとモードの組み合わせを選択できます。

「Live Band & Mode」は、「Map View Filters」のバンドとモードの「Auto」/「Auto」と同じ操作です。

注: 「アワード トラッカー」オプションを選択すると、コールサインとハンティングメニューが消えて、特定のアワードを追加できる [追加 (Add Award)] ボタンが表示されます。

1. [追加]ボタンをクリックするとアワードの提供者リストを開く [Select Sponsor] ボタンが表示されます。
2. 提供者を選ぶとアワードの種類リストを開く [Select Award] ボタンが表示されます。
3. [Done]ボタンをクリックすると追加作業を終了します。
4. アワードを追加すると「Name」、「Award」、「Track」のタイトルの下にそのアワードが追加されます。
 - 「Award」の小さなアイコンの上にマウスカーソルを合わせると進捗状況を確認できます。
 - 「Track」にチェックを付けるとそのアワードに適した探索項目 (Wanted) が自動で適用されたテーブルが表示されます。
 - 「Track」のチェックボックスの右にある小さなゴミ箱アイコンをクリックするとそのアワードは削除されます。

コール・ロースター: コールサイン オプション



Callsigns ボタンでは、次の選択肢があります。

- 新規
- 新規 + 未確認
- すべてのトラフィック
- すべてのトラフィック / 探索のみ [トラフィック]

Call Roster Controls は、選択内容に応じて変化します。

新規 または 新規+未確認

- ここでの新規または未確認の基準は、Callsign ステーションにのみ適用されます。メッセージを受信している Calling ステーションではなく、メッセージを送信しているステーションです。
- Call Roster コントロールの [Wanted] セクションが消え、[Exceptions] セクションだけが残ります。
- ハンティング メニューは、「Callsign」以外を選択すると分割メニューに変わります。1 つは、探している新しいコールサインの側面（特定の DCXX、特定の米国州、特定のコールサイン プレフィックスなど）を絞り込むために使用されるもので、もう 1 つはあなたの探索を新しいステーションのみ、新しいプラス未確認、または混合に限定します。

すべてのトラフィック、またはすべてのトラフィック / 探索のみ:

- すべてのコールサイン; 交信済み、確認済みのステータスに関係なく、テーブルに表示されます。
- Call Roster Controls の「Wanted」（探索）セクションと「Exceptions」（限定）セクションの両方が存在します。
- 「ハンティング」メニューの選択肢は、混合、新規 + 未確認、および混合です。

コール・ロスター: ハンティング オプション



「Hunting」の横にあるボタンをクリックすると、「New」コールサイン、「New + Unconfirmed」コールサイン、または「Mixed」コールサインを選択できるドロップダウン メニューが表示されます。

- ハンティングの「Mixed」（混合）はログブック [Logbook] に「Mix Band」など“Mix”を含んでいる場合に有効で、例えば「Mix Band, Live Mode」を選択していれば他のバンドでのログも含めた状況がテーブルに反映されます。

探索オプションと限定オプションの設定

Logbook、Callsigns、および Hunting オプションは、Call Roster に表示されるトラフィックを制限するための幅広いツールを提供します。そう、Call Roster ツールの真の核心は、現在のアクティブなトラフィックを絞り込んで、興味のある特定のトラフィックのみを表示できるようにするオプションの Wanted（探索）ツールと Exceptions（限定）ツールです。

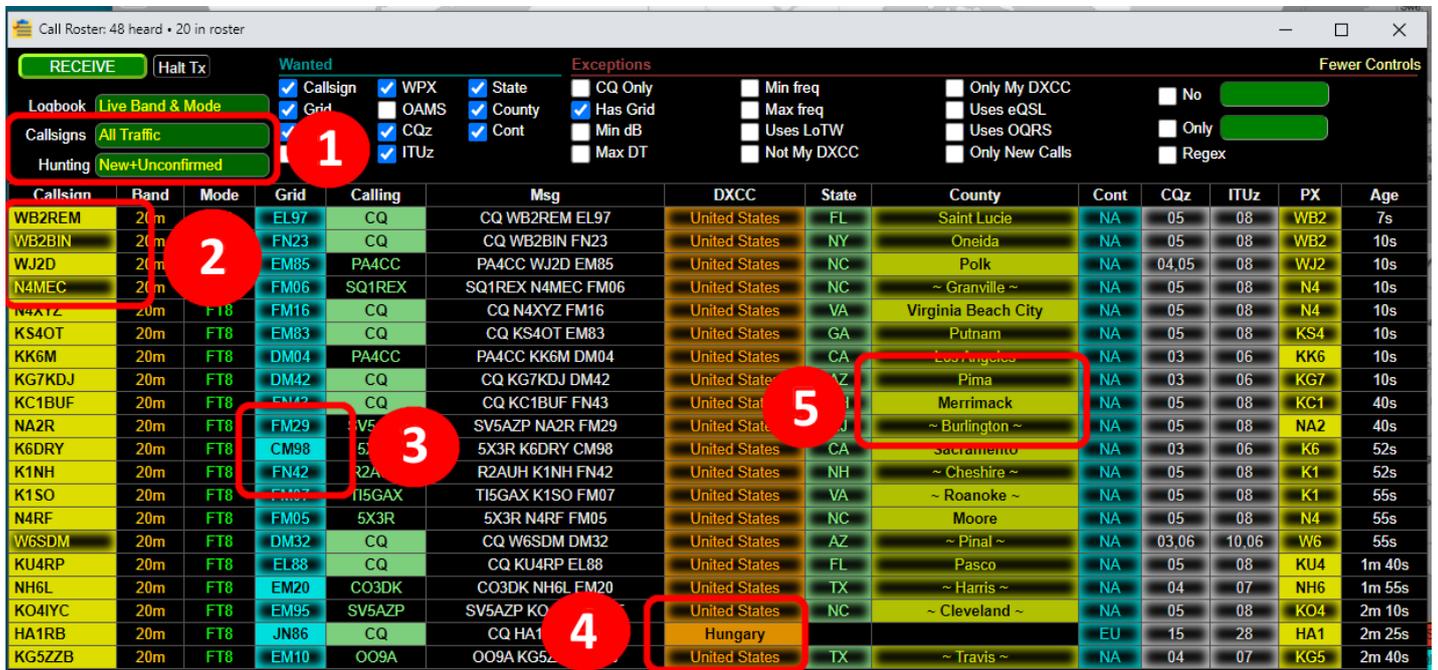


探索ステーション

「必要な」ステーションを特定するのは非常に簡単です。関心のある 1 つまたは複数の属性の横にあるボックスをクリックするだけです。

注: 「探索」の参照は、Callsign ステーション (メッセージを送信するステーション) のみに適用されます。

次のスクリーンショットは、Callsign、Grid、DXCC、WPX、CQz、ITUz、State、County、Continent (大陸)、および Has Grid をチェックした場合に表示される内容を示しています。必要な属性の 1 つまたは複数をクリックすると、Call Roster テーブルでテキストが強調表示される方法が変わります。以前に連絡したことのないコールサイン、グリッド、郡などは強調表示されるため、見やすくなります。



表示の説明:

- ① Callsign は「All Traffic」に設定され、Hunting は「New + Unconfirmed」に設定されます。
- ② Callsign 列の一部のコールサインは影付きで、一部は強調表示されています。影付きのステーション (WB2BIN と N4MEC) は、ユーザーが過去に交信をしたことがあるが、交信が確認 (Confirm) されていないステーションです。強調表示されたステーション (WB2REM および WJ2D) は、ユーザーにとって「新

しい」ステーションです。

- ③ ユーザーは、過去にほとんどのグリッドと交信していますが、グリッド CM98 の誰ともまだ QSO を行っていません。
- ④ 「ハンガリー」は、このユーザーの新しい DXCC であるため、国のリストで強調表示されています。
- ⑤ 郡の可能な条件を示しています。「ピマ」は、ユーザーがその郡の局と以前に交信をしているため、影付きになっています。"Merrimack" は強調表示されています。これは、ユーザーが以前に誰にも連絡したことがないためです。「~Burlington~」は影付きで、両側にティルダ (~) があります。つまり、次のことを意味します。
 1. ユーザーは Burlington 郡から事前に連絡を受けています。
 2. この局がある郵便番号は複数の郡に分類されます。ここで郡をクリックするとルックアップがトリガーされ、ルックアップ ソースがその郡を知っている場合は、正しい郡が表示されます。

これは基本的に同じ Call Roster のリストですが、「CQ Only」の限定がチェックされています。

The screenshot shows the 'Call Roster' window with 33 stations heard and 6 in the roster. The 'Wanted' section has 'CQ Only' checked. The 'Exceptions' section has 'CQ Only' checked. The table below shows the list of stations with their call signs, bands, modes, grids, calling frequencies, messages, DXCC, states, counties, continents, CQz, ITUz, PX, and ages.

Callsign	Band	Mode	Grid	Calling	Msg	DXCC	State	County	Cont	CQz	ITUz	PX	Age
KC1BUF	20m	FT8	FN43	CQ	CQ KC1BUF FN43	United States	NH	Merrimack	NA	05	08	KC1	2s
KG7KDJ	20m	FT8	DM42	CQ	CQ KG7KDJ DM42	United States	AZ	Pima	NA	03	06	KG7	2s
KC1IFK	20m	FT8	FN34	CQ	CQ KC1IFK FN34	United States	VT	Chittenden	NA	05	08	KC1	14s
W6SDM	20m	FT8	DM32	CQ	CQ W6SDM DM32	United States	AZ	~ Pinal ~	NA	03,06	10,06	W6	17s
WB2BIN	20m	FT8	FN23	CQ	CQ WB2BIN FN23	United States	NY	Oneida	NA	05	08	WB2	1m 32s
N4XYZ	20m	FT8	FM16	CQ	CQ N4XYZ FM16	United States	VA	Virginia Beach City	NA	05	08	N4	1m 32s

Wanted「QRZ」(レスポンス)

Wanted の下の QRZ チェックボックスには、きちんとした機能があります。Call Roster アラート機能と一緒にこのボックスをチェックすると、あなたのコールサインがメッセージに含まれるたびに可聴アラートを受け取ることができます。手順は次のとおりです (順序は関係ありません)。

1. Call Roster コントロールの [Wanted] セクションの下にある QRZ のボックスをオンにします。
2. [設定] > [アラート (Alerts)] に移動し、ボタンをクリックして [Audio Alert on New Wanted] を有効にします。
3. テキスト読み上げアラートまたはメディア効果音のいずれかを選択します

それだけです。「探索 (Wanted)」の条件がチェックされている場合、その条件を満たすトラフィックが到着すると、音声アラートが表示されることに注意してください。QRZ のみのアラートが必要な場合は、他の Wanted ボックスのチェックを外したままにします。

この機能の代わりに、コールサインの「通常の」音声アラートを設定することもできます。このガイドの後半にある音声アラートのセクションを参照してください。

限定の設定

限定を設定するときに知っておく必要がある重要な機能がいくつかあります。

1. あなたのコール・ロースター テーブルを簡素化するために、Wanted のボックスをチェックするかどうかに関係なく、限定を設定できます。
2. **No** および **Only** フィルタリング基準を設定するときは、大文字を使用する必要があります。両方のフィルターで大文字と小文字が区別されます。（そうでない統計機能のフィルタリングとは異なります。）
3. 限定フィルターは、実際のデコード メッセージ（表示されている場合は [メッセージ] 列に表示されるもの）からの実際のメッセージ テキストのテキスト文字で検索を実行します。
4. DXCC、State、County、Continent、CQz、または ITUz 列のテキストに対して限定フィルターを実行することはできません。具体的に言うと、ネブラスカ州、Bexar 郡、「EU」、アイスランド、CQ ゾーン 22、または ITU ゾーン 38 からの交信先のみを表示する「Only」の限定条件を設定することはできません。

限定の種類

CQ のみ: このボックスをクリックすると、CQ を送信しているステーションのみが表示されます。（通常の CQ と指向性 CQ の両方で送信が表示されます。）

グリッドあり: 現在または最近の TX メッセージにグリッド スクエアが含まれているコールサイン（送信）ステーションのみが表示されます。

最小 dB / 最大 DT: スライダー コントロールを使用して、最小信号強度と最大時間差の制限を設定できます。（覚えておいてください: スライダーをクリックした後は、キーボード ◀ ▶ 矢印を使用して、スライダーの数値を微調整できます。）

最小/最大周波数: スライダー コントロールで周波数制限を設定できます。これは、無線機のバンドパス フィルターの端に近いステーションを無視する場合に便利です。

Not my DXCC / Only my DXCC: DXCC エンティティにない、または DXCC エンティティのみにあるステーションのみを表示します。これは、DX のみを使用するコンテスト (CQ WW DX)、または自国の活動ステーションのみを使用するコンテスト (Field Day) に役立ちます。

LoTW を使用 / eQSL を使用: 指定されたロギング サービスを使用するステーションのみを表示します。

No、Only、および Regex リミッター。 これらのリミッターの横にあるボックスに少なくとも 1 つの文字を入力して、データをフィルター処理し、見たいものだけを表示します。

No、Only、および Regex リミッター

No リミッター: No リミッターは Call Roster データにフィルターを適用して、Callsign、Grid、および/または Calling データに指定したテキスト文字/数字が含まれる行を非表示にします。

Only リミッター: オンリーリミッターは、コール・ロースターデータにフィルターを適用して、Callsign、Grid、および/または Calling データに指定したテキスト文字/数字が含まれていない限り、行を非表示にします。

Regex リミッター: 入力された正規表現の構築方法に応じて、No and Only リミッターと同様に機能します。

(Ver1.23.0206: Regex は Callsign だけに適用されます)

▶ **練習のヒント:** 正規表現は、テキストにフィルターを構築する構造化された方法であり、特定のテキストの組み合わせを検索または非表示にするためにプログラムで一般的に使用されます。

Call Roster でデータをフィルタリングおよび整理するために使用できる設定の組み合わせは非常に多いため、このマニュアルですべてをカバーすることは不可能です。代わりに、多くのユーザーが試してみたいと思ういくつかの例に焦点を当てます。開発チームは、稼働中の「13 Colonies」や「Route 66」などの人気のある特別なイベント ステーションをコール・ロースターでフィルタリングするための正規表現文字列を Groups.IO グループに

メールで送信することがあります。

限定を使用してコールサインをフィルタリングする

- A. 「Callsigns」で「All Traffic」（すべてのトラフィック）を表示するオプションを選択した場合:
- B. 「Callsigns」ですべてのトラフィック / 指名手配のみを表示することを選択した場合
- C. 「Callsigns」で New または New + Unconfirmed を表示することを選択し、Hunting を Callsign に設定した場合

No リミッターを使う

No に数字 (0 ~ 9)、文字 (A ~ Z)、または文字列** ("WA"、"KG"、または "GCE") を入力すると、コールサインまたはコーリング ステーションのいずれかにそれが含まれている場合 / これらの文字列は Call Roster テーブルで非表示になります。

- No "K": いずれかのコールサインに K が含まれる行を非表示にします (興味深いことに、誰かが「CQ KY」を呼び出していた行)
- No "F": どちらかのコールサインに F が含まれる行を非表示にしますが、グリッド スクエアが F*** である行は引き続き表示します
- No "7": どちらかのコールサインに 7 が含まれる行を非表示にします
- No "28" は、グリッドの正方形が**28 である行を非表示にします
- No "FN": FN ** パターンのすべてのグリッドを除外するわけではありません。
- No "FN20": グリッド スクエア FN20 で行を非表示にします

Only リミッターを使う

数字 (0 - 9) または文字 (A - Z) または文字列 ** ("WA"、または "KG" または "GCE"など) を入力した場合、Callsign、または Calling のいずれかにそれが含まれている場合のみこれらの文字の行が Call Roster テーブルに表示されます。 Callsign、または Calling のいずれにもこれらの文字が含まれていない場合、行は非表示になります。

**注: いいえまたはのみのいずれの場合でも、Gridtracker ソフトウェアは正確なテキスト文字列を検索します。「WA」は「AW」または「WUA」と同じではありません。

限定を使用してグリッドをフィルタリングする

Call Roster は、必要なグリッドのトラフィックをフィルタリングする機能に制限があります。「No」と「Only」のリミッターは上手く制限されています。グリッドのフィルタリングに最適なオプションは次のとおりです。

1. ひとつの特定のグリッドのトラフィックをフィルタリングする、または
2. すべての新しいグリッドのトラフィックをフィルタリングします

特定のグリッドのフィルタリング:

1. コールサインを New または New + Unconfirmed に設定

2. プライマリ Hunting ターゲットをグリッドに設定
3. ドロップダウン メニューの Hunting を Mixed に設定します
4. Only limiter に「FK68」または「DN95」、などターゲットを設定します。

FK68 からのステーションが送信を開始すると、Call Roster テーブルに表示されますが、送信が開始されるまでテーブルは空になり、送信が開始されるとテーブルの唯一の行になります。

もしくは、特定のグリッドに音声アラートを設定することを検討してください。そうすれば、他の新しいトラフィックが表示され続けますが、その特別なグリッドが表示されると「ビープ音」が鳴ります。

すべての新しいグリッドのトラフィックのフィルタリング:

1. コールサインを New または New + Unconfirmed に設定
2. プライマリ ハンティング ターゲットをグリッドに設定
3. ドロップダウン メニューの Hunting を New または New + Unconfirmed に設定します。

限定を使用して国をフィルタリングする

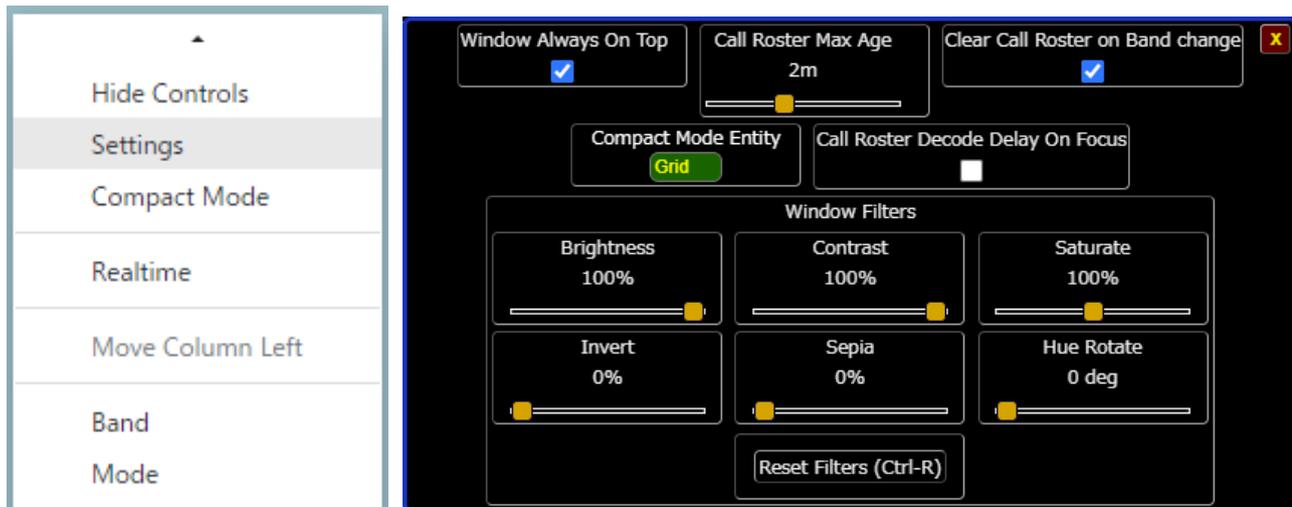
A. Callsigns を All Traffic または All Traffic/Only Wanted のいずれかに設定することを選択した場合、国をフィルタリングするための選択肢は 2 つしかありません。

限定メニューで、Not my DXCC または Only my DXCC のいずれかを選択します。

B. コールサインを New または New + Unconfirmed に設定することを選択した場合

1. プライマリ ハンティング ターゲットを DXCC に設定し、ドロップダウン ハンティング メニューを新規に設定します。Call Roster テーブルに表示される唯一の行は、Callsign ステーションが新しい国からのものです。
2. プライマリ ハンティング ターゲットを DXCC (Single) に設定し、Select DXCC のドロップダウン ハンティング メニューを興味のある国に設定します。
 - ▶ アイスランドの誰かとの交信先を必死に追跡しようとしている場合、これは非常に効果的なオプションです。アイスランドが表示されるまで、Call Roster テーブルに他のトラフィックは表示されませんが、[設定] > [Call Roster] で音声アラートを設定して、発生したときに通知することができます
3. DXCC 名を右クリックして [DXCC を無視] フィルタを設定することで、その DXCC を無視することもできます。
4. プライマリ ハンティング ターゲットを DXCC に設定し、ドロップダウン ハンティング メニューを混合に設定し、Not my DXCC の限定ボックスをチェックします。
5. プライマリ ハンティング ターゲットを DXCC に設定し、ドロップダウン ハンティング メニューを新規に設定します。

コール・ロスター設定



オプションの「Settings」をクリック（または Ctrl-S）すると設定ウィンドウが開き、コール・ロスターの動作と外観が設定できます。

- **Window Always On Top** : Call Roster ウィンドウ（開いている場合）を常に表示の最前面に保持します。
- **Call Roster Max Age** : Call Roster テーブルに現在のトラフィック データが表示される時間を設定します。（最小 15 秒から最大 5 分）
- **Clear Call Roster on Band change** : WSJT-X の周波数バンドを変更した時にそれまで表示していたトラフィックデータをクリアします。
- **Compact Mode Entity** : コンパクトモードの時にコールサインと共に表示するデータを選びます。
- **Call Roster Decode Delay On Focus** : フォーカス時のコール名簿デコード遅延(可変:50ms~5000ms)
 - QSO を開始するためにロスターのステーションをクリックしようとする時、新しいメッセージが入ってきて、ロスターが更新され、間違っただけのステーションを選択してしまうことを軽減します。
- **Window Filters** : コール・ロスター ウィンドウの外観を変更します。
 - Brightness : 明るさ Contrast : コントラスト（明暗差） Saturate : 色の濃さ
 - Invert : 色の反転 Sepia : セピア（イカ墨）色化 Hue Rotate : 色合い（色相）変更「Reset Filters(Ctrl-R)」をクリック（または Ctrl-R）でこれらの設定は初期化されます。

コール・ロスターモード

Call Roster には 2 つの操作モードがあります: Roster と Compact は、Call Roster コントロールがどのように表示されるかを示します。コントロールを完全に非表示にするオプションもあります。ここまでのスクリーンショットの図は、現在の送信に関する詳細データを含む表である名簿モードを示しています。しかし、通話名簿ウィンドウの任意の場所を右クリックすると、コントロールを非表示にして代わりにコンパクトモードを使用できるポップアップメニューが表示されます。

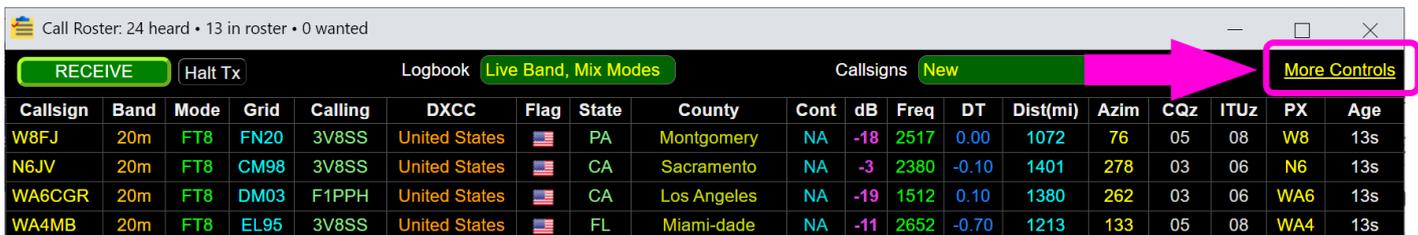


名簿モード:

多コントロール More Controls - サンプル画像



少コントロール Fewer Controls - サンプル画像



すべてのコントロールを表示するように戻す場合は、ウィンドウの右上隅にある [More Controls] をクリックします。

コントロールを隠す - サンプル画像



Call Roster の任意の場所を右クリックし、[Hide Controls] を選択して、すべてのコントロールを非表示にし

ます。それらを再表示する唯一の方法は、Call Roster の任意の場所を右クリックして [Show Controls] を選択することです。

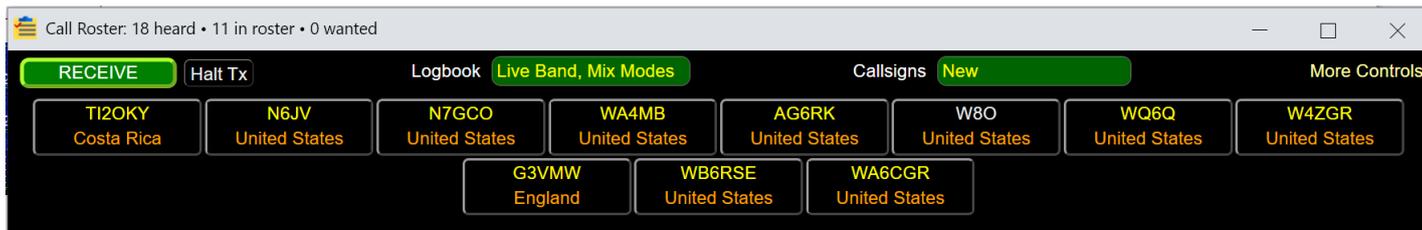
コンパクトモード

多コントロール More Controls - サンプル画像



名簿モードと同様に、ウィンドウの右上隅にあるボタンを使用して、コントロールの数を増やしたり減らしたりすることができます。

少コントロール Fewer Controls - サンプル画像



コントロールを隠す - サンプル画像



Call Roster を使用して CQ に応答する

以下は、CQ を監視している N6OPE の視点から見た WSJT-X 画面での典型的な QSO の例です。

1. N1API は基本的な CQ を送信します
2. N6OPE が応答する
3. 2 回の試行の後、N1API と N6OPE はデータを交換し、QSO を 73 で終了します。

WSJT-X v2.3.1 by K1JT, G4WJS, and K9AN

File Configurations View Mode Decode Save Tools Help

Band Activity						Rx Frequency					
UTC	dB	DT	Freq	Message	Source	UTC	dB	DT	Freq	Message	Source
230230	-16	0.1	1155	~ CQ KP4JFR FK68	Puerto Rico	230245	-5	0.2	2681	~ CQ N1API FN31	U.S.A.
230245	-5	0.2	2681	~ CQ N1API FN31	U.S.A.	230302	Tx		1250	~ N1API N6OPE EM28	
230245	-23	0.1	1629	~ CQ N5LZB CN87	U.S.A.	230315	-9	0.2	2682	~ N6OPE N1API -05	
230315	-18	0.1	1629	~ CQ N5LZB CN87	U.S.A.	230330	Tx		1250	~ N1API N6OPE R-09	
230315	-18	0.3	2327	~ CQ CX6VM GF27	Uruguay	230345	-3	0.2	2682	~ N6OPE N1API -05	
230345	-18	0.1	1356	~ CQ DX W7RTM CN84	U.S.A.	230400	Tx		1250	~ N1API N6OPE R-03	
230345	-16	0.1	1629	~ CQ N5LZB CN87	U.S.A.	230415	-16	0.2	2682	~ N6OPE N1API RR73	
230415	-16	0.1	1630	~ CQ N5LZB CN87	U.S.A.	230430	Tx		1950	~ N1API N6OPE 73	
						230445	-4	0.2	2682	~ CQ N1API FN31	U.S.A.
						230515	0	0.2	2683	~ CQ N1API FN31	U.S.A.
						230545	-2	0.2	2683	~ CQ N1API FN31	U.S.A.
						230615	-7	0.2	2683	~ CQ N1API FN31	U.S.A.

Call Roster で見られるのと同じやり取りを次に示します。

Call Roster: 39 heard • 29 in roster • 0 wanted

RECEIVE Halt Tx **Exceptions**

Logbook **Live Band & Mode** CQ Only Min freq

Callsigns **New+Unconfirmed** Has Grid Max freq

Hunting **Callsign** Min dB Uses LoTV

Max DT Spotted M

Callsign	Band	Mode	Grid	Calling	Msg
N5LZB	20m	FT8	CN87	CQ	CQ N5LZB CN87
N1API	20m	FT8	FN31	CQ	CQ N1API FN31
N9YBA	20m	FT8	EL89	NØBKE	NØBKE N9YBA RRR

N1API は CQ を送信します。

ユーザー（この例では N6OPE）は、N1API のコールサインをクリックするだけで応答を開始できます。

N1API のコールサインは、応答が発生したことを示すために赤で囲まれています。

注意: WSJT-X の [設定]-[一般]-[動作] で「コールサインをダブルクリックすると送信可にする」がチェックしてあると、CQ 局に対してはこのシングルクリックで送信可に移行します。

Call Roster: 35 heard • 29 in roster • 0 wanted

TRANSMIT Halt Tx **Exceptions**

Logbook **Live Band & Mode** CQ Only Min freq

Callsigns **New+Unconfirmed** Has Grid Max freq

Hunting **Callsign** Min dB Uses LoTV

Max DT Spotted M

Callsign	Band	Mode	Grid	Calling	Msg
ZW16ZT	20m	FT8	-	ZW16ZT	ZW16ZT
N1API	20m	FT8	FN31	N6OPE	N6OPE N1API -05
CO8MCL	20m	FT8	FL20	W6SDM	W6SDM CO8MCL R+05

Call Roster での N1API の応答は次のようになります。

- N1API は返信メッセージを N6OPE に送信しました。
- N6OPE のコールサインは、Calling 列に強調表示されます。N6OPE のリグは N1API に応答を返しています。そのため、ウィンドウの左上隅に【TRANSMIT】が表示されます。



- この時点で QSO 交換は終了です。N1API は 73 メッセージを N6OPE に送信し、N1API のコールサインには特別な色の境界線がなくなりました。
- N6OPE は交換を終了するために N1API に 73 を送信しています。そのため、左上隅に【TRANSMIT】が表示されています。

Call Roster を使用してヒットの скриプトを実行する (例: 携帯電話にプッシュ通知を送信する)

Call Roster アラートを使用して、コンピュータ上で任意のアクションを実行することができます。
 ¥~/Documents/GridTracker/scripts/cr-alert.sh または Documents¥¥GridTracker¥¥scripts¥¥cr-alert.bat が終了すると、コール・ロースターに「Script Enabled」という新しいボタンが表示されます。



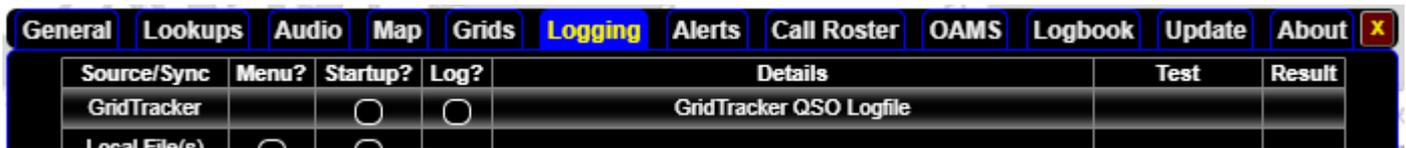
(略: 英文の原本を参照してください: [Home · Wiki · GridTracker.org](http://Home.Wiki.GridTracker.org) / [GridTracker · GitLab](https://GridTracker.GitLab))

GridTracker ロギングのオプションと機能

GridTracker は「ロギング プログラム」ですか？

いいえそうではありません。QSO 情報を送信することを選択した場合、.adif ファイルの形式でログを保持しますが、GridTracker は主に QSO / QSL 情報を表示するように設計されており、無線交信先の永続的なデータベースを作成することはありません。GridTracker_QSO.adif ファイルの保存場所については、このマニュアルの「[GridTracker データ ファイル](#)」セクションを参照してください。

GridTracker が保存する QSO/Logging レコード



Source/Sync	Menu?	Startup?	Log?	Details	Test	Result
GridTracker		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GridTracker QSO Logfile		
Local File(s)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

[設定] > [Logging] メニューに表示される表の最初の行は、GridTracker の内部ロギング機能の限定的な制御オプションを提供します。これにより、次の 2 つのことだけを行うことができます。

1. GridTracker の起動時に、GridTracker_QSO.adif ファイルに含まれるコンテンツを自動的に読み込みます。
2. WSJT-X で作成された新しい QSO のデータを GridTracker_QSO.adif ファイルに追加します。

注意: GridTracker は、起動するたびに WSJT-X_log.adif ファイルを常に自動的にインポートします。では、GridTracker が常に起動して WSJT-X_log.adif ファイルのデータを取得するのであれば、なぜ起動時に GridTracker_QSO.adif ファイルを開いてインポートする必要があるのでしょうか？考えられる理由:

- a) WSJT-X 以外のアプリで行ったデジタル交信先の QSO レコードをインポートしたい。あるいは、手動で GridTracker_QSO.adif ファイルに追加した電話または CW で作成された交信先、および/または
- b) 起動時に交信先の QSL レコードをインポートする必要があり、その情報を手動で GridTracker_QSO.adif ファイルに追加した。

これらの両方を行う別の方法がありますが、すべての連絡先データを常に GridTracker_QSO.adif ファイルに保存し、起動時にアップロードすると便利です。ただし、いくつかの手動作業で GridTracker の外部のアプリを使用してこれらの外部ファイルをすべて取得し、それらの内容を「GridTracker_QSO.adif ファイル」という名前のファイルにコピーして保存する必要があります。

QSO データをインポートするための GridTracker のオプションに入る前に、GridTracker を使用してログ情報を他のアプリに送信する方法について説明します。

GridTracker からロギング情報をエクスポートする

GridTracker は、外部アプリケーションや Web サイトから QSO ロギング データをインポートおよびエクスポートすることが選択できます。データをエクスポートするためのオプションは、データをインポートするためのオプションよりも少し簡単なので、まずはエクスポートについて説明します。

General	Lookups	Audio	Map	Grids	Logging	Alerts	Call Roster	OAMS	Logbook
Source/Sync	Menu?	Startup?	Log?	Details					
GridTracker		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GridTracker QSO Logfile					
Local File(s)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
PSK-Reporter	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		24 Hour History					
QRZ.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	API Key [REDACTED]					
ClubLog	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Callsign N6OPE Password [REDACTED] Email [REDACTED]					
HRDLOG.net			<input type="checkbox"/>	Callsign [REDACTED] Upload Code [REDACTED] *** How to get upload code ***					
Cloudlog			<input type="checkbox"/>	URL http://127.0.0.1/index.php/api/qso API Key [REDACTED]					
eQSL.cc			<input type="checkbox"/>	User [REDACTED] Password [REDACTED] QTH Nickname <input type="checkbox"/>					
LotW	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Login n6ope Password [REDACTED]					
N1MM Logger+			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 2333					
Log4OM			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 2236					
N3FJP Loggers			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 1100					
DXKeeper			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 52000					
HRD Logbook			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 7826					

TheGridTracker は、必要に応じて、検出した QSO 情報を WSJT-X からさまざまな専用ログ プログラムに送信します。これはオプションが選択されていない場合の [設定] > [ロギング] メニューです。

QSO またはロギング情報を GridTracker のログに送信するオプションがありますが、QRZ.com、LotW、およびその他の 10 の外部プログラムまたは Web サイトにも送信できます。そのためにはパスワードまたは IP アドレス情報を入力する必要がありますが、一度設定するだけです。

ロギング情報の GridTracker へのインポート

QSO ログの GridTracker へのインポートの管理は、データのエクスポートよりも少し複雑です。GridTracker では、いつ、どのようにそれを行うかについて、より多くのオプションが提供されるからです。

起動時のログデータのインポート

General	Lookups	Audio	Map	Grids	Logging	Alerts	Call Roster	OAMS	Logbook
Source/Sync	Menu?	Startup?	Log?	Details					
GridTracker		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	GridTracker QSO Logfile					
Local File(s)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
PSK-Reporter	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		24 Hour History					
QRZ.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	API Key [REDACTED]					
ClubLog	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Callsign N6OPE Password [REDACTED] Email [REDACTED]					
HRDLOG.net			<input type="checkbox"/>	Callsign [REDACTED] Upload Code [REDACTED] *** How to get upload code ***					
Cloudlog			<input type="checkbox"/>	URL http://127.0.0.1/index.php/api/qso API Key [REDACTED]					
eQSL.cc			<input type="checkbox"/>	User [REDACTED] Password [REDACTED] QTH Nickname <input type="checkbox"/>					
LotW	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Login n6ope Password [REDACTED]					
N1MM Logger+			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 2333					
Log4OM			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 2236					
N3FJP Loggers			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 1100					
DXKeeper			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 52000					
HRD Logbook			<input type="checkbox"/>	IP 127.0.0.1 Port 7826					

ローカル ファイル、PSK-Reporter 情報、QRZ、ClubLog および/または LoTW データをインポートするボタンをメインの GridTracker コントロール パネルに表示するオプションは、[設定] > [ロギング] メニューにある [Menu?] で選択します。

GridTracker の起動時に毎回インポートしたいデータがあれば [Startup?] のボタンの 1 つまたは複数を選択します。

ローカル ファイル:

「ローカル」ファイルは、Web サイトから取得したデータ ファイルではなく、コンピュータまたはネットワークに保存されているファイルです。 ローカル ファイルを追加するには、[追加] ボタンをクリックし、パスとファイル名を入力します。 注: Windows システムでは、[ファイルを追加] ボタンをクリックすると、既存のファイルを簡単に検索できる Windows ファイル エクスプローラー ウィンドウが自動的に開きます。 以下の例では、ユーザーは起動時に「FieldDay2021.adif」という名前のローカル ファイルをインポートするように GridTracker に指示しています。



ウェブサイトのデータ:

QRZ、ClubLog、または LoTW ウェブサイトからデータをインポートすることを選択した場合、サイトに必要なログイン データを提供する必要があります: ログイン名またはコールサイン、パスワードなど。

GridTracker はサイトから QSO データを取得し、一時的な .adif ファイルを作成し、そのファイルを GridTracker_QSO.adif ファイルが保存されているのと同じ場所に保存します。 GridTracker アプリを閉じると、その一時ファイルはクラウドから削除されます。

オンザフライ(随時)/任意のログのインポート

GridTracker の起動時にログ データインポートする場合と基本的に同じプロセスを使用して、オンザフライでログをインポートします。

このマニュアルの前半で、Local、QRZ.com、ClubLog、および LoTW データをメインの GridTracker コントロール パネルにインポートするためのボタンを追加するオプションについて説明しました。(ADIF ファイルをロードするためのボタンは、初期設定で GridTracker コントロール パネルの一部です。)

それらのボタンの一部またはすべてを使用して、必要に応じてその場で「外部」データを GridTracker にインポートできます。

注: 繰り返しますが、QRZ、ClubLog、または LoTW の Web サイトからデータをインポートすることを選択した場合、GridTracker はサイトから QSO データを取得し、一時的な .adif ファイルを作成して、そのファイルを GridTracker_QSO.adif ファイルと同じ場所に保存します。

注: ADIF をロードするための GridTracker コントロール パネルのボタンとローカルにログを記録するためのボタンは、2 つの異なることを行います。



Load ADIF ボタンはローカルの GridTracker_QSO.adif が保存されているフォルダを開きますが、任意の

ファイルをロードできます。



[ローカル ログを読み込む] ボタンは、[設定] > [Logging] で特定したローカル ファイルを読み込みます

「ログのクリア」および「ログのロード」ボタンの使用

ログ データのインポートとエクスポートについて説明しましたが、メインの GridTracker コントロール パネルの [QSO ステータス] セクションにある [ログのクリア] ボタンと [ログのロード] ボタンを使用するとどうなるかを確認する必要があります。

コントロール パネル GridTracker の [QSO データ] セクションにある [ログのクリア] ボタンをクリックしてログ データをクリアすると、次のようになります。

じゃーん!: QSO データ レコードは次のようになります。



「Clear Log」ログをクリアボタンをクリックする

1. コントロール パネルの QSO と QSL のカウントをクリアし、すべてのグリッド オーバーレイと統計情報をクリアしますが、ファイルを完全に削除するわけではありません。
明確にするために: これは、作業中の GridTracker データベースにあるすべての WSJT-X データと、インポートしたすべてのログ データ (つまり、LoTW、QRZ、ローカル .adi ファイルなど) を消去することを意味します。

GridTracker に表示されるログ ファイルを変更する場合は、クリア後にロードする事で変更できます。

2. GridTracker_QSO.adif ファイル (ログ データを蓄積する様にしていた場合) は変更されません。
3. 外部ソース (LoTW など) からログ データをインポートするように GridTracker に指示した場合、OneDrive クラウド内の GridTracker ストレージ フォルダからそれらのファイルが削除されます。ただし、LoTW に保存されているデータには何も起こりません。これらのレコードは変更されません。

➤ 練習のヒント: 一般的に言えば、WSJT-X QSO データを表示しないオプションはありません。GridTracker は、コンピュータに保存されている wsjtx_log.adi ファイルに含まれる情報を常に取得して表示します。

ただし、WSJT-X データをクリアしたいが、ロギング プログラムからの QSO/QSL データを表示したい場合は、回避策があります。注: GridTracker を使用している場合、または交信先情報を WSJT-X から別のログ プログラムに手動でアップロードしている場合は、WSJT-X データが含まれます。

1. メインの GridTracker コントロール パネルの [QSO ステータス] セクションにある [ログのクリア] ボタンをクリックします。これにより、GridTracker が起動時に自動的にロードした WSJT-X データが

消去されます。

2. Load Local または Download LoTW または Download Club Log または Download QRZ Log ボタンを使用して、これらのログの 1 つまたは複数 を GridTracker の作業データベースに手動でロードします。

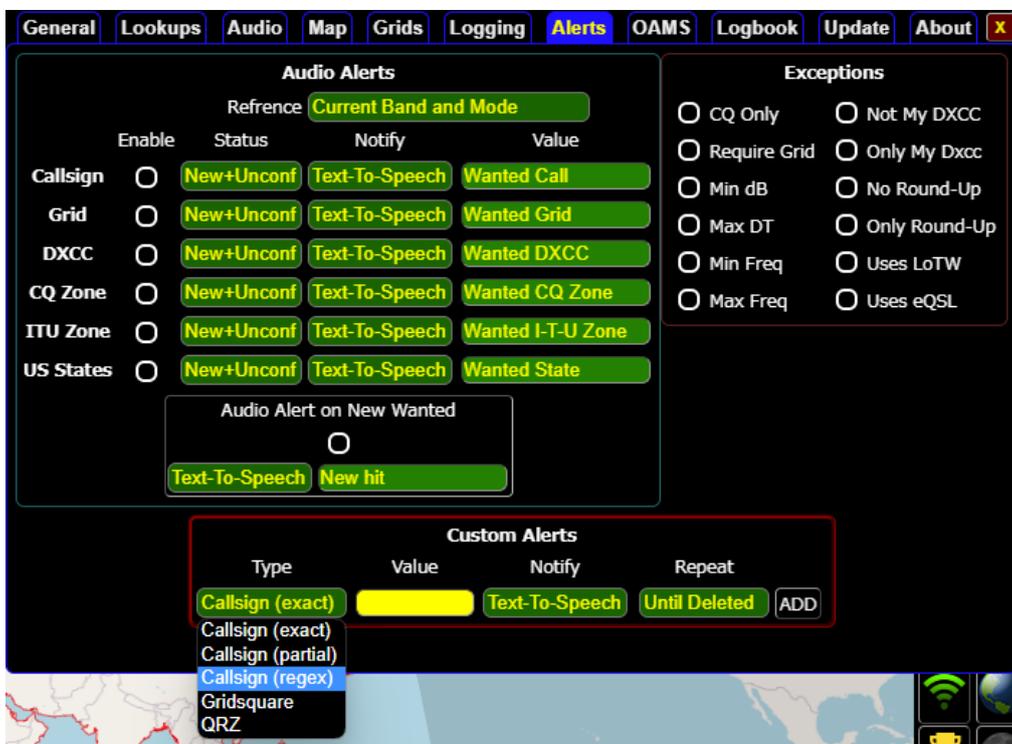
[Load Logs] ログの読み込みボタンをクリックする

このコマンドは、(1) wsjtx_log.adi ファイルと (2) [設定] > [Logging] メニューで起動時に GridTracker にロードするよう「Startup?」に設定したその他の .adi / .adif ファイルをロードします。

オーディオおよびビジュアル アラートの設定

GridTracker は、さまざまなイベントの音声アラートと、一部のイベントの視覚アラートを送信できます。

音声アラート



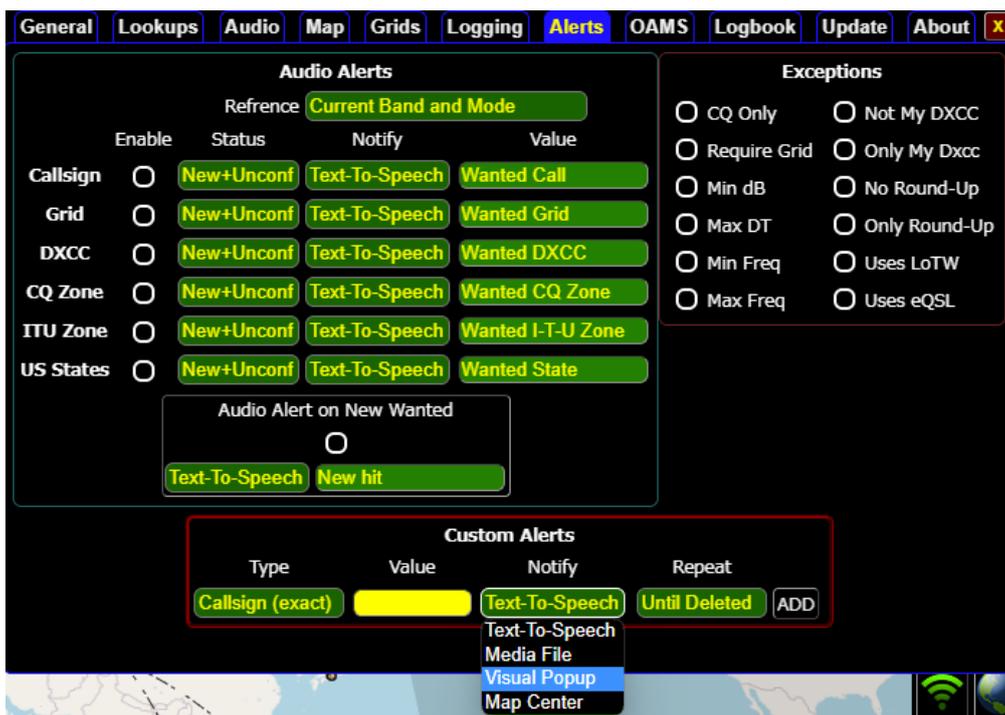
- あなたのコールサインを含むメッセージに可聴アラートを設定します。
[常に WSJT-X に注意を払っていない場合に役立ちます。]
- 1. [カスタム アラート ボックス](#) で、タイプ ボックスをクリックして [QRZ] を選択します。
- 2. 「Value Box」にコールサインを入力します（通常はあなたのコールサインが表示されます）。
- 3. 初期設定のアラートは、Text-To-Speech（テキスト読み上げアラート）です。効果音を聞きたい場合は、[Media File] をクリックします。他のオプションは、「Visual Popup(ポップアップ ウィンドウ)」と「Map Center(あなたの QTH に GridTracker マップをセンタリングします)」です。
- 4. 効果音の通知が必要な場合は、[Media File] を選択後に [Select File (ファイルの選択)] ドロップダウンリストをクリックします。
- 5. [Repeat (繰り返し)] ボタンをクリックして、アラートを繰り返し方法を選択します。
- 6. [ADD (追加)] ボタンをクリックします。注: 作成したカスタム アラートをリセットまたは削除するオプションがあります。

[Call Roster](#) の機能を使用して、コールサインの音声アラートを受け取る別の効果的な方法があります。

- 特定のコールサインを含むメッセージの可聴アラートを設定します。
これは、アラートのタイプとして「正確なコールサイン (Callsign exact)」を選択することを除いて、上記とほぼ同じ手順です。
- あいまいなコールサインを含むメッセージの可聴アラートを設定します。
アラートのタイプとして「部分的なコールサイン (Callsign partial)」を選択すると入力したコールサインの一部で始まるコールサインがアラートの対象になります。
また、「正規化コールサイン (Callsign regex)」を選択すると対象にするコールサインを正規化表現で入力できます。(例: ^J[A-Z]5[^F[A-Z]][79])
- 特定のグリッドを含むメッセージの可聴アラートを設定します。
アラートのタイプとして「Gridsquare (グリッド)」を選択します。少なくともグリッド指定の最初の 2 文字、または最初の 2 文字と数字を入力してください。次に、Notify (アラートのタイプ) を選択し、Repeat (アラームの繰り返し方法) を選びます。
- 特定の DXCC からのメッセージに対する可聴アラートの設定。
これは、到達したい国の標準コールサイン プレフィックスを知る必要があるという点で、少し複雑です。アイスランドを例に考えてみましょう。アイスランドのコールサインはすべて TFA から TFZ まで始まります。したがって、アラートのタイプとして「Callsign (partial)」を選択し、「Value」ボックスに「TF」と入力します。

ビジュアルアラート

ビジュアルアラートは、[カスタムアラート](#)でのみ使用できます。[Notify] のメニューをクリックすると、次のいずれかの設定を行うことができます。



1. [Visual Popup] 次のようなビジュアル ポップアップ:



2. [Map Center] マップ センター アラート -- これにより、GridTracker マップが、関心のあるステーションが配置されているグリッドに再配置されます。(理論的には、これがあなたの注意を引くという事です。)

GridTracker 統計



コントロール パネルの [統計] ボタンをクリックすると、新しいウィンドウ ([統計] ウィンドウ) が開き、QSO データに関連して開発者が考えることができるすべてのメトリック (統計基準・属性) が表示されます。

重要な注意: グリッドに表示される [QSO データ](#) と GridTracker マップ上の [アワード レイヤー](#) オーバーレイと同様に、統計メニューのさまざまなタブに表示される情報は以下に依存します。

1. GridTracker に [インポート](#) するために選択したログ。
2. ログ データを制限する、または制限しないために選択した [マップ ビュー フィルター](#)。
3. [\[設定\]](#) > [\[ログブック\]](#) タブで有効にしたワーキング コールサイン。

ログブックデータ

Station	Grid	Band	Mode	QSL	Sent	Rcvd	DXCC	Flag	When	LoTW	eQSL
K4CY	EM74	20m	FT4		-21	-12	United States (K)	🇺🇸	Tue 13 Jul 2021 21:34:46 UTC		
K4TX	EM95	20m	FT4		-06	-06	United States (K)	🇺🇸	Tue 13 Jul 2021 21:34:08 UTC	✓	✓
KB8DEX	EN80	20m	FT4		-10	-06	United States (K)	🇺🇸	Tue 13 Jul 2021 21:29:01 UTC	✓	
K7HRT	DN17	20m	FT4		-12	-13	United States (K)	🇺🇸	Fri 09 Jul 2021 22:20:03 UTC	✓	✓
ON8BB	JO21CC	20m	FT4	✓	-12	-07	Belgium (ON)	🇧🇪	Fri 09 Jul 2021 22:18:15 UTC	✓	✓
SP5UAF	KO02PF	20m	FT4	✓	-15	-09	Poland (SP)	🇵🇱	Fri 09 Jul 2021 22:17:23 UTC	✓	✓
KB2RSK	FN22QW	20m	FT4	✓	-05	-07	United States (K)	🇺🇸	Fri 09 Jul 2021 21:45:16 UTC	✓	
VE2GCE	FN35BK	20m	FT4	✓	-08	+00	Canada (VE)	🇨🇦	Fri 09 Jul 2021 21:43:08 UTC	✓	✓

統計ウィンドウの最初のタブはログブック データです。一目瞭然です。列には、WSJT-X によって収集されたデータと、現在の作業セッションにインポートするために選択したその他の外部ログが反映されます。

繰り返しますが、GridTracker は起動時に常に現在の wsjtx_log.adi ファイルを取得します。これは自動的に行われます。他の .adi/.adif ファイル (ローカルまたはインターネット上に保存されている) を取得して含めるように GridTracker に明確に指示しない場合、[統計] ウィンドウに表示される唯一のデータは、現在の WSJT-X データです。

ログブック データの操作

並べ替え

Station	Grid	Band	Mode	QSL	Sent	Rcvd	DXCC	Flag
---------	------	------	------	-----	------	------	------	------

列ヘッダー (ステーション、モード、DXCC など) をクリックして、その列でテーブルを並べ替えます。最初の

並べ替えは、A から Z へのアルファベット順になります。列ヘッダーをもう一度クリックすると、テーブルは Z から A へと逆に並べ替えられます。

注: [Sent (送信した相手局レベル)] 列と [Rcvd (受信した自局レベル)] 列を並べ替えることはできません。

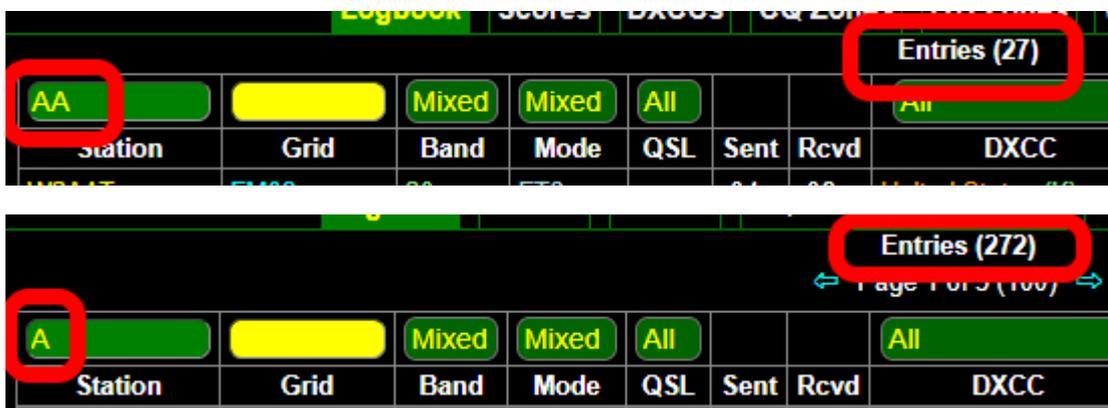
フィルタリング

Station、Grid、Band、Mode、QSL、および DXCC 列は、単独で、または組み合わせてフィルタリングできます。

ステーションフィルタリング

Station の上の黄色の楕円形に少なくとも 1 文字を入力して、その文字を含むテーブル内のすべてのエントリを取得します。

基準を満たす QSO の数がページの上部に表示されます。



- 最初の検索結果は、逆の年代順（新しい日付から古い日付へ）でソートされて返されます。次に、列見出しをクリックして、必要に応じてさらに並べ替えを行うことができます。
- フィルターは大文字と小文字を区別しません。「a」を入力すると、自動的に「A」に変換されます。
- 検索ボックスに文字を入力する順序は重要です。検索機能は文字列検索を行うため、「JY」のフィルター検索では「YJ」のフィルター検索とは異なる結果が得られます。

The image shows two screenshots of a logbook interface. The first screenshot shows search results for 'YJ', listing stations N5LYJ, WA4YJY, NØYJJ, KC8YJJ, and N5YJZ. The second screenshot shows search results for 'JY', listing stations KG4JYB and WA4YJY. The interface includes buttons for 'Logbook', 'Scores', and 'DXCCs', and a table with columns for Station, Grid, Band, and Mode.

Station	Grid	Band	Mode
N5LYJ	EM15GP	40m	FT8
WA4YJY	EL99HX	40m	FT8
NØYJJ	EN34	40m	FT8
KC8YJJ	EN90PL	40m	FT8
N5YJZ	CM97AF	40m	RTTY

Station	Grid	Band	Mode
KG4JYB	EM80	20m	FT8
WA4YJY	EL99HX	40m	FT8

グリッドフィルタリング

コールサインをフィルタリングするのと同じ方法で、グリッド データをフィルタリングできます。グリッド列ラベルの上にある黄色のボックスに 1 つ以上の文字を入力します。ただし、フィルターの結果は、検索文字列の文字の順序に完全に依存します。実際のデータセットからのいくつかの例は、これをより明確にします。

「L」でグリッドのデータをフィルタリングすると、次のものが返されます。「L」が 2 文字のグリッド ID の最初の文字である 4 つの QSO。

Station	Grid	B
R4IK	LO43	20
R3TKM	LO15	20
R4IK	LO43	20
RM8T	LO81	20

- ただし、「L」が最初の 2 文字のグリッド ID の 2 番目の文字であるデータは省略されています。DL、EL、FL などでは始まるグリッドなど。

Station	Grid	B
XE2JX	DL96	20
XE2JX	DL96	40
XE2YWN	DL92	20
XE1HYV	DL80	20
XE2KJ	DL95	20
XE2RCS	DL44	20

Station	Grid	B
W9ICK	EL98	20
WE5MAG	EL97	20
KN4FLW	EL95	20
WE5MAG	EL97	20
K5DOX	EL09	20
K2MRK	EL98	20

Station	Grid	B
CO6XE	FL01	20
CO7IG	FL01	20
CO6DS	FL02	20
CO7CD	FL11	20
CO8LY	FL20	20
CO6XE	FL01	20

- 数字だけでグリッド ID をフィルタリングすることはできません。:

Station	Grid	Band	Mode	QSL	Sent	R
	9	Mixed	Mixed	All		

ただし、「**#」(* は文字、# は数字)のように、2つのアルファベット文字に続く数字を含むグリッドをフィルタリングできます。DM9をフィルタリングすると、次の結果が返されます。

ただし、次のようなグリッド ID を持つ QSO は返されません。

DM79 EK99 JK79

Station	Grid
KC5YPU	DM92
K5BEK	DM93
KC5YPU	DM92
KI5BMX	DM95
KS5Z	DM93
KI5BMX	DM95

- 検索文字列の任意の文字のプレースホルダーとしてアスタリスクを使用することはできません（つまり、「D*1*」のようなものをフィルタリング）。

グリッド "EL96" のデータをフィルター処理した次の例のように、4文字の正確な文字列をフィルター処理できます。

Station	Grid	Band
K4OMD	EL96	20m
KO4KWE	EL96	20m
NF5KF	EL96	40m
K9SDM	EL96	20m

バンド、モード、QSL、および DXCC のフィルタリング

The screenshot shows a software interface with several filter buttons highlighted in green: 'Mixed', 'Mixed', 'All', and 'All'. Below these buttons is a table with columns for Station, Grid, Band, Mode, QSL, Sent, Rcvd, DXCC, and Flag.

これらの緑色のボックスのいずれかをクリックすると、セクションを作成できるドロップダウンメニューが表示されます。

ドロップダウンメニューのオプションには、現在 GridTracker にインポートしたデータが反映されます。（つま

り、WSJT-X ログ ファイルにあるものと、外部ソースからインポートした Phone などその他のログ データをすべて含むものです。)

Band	Mode	QSL	DXCC
Mixed	Mixed	All	All
Mixed	Mixed	All	All
10m	Phone	Yes	Alaska (KL)
15m	Digital	No	Argentina (LU)
17m	FT4		Asiatic Russia (UA9)
20m	FT8		Australia (VK)
40m			Azores (CU)
			Barbados (8P)
			Belgium (ON)
			Bolivia (CP)
			Bonaire (PJ4)
			Brazil (PY)
			Bulgaria (LZ)
			Canada (VE)
			Canary Is. (EA8)

スコアとアワード

DXCCs
CQ Zones
ITU Zones
WAC / WAS

Viewing 20m / PSK31

Worked All Continents

Worked (3)
Confirmed (2)
Needed (3)
Name
Africa
Asia
Europe
North America
Oceania
South America

Worked All States

Worked (19)
Confirmed (11)
Needed (31)
Name
Alabama
Alaska
Arizona
Arkansas
California
Colorado
Connecticut
Delaware
Florida
Georgia
Hawaii

統計ページのスコアとアワード タブについて説明する前に、「影付き」と「強調」について説明します。これは、ほとんどのアワード ページで影付きと強調が使用されているためです。

- テキストが「影付き」の場合、テキストの周りにあいまいな境界線があります。
- テキストが「強調」表示されている場合、テキストは黒でカラーの背景色が付けられています。
- テキストがカラーで黒の背景色である場合、それを「通常の」書式設定と呼びます。

Worked All Continents / Worked All States (WAC/WAS) アワード ページのこのサンプルでは、ユーザーは 3 つの大陸 (アジア、北アメリカ、南アメリカ) で働いています。彼女は北アメリカと南アメリカの交信先 (「通常の」テキスト) の確認を受け取りましたが、アジアの交信先 (「影付きのテキスト」) については受け取りませんでした。WAC を達成するには、アフリカ、ヨーロッパ、オセアニア (「強調表示された」テキスト) の交信先が必要です。WAS での彼女の結果には、同じ通常の陰影付き強調表示規則が使用されます。

注意: このユーザーの WAC/WAS 統計は、[マップ ビュー フィルター](#)で設定した PSK31 を介して 20 メートルバンドで行われた連絡にのみ適用されます。

スコア

統計のこのタブに表示される情報は一目瞭然です。ユーザーに次のように表示されます。

- 行った交信の数、
- 交信した相手局の地域・場所
- 交信に使用されたモード
- QSO が確認されたかどうか。

アワードタブ

次のスクリーンショットは、[マップ ビュー フィルター](#)で設定したオプションに応じて、アワードの統計がどのように変化するかを示しています。

このユーザーは、20 メートル バンドの FT-4 モードで、4 つの大陸と 27 の米国の州で交信を行いました。

DXCCs	CQ Zones	ITU Zones	WAC / WAS
Viewing: 20m / FT4			
Worked All Continents		Worked All States	
Worked (4)		Worked (27)	
Confirmed (4)		Confirmed (26)	
Needed (2)		Needed (23)	
Name		Name	
Africa		Alabama	
Asia		Alaska	
Europe		Arizona	
North America		Arkansas	
Oceania		California	
South America		Colorado	

ユーザーは、40 メートルのデジタル帯域で 5 つの大陸と 46 の州で交信しています。

DXCCs	CQ Zones	ITU Zones	WAC / WAS
Viewing 40m / Digital			
Worked All Continents		Worked All States	
Worked (5)		Worked (46)	
Confirmed (0)		Confirmed (0)	
Needed (1)		Needed (4)	
Name		Name	
Africa		Alabama	
Asia		Alaska	
Europe		Arizona	
North America		Arkansas	
Oceania		California	
South America		Colorado	

160 メートル バンドのどのデジタル モードでもコンタクトはありません。

DXCCs	CQ Zones	ITU Zones	WAC / WAS
Viewing 160m / Digital			
Worked All Continents		Worked All States	
Worked (0)		Worked (0)	
Confirmed (0)		Confirmed (0)	
Needed (6)		Needed (50)	
Name		Name	
Africa		Alabama	
Asia		Alaska	
Europe		Arizona	
North America		Arkansas	
Oceania		California	
South America		Colorado	

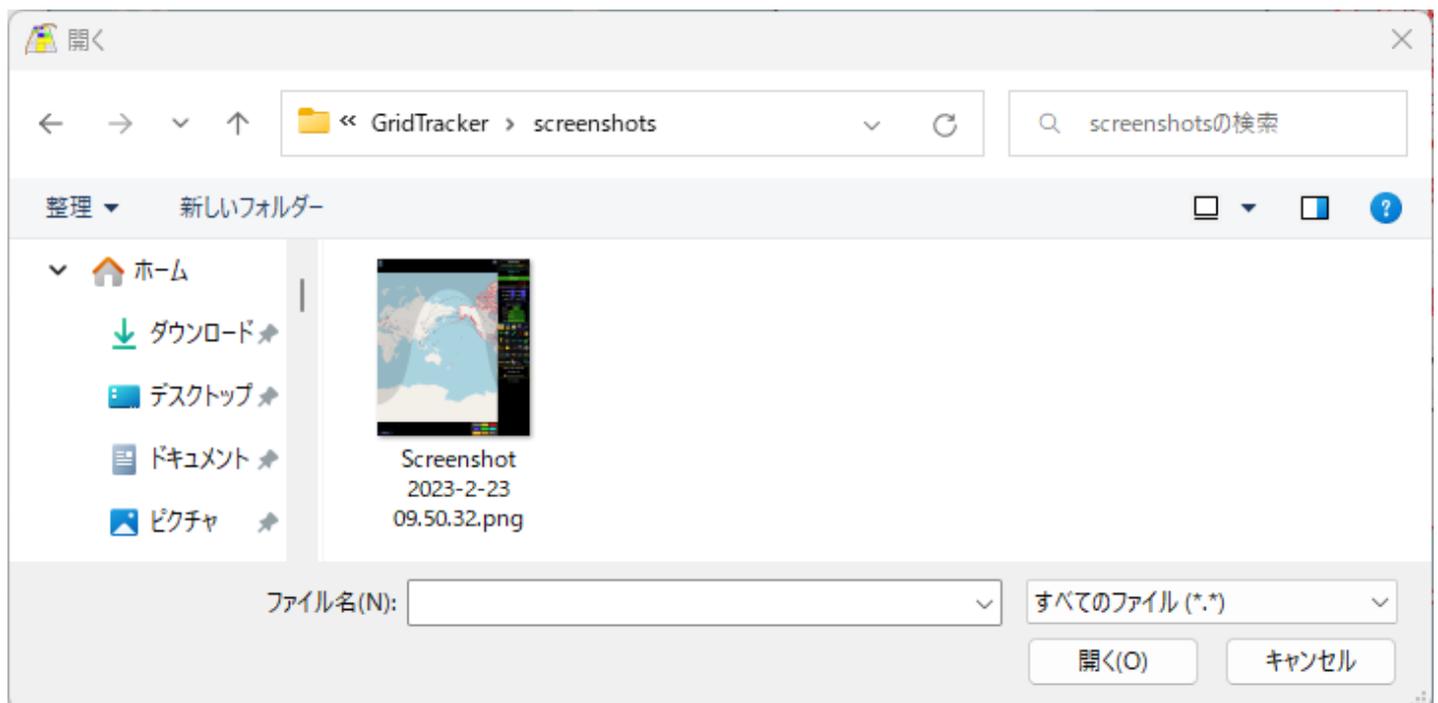
20 メートル帯で CW 使用のコンタクトはありません。

DXCCs	CQ Zones	ITU Zones	WAC / WAS
Viewing 20m / CW			
Worked All Continents		Worked All States	
Worked (0)		Worked (0)	
Confirmed (0)		Confirmed (0)	
Needed (6)		Needed (50)	
Name		Name	
Africa		Alabama	
Asia		Alaska	
Europe		Arizona	
North America		Arkansas	
Oceania		California	
South America		Colorado	

ホットキーでのみアクセスできる機能

Hotkey	Action
D	24 時間の月の軌跡
E	Rx スポット フライトの切り替え
K	スクリーンショットを撮る ^{注1}
アラート：Notify の種類を右クリック後に M	マップ センターまたはメディアファイル アラートを選択
T	グリッド上の Rx スポットの切り替え
アラート：Notify の種類を右クリック後に T	Text-To-Speech アラートを選択
アラート：Notify の種類を右クリック後に V	ポップアップアラートを選択
X	地図の位置情報の切り替え
Y	Toggle グローバルライトニング
Z	QTH グリッドのセンターマップ

^{注1} スクリーンショットは自動的に GridTracker ディレクトリ (GridTracker_QSO.adif ファイルが保存されているフォルダー)内の screenshots ディレクトリー に保存されます。 次の図は、Windows 10 オペレーティング システム用です。



GridTracker ファイル ストレージ

GridTracker プログラム ファイル

Windows

簡単に言うと、初期設定のプログラム インストールを行った Windows ユーザーの場合、GridTracker プログラム ファイルは次の場所に保存されます。

```
C:\¥プログラム ファイル (x86)\¥GridTracker
```

または

```
C:\¥Program Files\¥GridTracker
```

64 ビットまたは 32 ビットの Windows インストールかどうかによって異なります。

MacOS

GridTracker は通常、Applications ディレクトリから実行されます (インストール時にそこにドラッグされたと仮定します)。

Linux

これは、Red Hat ベースのシステムで RPM を使用したか、解凍した GridTracker tar.gz パッケージをファイル システムのどこに配置したかによって少し異なります。

RPM パッケージを使用した RedHat ベースのシステム (RedHat、CentOS、Scientific Linux、Fedora)。GridTracker のシステム ディレクトリは次の場所にあります。

```
/usr/share/gridtracker/
```

他のシステムでは、解凍した tar.gz パッケージを /usr/share/gridtracker にコピーし、gridtracker.desktop ファイルを適切なディレクトリにコピーして、システムのアプリケーション ランチャー メニューに表示するオプションがあります。または、選択したディレクトリに tar.gz を解凍し、そこから GridTracker 実行可能ファイルを実行することもできます。これにより、フラッシュドライブなどのリムーバブル ストレージから GridTracker を簡単に実行できます。

GridTracker データ ファイル

ユーザーのメディア ディレクトリ

使用されているオペレーティング システムに関係なく、GridTracker 内でアラートに使用するメディア ファイルを追加することを選択した場合、ファイル システムの中身を深く掘り下げることなく、それらを配置できる便利な場所があります。GridTracker_QSO.adif ファイルがあるデータ ディレクトリを見ると、media という名前のフォルダが表示されます。メディア ファイルをそこに置き、GridTracker を再起動します。起動時に、

GridTracker はそのディレクトリでファイルをスキャンし、アラートに使用できるメディアのリストに追加します。

Windows

GridTracker の既定のインストールを行っていて、OneDrive を使用していない場合、データ ファイルは次の場所に保存されます。

C:\Users\%user%\Documents\GridTracker\

GridTracker の既定のインストールを完了し、OneDrive を使用している場合、データ ファイルは次の場所に保存されます。

C:\Users\%user%\OneDrive\Documents\GridTracker\

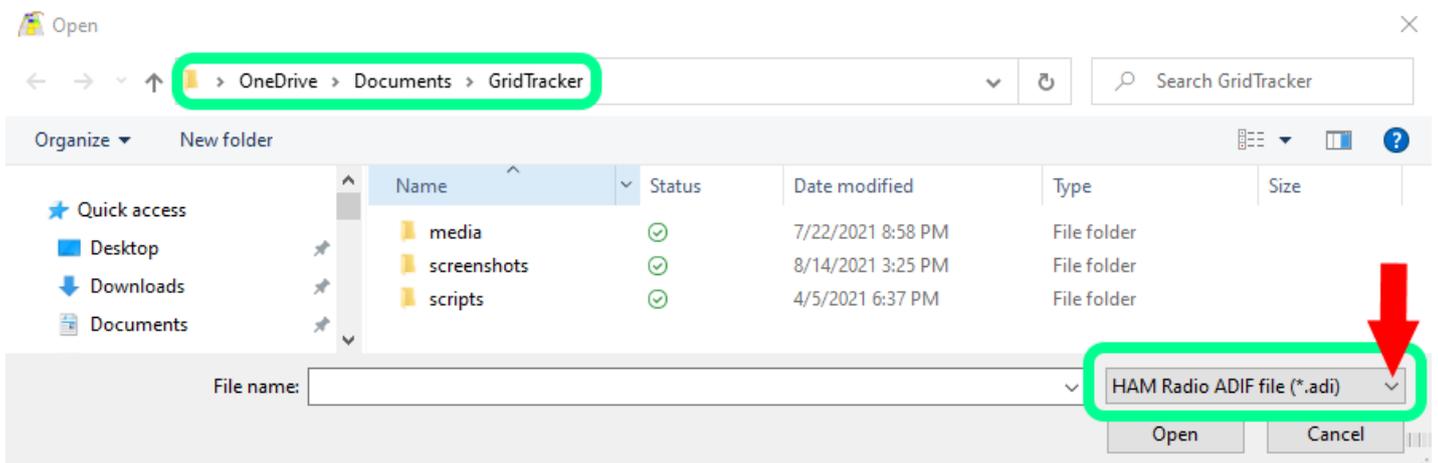
OneDrive に保存されているファイルは継続的にバックアップされますが、**保存されるバージョンは 1 つだけです**。One Drive からファイルを削除することを選択した場合、ファイルを削除すると完全に失われるため、その手順を本当に実行するかどうかを尋ねる警告メッセージが表示されます。

GridTracker ログブック ファイル (GridTracker_QSO.adif) または WSJT-X ログ (wsjtx_log.adif) ファイルのローカル バックアップを維持したい場合は、手動で行う必要があります。バックアップ。ただし、できることは、GridTracker のログ機能 ([設定] > [ロギング]) を使用して、新しい QSO に関する情報を専用のログサイトである 11 の異なるアプリケーションのいずれかに自動的に送信することです。

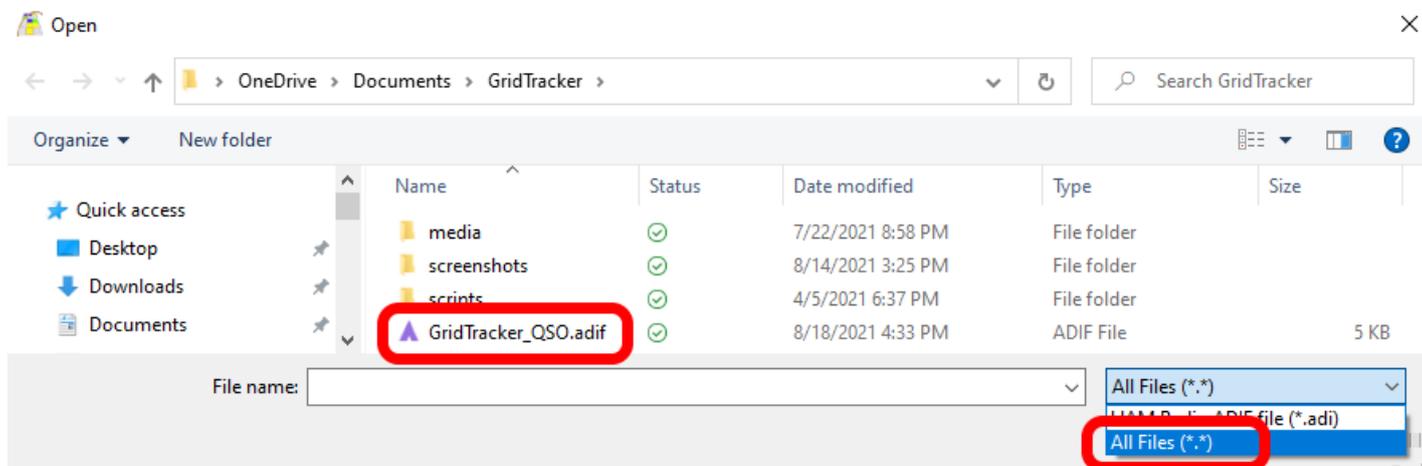
ファイルを削除したと思い込ませる _Windows ユーザー向けの特記事項:

Windows ファイル ディレクトリ ウィンドウの動作の特殊性のために、GridTracker_QSO.adif ファイルを削除してしまったと思えることがあります。あなたは[おそらく]していません。

メインの GridTracker コントロール パネルで [Clear Log] ボタンをクリックして、GridTracker の作業データベースをクリアしたとします。次に、ADIF ボタンをクリックして、GridTracker_QSO.adif ファイルを再度ロードすることにします。ファイルを選択できるディレクトリ ウィンドウが表示されます。



注: ディレクトリ ウィンドウには (初期設定で) .adi ファイル拡張子を持つファイルのみが表示されます。GridTracker_QSO.adif ファイルの拡張子が異なるため、表示されていません。それを見つけるには、下矢印 v (上の赤い矢印を参照) をクリックしてすべてのファイル (*.*) を表示すると、安全で健全な GridTracker_QSO.adif ファイルがあります。



MacOS

MacOS のユーザー ファイルは次の場所に保存されます。

```
~/Documents/GridTracker/
```

Linux

Linux を使用している場合、データ ファイルは次の場所に保存されます。

```
/home/$USER/Documents/GridTracker/
```

サードパーティの統合

HamClock

<https://www.clearskyinstitute.com/ham/HamClock/>

(略: 英文の原本を参照してください: [Home · Wiki · GridTracker.org / GridTracker · GitLab](https://www.clearskyinstitute.com/ham/HamClock/))

よくある質問 トラブルシューティング

問題: GridTracker マップにすべての QSO が表示されない

(またはライブ データ グリッドまたは PSK データ)

処置: ほとんどの場合 (不注意で) ログブック データの表示が制限されています。

- [マップ ビュー フィルター](#) をチェックして、マップが表示するデータを制限するためにバンド/モード/伝播/データ設定を制限しているかどうかを確認します
- [\[設定\] > \[Logging\]](#) を確認して、ローカル ソースやインターネット ソースから必要なデータを自動的にインポートしているかどうかを確認します
- [\[設定\] > \[Logbook\]](#) メニューをチェックして、「Working Callsigns」が有効になっているかどうかを確認します。
- 「カレンダー」オプション。「Working Callsign(s)」を有効にしている場合は、コールサインがボックスに正しく入力されていることを確認してください。

処置: コントロール パネルの [\[MH4/MH6\] ボタン](#) を誤って押した可能性があります。MH4 (EM79 などの 4 桁のメイデンヘッド 解像度を表示) から MH6 (EM79vq などの 6 桁) に切り替えた可能性があります。[\[MH4/MH6\] ボタン](#) を選択し、「欠落している」グリッドが戻ってくるかどうかを確認します。

問題: GridTracker QSO ステータス (およびマップ) に「正しくない」QSO カウントが表示される

処置: ほとんどの場合、ログブック データの表示に影響するオプションを選択しています。

[\[設定\] > \[Logging\]](#) をチェックして、ローカル ファイルやインターネット ソースから必要なデータを自動的にインポートしていることを確認します

問題: GridTracker からの音声アラートが聞こえない

処置: GridTracker の [機能] メニューの [\[オーディオ ミュート\] ボタン](#) を誤ってクリックして、プログラムのサウンドをミュートしていないことを確認してください。

問題: Call Roster 機能で送信を開始できないようです (CQ に応答するため)。

処置: GridTracker 用の [WSJT-X の構成](#) にリストされている設定要件を確認し、それらがすべてオンになっていることを確認してください。

バグレポートの送信

それはバグですか？

最初に知っておく必要があるのは、実際には GridTracker のバグまたはその他のニュアンスですが、ウルトラ DX を追跡している間に機能させようとしているために見落とされています。最初に、こちらの FAQ-トラブルシューティング セクションを確認することをお勧めします。問題がそこにはない場合は、Groups.IO または以前の Discord チャットを検索して、以前に議論された問題かどうかを確認することもできます。それらへのリンクは、テクニカル サポートとアシスタンスのページにあります。GridTracker GitLab の問題リストを調べて、問題が既に報告されているかどうかを確認することもできます。

バグです！

実際にバグであり、以前に報告されていないことを確認した後にバグ レポートを提出する場合、問題レポート画面は次のレイアウトになります。

Summary

(Summarize the bug encountered concisely)

Version

(which version of code is running)

Steps to reproduce

(How one can reproduce the issue – this is very important)

What is the current bug behavior?

(What actually happens)

What is the expected correct behavior?

(What you should see instead)

Relevant logs and/or screenshots

(Paste any relevant logs – please use code blocks (```) to format console output, logs, and code as it's very hard to read otherwise.)

できるだけ完全に記入し、必要に応じてスクリーンショットを含めてください。

新しいバグはすぐに承認されない場合がありますが、[問題を作成] をクリックするとすぐに開発チームのすべてのメンバーに通知が届き、通知が Discord サーバーにドロップされるため、そこにあることがわかります。

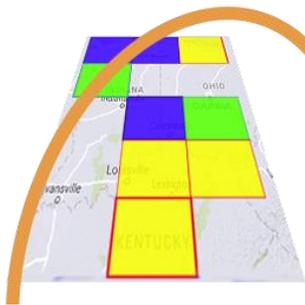
Firewalls

This section is a placeholder

Anti Virus

This section is a placeholder

リリースノート



GridTracker v1.23.0206
An Amateur Radio Companion
February 6th, 2023

変更点

このリリースでは多くの更新を楽しみにしており、悲しいニュースも 1 つあります。

それでは、それから始めましょう。落雷のソースは、トラフィックを非公開化して暗号化したため、ローカルストライキの警告を提供できなくなりました。

落雷のライブ データについては、<https://www.lightningmaps.org/> または <https://map.blitzortung.org/> にアクセスしてください。Blitzortung ステーションの所有者で、GridTracker プロジェクトとの連携に関心がある場合は、KE0YBL までご連絡ください。連絡先情報は <https://qrz.com/> にあります。

さて、楽しいことは…

ヒートマップ キーの「H」オプションは、メイン パネルの「スポット」ボタンに統合されました。スポットボタンには、「オフ」、「スポット」、「ヒートマップ」の 3 つの状態があります。キー「O」は、これらの状態を循環します。

GridTracker のユーザー フラグは、マップ ビュー フィルターに追従するようになりました。3 つの状態のボタンではなくなり、「オフ」と「マップ ビュー フィルターに従う」になりました。

OAMS チャットがウィンドウ幅で改行せず、メッセージ全体を表示するには右にスクロールする必要がある問題を修正しました。

トルコのゾーン 1 コールのライブ デコードがドロップされていたバグを修正しました。

マルチリグ QSO 応答設定は、一般設定タブに移動されました。注: 複数のリグ インスタンスが実行されている場合にのみ表示されます。

Call Roster の設定が ついに Call Roster に移動しました! コール名簿を右クリックして [設定] オプションを見つけるか、コール名簿にフォーカスを置いて Ctrl-S を押します。

並べ替えに使用される名簿列にインジケータが表示されるようになりました。デフォルトの列の並べ替えは「Age」です

デコードリストに複数のバンドが見つかった場合、またはマルチリグを実行している場合、Call Roster Compact モードでバンドが表示されるようになりました。

Call Rosters 設定で Compact Mode エンティティを選択できるようになりました。デフォルトは「DXCC」です。

Call Roster Compact モードでエンティティを右クリックすると、Roster モードと同じメニューが表示されるようになります。

明るさ、コントラストなどを調整できる新しい Call Roster 設定「ウィンドウ フィルター」！ 注意してください: フィルターを使用すると、ウィンドウが読めなくなる可能性があります。その場合は Ctrl-R を使用してフィルターをリセットしてください!

新しい OAMS (Off-Air Message Service) 機能「バンド アクティビティ」により、リアルタイム スポッティング ネットワークを利用して、メイン アプリ アクション パネルの「バンド アクティビティ」グラフに補足的なバンド アクティビティを提供できるようになりました。有効 (デフォルト) の場合、青いバーは OAMS スコアで、PSK-Reporter は赤いバーです。OAMS バンド アクティビティで「近隣グリッド」を有効にすることもできます。これには、自分のグリッドを含む隣接する 8 つのグリッドが含まれます。設定は「OAMS」タブにあります。

チェンジログ

- 落雷検知を削除
- トルコのゾーン 1 デコードのバグ修正
- 「スポット」ボタンのヒートマップ部分、ホットキー H を削除
- GT フラグ ボタンは「Map View Filters」に従います
- OAMS チャット メッセージのワード ラップが正しくなりました
- Multi-Rig の設定は [設定] → [一般] に移動しました
- Call Roster Settings を Call Roster に移動し、Roster を右クリックするか、Ctrl-S を押します。
- Call Roster Compact Mode は、マルチバンドの場合、バンドを表示します
- Call Roster Settings の Call Roster Compact Mode エンティティの選択、デフォルトは「DXCC」
- Call Roster Settings に Call Roster Window Filters を追加、Ctrl+R でフィルタをリセット
- Call Roster POTA 列をソートできるようになりました
- OAMS ベースのバンド活動を追加
- アワード トラッカー CQ ゾーンとステートの修正
- <...> Call Roster では UNKNOWN として扱います
- LoTW ダウンロードボタンが反応しない問題を修正

Copyright © 2023 Stephen Loomis / N0TTL

Copyright © 2023 GridTracker.org

All rights reserved.

GridTracker uses the OSS compliant BSD 3 Clause License

Source code is available at GitLab: <https://gitlab.com/gridtracker.org/gridtracker>

付録

付録 A グリッドトラッカーのインストール

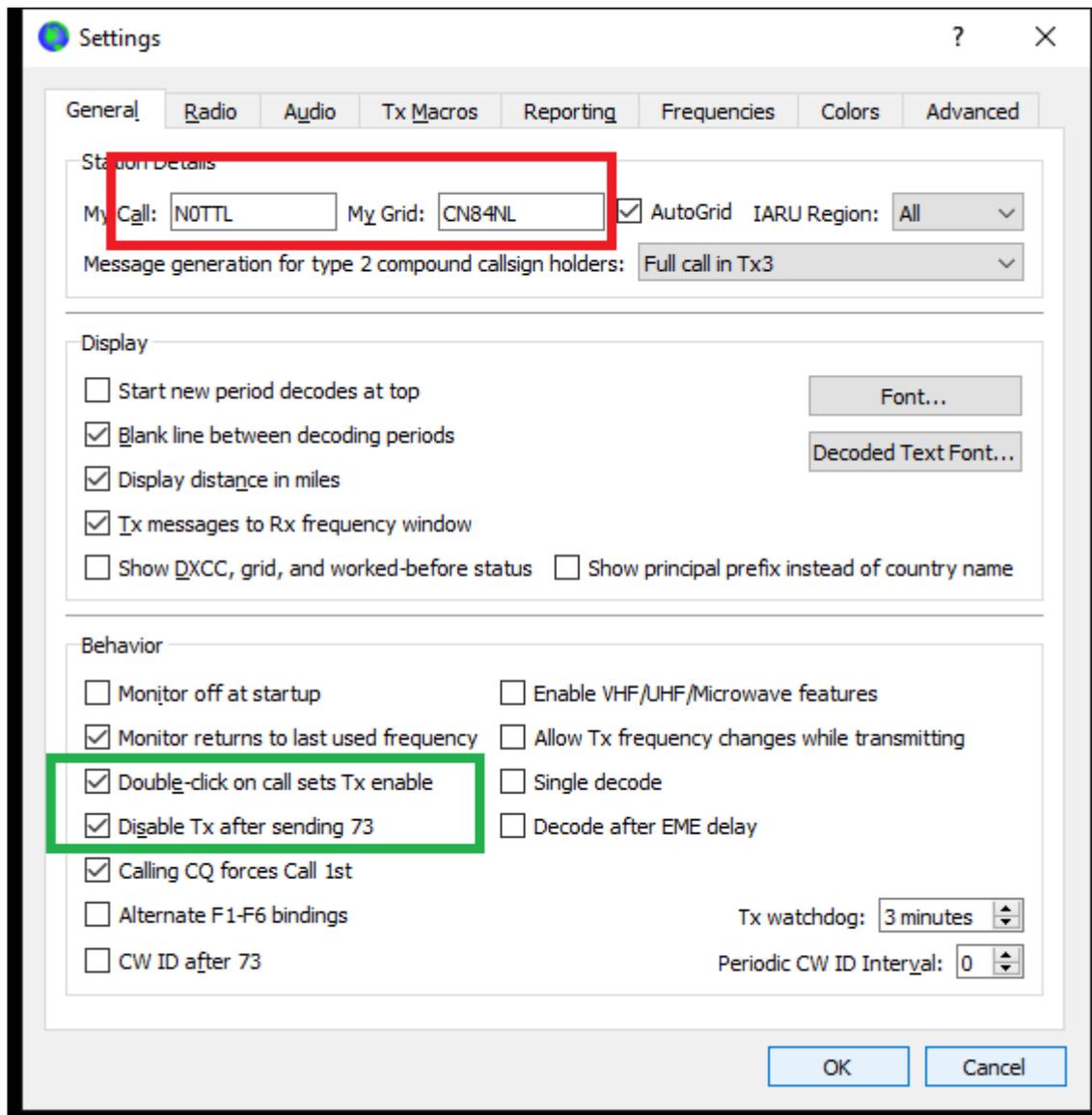
(略:英文の原本を参照してください : Home·Wiki·GridTracker.org / GridTracker·GitLab)

付録 B GridTracker 用の WSJT X および JTDX の構成

GridTracker 用の WSJT-X の構成

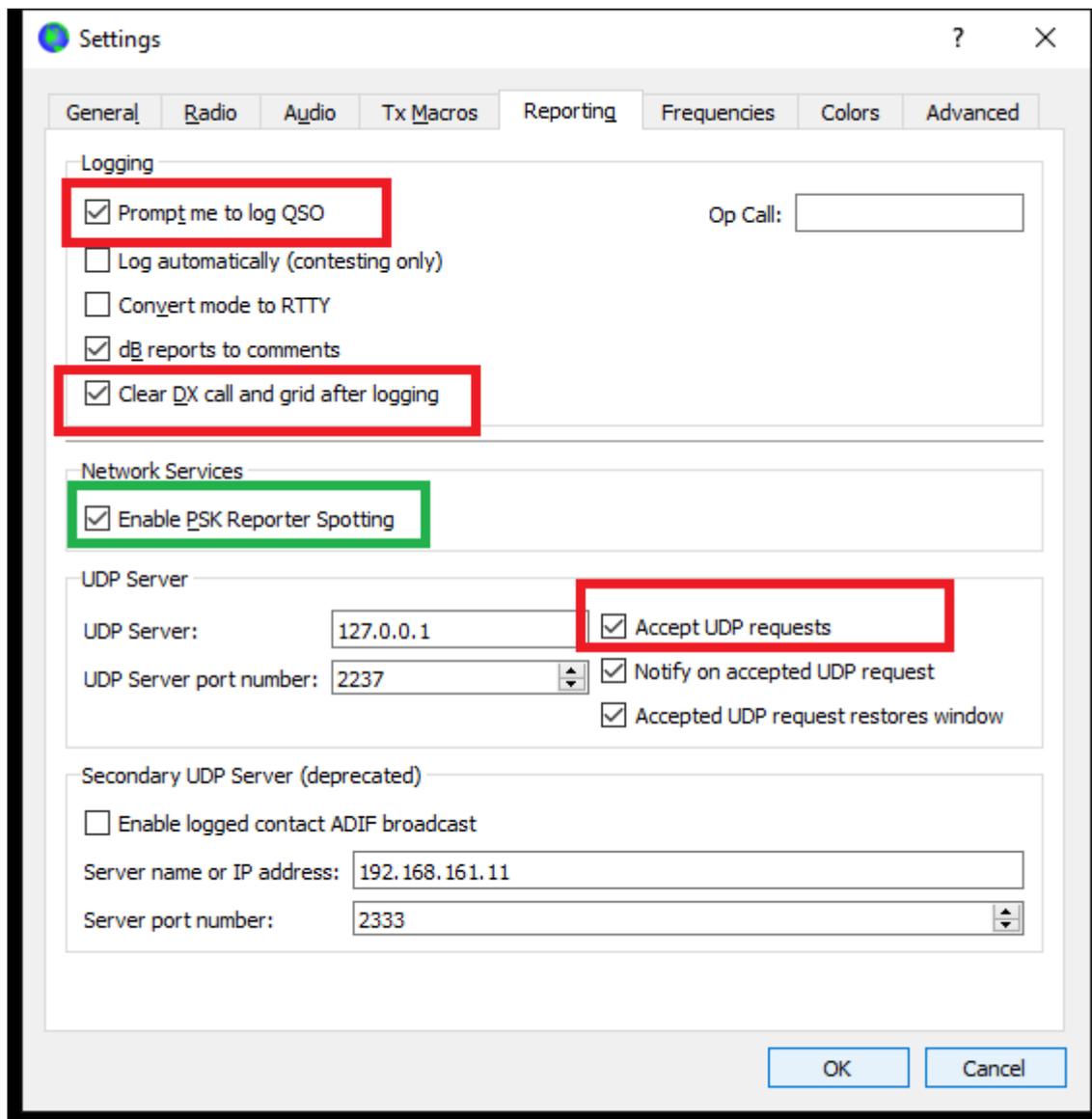
WSJT-X 設定 > 一般タブで、コールサインと メイデンヘッド グリッド スクエア を入力する必要があります。マップとスポット レポートの精度を高めるために、グリッドを "MH6" グリッド スクエア (例: CN84NL 対 CN84) に設定することをお勧めします。

また、「コール セットのダブルクリックで Tx を有効にする」と「73 を送信した後に Tx を無効にする」を有効にすることをお勧めします。



WSJT-X の [設定] > [Reporting] タブで、GridTracker が WSJT-X で適切に機能するには、[QSO をログに記録するようにプロンプトを表示する]、[ログ記録後に DX 呼び出しとグリッドをクリアする]、[UDP 要求を受け入れる] のオプションが必要です。 これらを有効にしないと、イライラしたり、ログが失われたり、マップビューで奇妙な動作が発生したりする可能性があります。

"PSK Reporter Spotting" を有効にして、他の WSJT-X ユーザーや GridTracker ユーザーが自分の領域で伝播しているかどうかを知り、より多くのデータを "Band Activity Graph" に提供できるようにすることをお勧めします。



GridTracker の構成に進み、GridTracker が WSJT-X からメッセージを受信していることを確認します。

GridTracker 用の JTDX の構成

JTDX Settings / General タブで、Callsign と メイデンヘッド グリッド スクエア を入力する必要があります。マップとスポット レポートの精度を高めるために、グリッドを "MH6" グリッド スクエア (例: CN84NL 対 CN84) に設定することをお勧めします。

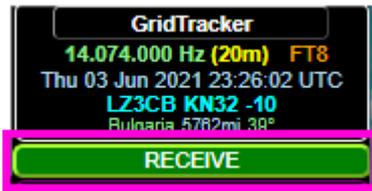
The screenshot shows the 'Settings' dialog box with the 'General' tab selected. The 'Station Details' section is highlighted with a red box, showing 'My Call: N0TTL' and 'My Grid: CN84nl'. Other settings include 'ARU Region: All' and 'Message generation for type 2 compound callsign holders: Full call in Tx3'. The 'Logbook filtering' section has 'Use current callsign' and 'Use current grid' unchecked. The 'Display' section has 'Blank line between decoding periods' checked and 'Use dark style' unchecked. The 'Behavior' section has 'Monitor off at startup' checked and 'CW ID after 73' checked. The 'Tx watchdog timer' is set to 6 minutes and the 'Tune timer' is set to 30 seconds.

GridTracker が JTDX で適切に機能するには、JTDX 設定/レポート タブのオプションで、[QSO をログに記録するようにプロンプトを表示する]、[ログ記録後に DX 呼び出しとグリッドをクリアする]、および [UDP 要求を受け入れる] が必要です。 これらを有効にしないと、イライラしたり、ログが失われたり、マップ ビューで奇妙な動作が発生したりする可能性があります。

「PSK Reporter Spotting」と「Enable DXSummit Spotting」を有効にして、他の JTDX ユーザーや GridTracker ユーザーが伝播しているかどうかを知り、お住まいの地域の「バンド アクティビティ グラフ」により多くのデータを提供できるようにすることをお勧めします。

GridTracker の構成に進み、GridTracker が JTDX からメッセージを受信していることを確認します。

WSJT-X および JTDX 用の GridTracker の構成

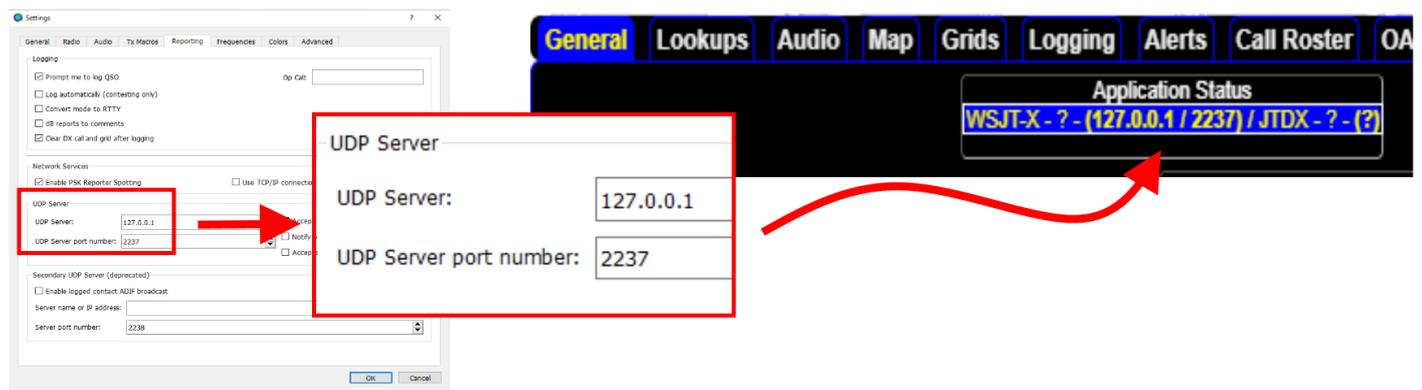


GridTracker の IP アドレスとポートの設定は、WSJT-X のものと一致する必要があります。そうしないと、2つのアプリケーションが相互に通信できなくなります。WSJT-X を開いても、コントロール パネルに "RECEIVE" が表示されない場合は、GridTracker の設定を確認してください。

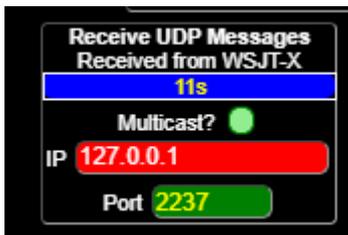
これを行うには、機能ボタン パネルの [ギア] ボタンをクリックして [設定] メニューを開きます。[設定] メニューが開いたら、[一般] タブ (左側の最初のタブ) をクリックして、IP とポートの設定を確認します。

[全般] タブの上部にある [アプリケーション ステータス] には、次のように表示されます。

WSJT-X - ? - (127.0.0.1/2237)/JTDX - ? - (?)



127.0.0.1 はローカルホスト (PC) の IP であり、GridTracker の初期設定です。2237 はポートです。



224.0.0.0 ~ 239.255.255.255 の範囲のマルチキャスト IP を使用している場合は、マルチキャストを有効にして IP を入力する必要があります。これを行うには、[マルチキャスト?] の横にあるボタンをクリックします。IP アドレスを入力します。ポート番号は 2237 のままです。

注: WSJT-X と GridTracker を別々のコンピューターで実行している場合は、マルチキャスト アドレス 224.0.0.1 を使用します。

それでもネットワークに問題がある場合、トラブルシューティングには、ローカルおよびリモート ネットワーク

アクセス用のオペレーティング システムまたはサード パーティのファイアウォールとアプリケーションの設定が関係している可能性があります。Windows を使用していて、BitDefender などのサービスを有効にしている場合は、アプリケーションの設定に移動し、WSJT-X と GridTracker の両方にプライベートおよびパブリック ネットワーク アクセスを許可する必要があります。どちらのアプリケーションでもネットワークが有効になっていないことがわかった場合は、変更を行った後、ネットワーク設定の変更を有効にするために、GridTracker と WSJT-X の両方を再起動する必要があります。

付録 C ホットキー

「ホットキー」とは何ですか？

「ホットキー」とは、コンピュータのキーボード上のキーまたはキーの組み合わせであり、押すと、マウスやその他の入力デバイスを使用するよりも迅速に機能またはタスク（アプリケーションの起動など）を実行します。ホットキーは「ショートカット キー」と呼ばれることもあり、多くのオペレーティング システムやアプリケーションでサポートされています。

GridTracker で「ホットキー」はどのように使用されますか？

GridTracker ホットキーを使用すると、メニューをバイパスして機能を実行できます。ただし、一部の GridTracker 機能は、ホットキーを使用することによってのみ使用できます。プログラム メニューでは使用できません。

では、GridTracker 専用のマスター「ホットキー」リストはありますか？

GridTracker ホットキー リストには、プログラムの使用中にアクセスするための独自のホットキーもあります。

注:ホットキー”F1”で表示されるホットキー リストの下部には、クリックしてリストを印刷できるボタンがあります。

| ホットキー一覧 (v1.21.0620) | Key が 2 種類描かれている場合は“日本語キーボード” or “英語キーボード”

Key	Action	Key	Action
1	一般地図レイヤーを表示	Q	サイクルログブック/ライブビュー
2	CQ ゾーン アワード レイヤーを表示	R	コール・ロースターウィンドウを開く
3	ITU ゾーン アワード レイヤーを表示	S	設定メニューを開く
4	大陸アワードレイヤーを表示	T	グリッド上の RX スポットの切り替え
5	米国の州アワードレイヤーを表示	アラート: Notify の種類を右クリック後に T	Text-To-Speech アラートを選択
6	DXCC アワード レイヤーを表示	U	アワードレイヤー結合の切り替え
7	米国の郡アワードレイヤーを表示	アラート: Notify の種類を右クリック後に V	ポップアップアラートを選択
8	US Continental Grids Award レイヤーを表示	W	メイデンヘッド グリッド サイズの切り替え
9	タイムゾーンオーバーレイの切り替え	X	地図の位置情報の切り替え

0	US Nexrad オーバーレイの切り替え	Y	Toggle グローバルライトニング
∧ or =	サイクルアワードレイヤー “∧”：日本語キーボード “=”：英語キーボード	Z	QTH グリッドのセンターマップ
A	アクティブ パス アニメーションの切り替え	F1	ホットキー リスト (このリスト)
B	メイデンヘッド グリッド オーバーレイの切り替え	F5	マップ位置 1 を呼び出す
C	条件ウィンドウを開く	Shift-F5	マップ位置 1 を保存
D	ムーントラッキングの切り替え	F6	マップ位置 2 を呼び出す
E	24 時間ムーン トラジェクトリの切り替え	Shift-F6	マップ位置 2 を保存
F	RX スポット フライトの切り替え	F7	マップ位置 3 を呼び出す
G	グリッド トラッカー フラグの切り替え	Shift-F7	マップ位置 3 を保存
		F8	マップ位置 4 を呼び出す
I	統計情報を開く	Shift-F8	マップ位置 4 を保存
K	スクリーンショットをキャプチャ	F9	マップ位置 5 を呼び出す
L	ADIF ファイルを開く	Shift-F9	マップ位置 5 を保存
M	音声ミュートの切り替え	F10	マップ位置 6 を呼び出す
アラート:Notify の種類を右クリック後に M	マップ センターまたはメディアファイル アラートを選択	Shift-F10	マップ位置 6 を保存
N	灰色の線を切り替え	F11	フルスクリーン切り替え
O	RX スポットの切り替え	F12	サイドバー メニューの切り替え
P	グリッド/プッシュ ピン モードの切り替え		

ホットキーの詳細

[1] ベース地図レイヤーを表示

オーバーレイなしのベース GridTracker マップ レイヤーを表示します。 キーボードの「1」を押すと、以前に選択したオーバーレイがクリアされます (データは失われません)。

[2] CQ ゾーンアワードオーバーレイを表示

CQ Zones マップ オーバーレイを表示します。このレイヤーには、世界中の個々の CQ ゾーンがすべて表示されます。GridTracker のログ ファイルに「確認済み」としてリストされている特定のゾーンは、この賞を探すときに使用するためにマップ上で強調表示されます。注: ここで使用されている「確認済み」とは、WSJT-X 内で QSO を「確認」したことを意味します。関係する他のステーションによって QSO が確認されているとは限りません。

[3] ITU ゾーンアワードのオーバーレイを表示

ITU ゾーン マップ オーバーレイを表示します。このレイヤーには、世界中の個々の ITU ゾーンがすべて表示されます。GridTracker のログ ファイルに「確認済み」としてリストされている特定のゾーンは、このアワードを探すときに使用するためにマップ上で強調表示されます。上記の CQ ゾーンアワードオーバーレイの説明の下にある「確認済み」の意味の説明を参照してください。

[4] 全大陸アワードオーバーレイを表示

大陸地図オーバーレイを表示します。このレイヤーには、世界中のすべての個々の大陸が表示されます。GridTracker ログ ファイルで「確認済み」としてリストされている特定の大陸は、「すべての大陸と交信」アワードを探すときに使用するためにマップ上で強調表示されます。上記の CQ ゾーンアワードオーバーレイの説明の下にある「確認済み」の意味の説明を参照してください。

[5] 米国の州アワードのオーバーレイを表示

50 州のそれぞれを個別に概説する米国マップ レイヤーを表示します。GridTracker のログ ファイルに「確認済み」としてリストされている特定の州は、「Worked All States」アワードを探すときに使用するためにマップ上で強調表示されます。上記の CQ ゾーンアワードオーバーレイの説明の下にある「確認済み」の意味の説明を参照してください。

[6] DXCC アワード オーバーレイを表示

このマップ レイヤーは、世界中のすべての DXCC エンティティを個別に概説します。GridTracker ログ ファイルで「確認済み」としてリストされている特定の DXCC ロケーションがマップ上で強調表示されます。このレイヤーは、切望されている DXCC アワードを探している人にとって特に便利です。上記の CQ ゾーンアワードオーバーレイの説明の下にある「確認済み」の意味の説明を参照してください。

[7] 米国郡アワードのオーバーレイを表示

個々の郡別に米国のマップ レイヤーを表示します。このレイヤーには、米国の 50 州すべてが表示されます。GridTracker ログ ファイルに「確認済み」としてリストされている特定の州は、「Worked All States」アワードを探すときに使用するためにマップ上で強調表示されます。上記の CQ ゾーンアワードオーバーレイの説明の下にある「確認済み」の意味の説明を参照してください。

[8] 米国大陸グリッドアワードのオーバーレイを表示

米国本土 48 州（アラスカとハワイを除く）の個々のグリッド スクエアごとに米国のマップ レイヤーを表示します。GridTracker ログ ファイルに「確認済み」としてリストされている特定のグリッド スクエアは、このアワードを探すときに使用するためにマップ上で強調表示されます。上記の CQ ゾーンアワードオーバーレイの説明の下にある「確認済み」の意味の説明を参照してください。

[9] タイムゾーン オーバーレイの切り替え

このホットキーを押すと、ワールド タイム ゾーンのオーバーレイのオンとオフが切り替わります。

重要な注意: タイムゾーン オーバーレイは、アワード オーバーレイの上または併用して使用することはできません。

[O] 米国 NEXRAD オーバーレイの切り替え このホットキーを押すと、米国 50 州の NEXRAD オーバーレイのオンとオフが切り替わります。NEXRAD または Nexrad (次世代レーダー) は、米国国立気象局 (NWS) およびその他の米国機関によって運用されている 159 の高解像度 S バンド ドップラー気象レーダーのネットワークです。

[=]または[∧] サイクル アワード オーバーレイ

キーボードの[∧]: 日本語キーボード または [=]: 英語キーボードを押すと、マップ ビューが連続して循環し、上記のアワード レイヤーが表示され、ベース マップ ビューに戻ります。オーバーレイをすぐにクリアするには、[1] キーを押してベース マップ ビューに戻ります。

注: タイムゾーン オーバーレイの使用中は、アワード オーバーレイをオンにする (またはアワードを循環させる) ことはできません。

[A] アクティブ パス アニメーションの切り替え

このホットキーを押すと、GridTracker QSX および QRZ パス アニメーションのオンとオフが切り替わります。オフの場合、マップ上に表示されるパスは、アクティブにアニメーション化されたパスではなく実線になります。これはユーザー設定であり、コンタクトの作成には影響しません。

[B] メイデンヘッド グリッド番号オーバーレイの切り替え

このホットキーを押すと、ワールド ワイド グリッド スクエア オーバーレイのオンとオフが切り替わります。マップのズーム レベルに応じて、メジャー (2 桁) またはマイナー (4 桁) のグリッド スクエア情報が表示されます。マップをズームインまたはズームアウトすると、スペースが利用可能になると、グリッド情報がいっぱいになったり縮小したりします。

[C] コンディション ウィンドウを開く

このホットキーを押すと、Solar-Terrestrial Data ウィンドウが開きます。この情報は、太陽と地球の相互作用および関連するアマチュア無線の帯域条件に関するより詳細な情報を探している人に役立ちます。データは <http://www.hamqsl.com/> から取得されます。角の「×」をクリックしてウィンドウを閉じます。

[D] ムーントラッキングの切り替え

このホットキーを押すと、マップ上の月のアイコンのオンとオフが切り替わります。アイコンは、地球の周りを回転する月の相対的な現在位置を示しています。これは、デジタル EME (Earth-Moon-Earth) 交信先を使用したい人にとって特に便利です。

[E] 24 時間ムーン トrajエクトリの切り替え -- ホットキーでのみ利用可能な機能

このホットキーを押すと、マップ上の月の軌道線のオンとオフが切り替わります。軌跡の線は、今後 24 時間で地球を回る月の予測位置を示しています。これは、デジタル EME (Earth-Moon-Earth) 交信先を使用したい人にとって特に便利です。

注: このキーは、月の追跡アイコンがオンになっている場合にのみ機能します。

[F] スポット フライト

このホットキーを押すと、PSK Spots のスポット パスのオンとオフが切り替わります。オンにすると、すべてのスポットのスポット パスが表示されます。スポット パスはアニメーション化されません。

[G] GridTracker フラグの切り替え

このホットキーを押すと、GridTracker フラグ アイコンが切り替わり、「ライブ GridTracker/Log4OM ユーザー」、「現在のバンドのライブ GridTracker/Log4OM ユーザー」、が表示またはオフされます。

「ライブ GridTracker/Log4OM ユーザー」に切り替えると、マップに表示されるフラグは、現在 GridTracker を使用しており、OAMS ネットワークに接続されているすべてのユーザーを示します。「バンド内のライブ GridTracker/Log4OM ユーザー」に循環すると、現在作業中のバンドで現在 GridTracker または Log4OM を使用しているユーザーのみにフラグが表示されます。

[H](2023 年 2 月 6 日現在、H に割り当てられている機能はありません)

[I] 統計/情報ウィンドウを開く

このホットキーを押すと、GridTracker 統計ウィンドウが開きます。このウィンドウには、ログブック情報、アワード ハンティング ステータス、ライブ コンタクトとデコード情報など、コールサインでキャプチャされたすべての GridTracker 統計が表示され、「スコア」統計にはさらに多くの情報が表示されます。このウィンドウは、GridTracker をどのように使用してきたかについて、より詳細な情報を探している人にとって特に便利です。

[J](2023 年 2 月 6 日現在、J に割り当てられている機能はありません)

[K] スクリーンショットをキャプチャ

このホットキーは、現在の GridTracker ビューのスクリーンショットをキャプチャします。個人的な履歴目的 (GridTracker マップ ビュー情報を取得したい、特に難しい交信先を作成した場合など)、またはサポート リクエストの一部として GridTracker.org チームに送信するなどのより日常的な目的で使用できます (これは、バグ修正に取り組む際に非常に役立ちます)。~Documents/GridTracker/screenshots に配置される .png を作成し、簡単に貼り付けられるようにクリップボードにコピーします。

[L] ADIF ファイルを開く

このホットキーはダイアログを開き、ローカル コンピューターまたはネットワークで使用可能な任意の .ADIF /.ADI ログブックを選択して GridTracker にロードできます。

Windows システムを実行している場合、開かれる初期設定のファイル ディレクトリは次のとおりです。

C:¥Users¥[ユーザー名]¥Documents¥GridTracker または、

C:¥Users¥[ユーザー名]¥OneDrive¥Documents¥GridTracker

Mac を実行している場合、開かれる初期設定のファイル ディレクトリは次のとおりです。

~/Documents/GridTracker/

Linux システムを実行している場合は

/home/\$USER/Documents/GridTracker/

[M] 音声ミュートの切り替え

このホットキーは、GridTracker のオーディオ設定のオンとオフを切り替えます。オフの場合、GridTracker によって生成されるオーディオ アラートまたはオーディオ サウンドは無効になります。これをオンに戻すと、すべてのオーディオ サウンドが再度有効になります。

[Notify をクリック後に、M] - マップ センター アラート、またはメディアファイル アラートの選択

このホットキーは、「設定」「アラート」の[Notify]をクリックしてから M キーを押すことによって実行されます。

[N] グレーラインの切り替え

このホットキーは、GridTracker の「グレーライン」バンドをオンまたはオフにします。「灰色の線」は、昼と夜を分ける地球の周りの帯です。

[O] PSK スポットの切り替え

このホットキーを押すと、PSK スポットのオンとオフが切り替わります。オンにすると、サイドバーメニューで定義された期間、すべての PSK スポットの位置が表示されます。

[P] グリッド/画鋏モードの切り替え

このホットキーは、各ライブ コンタクトのビューを、標準のグリッド スクエア カラー ブロックから個々のコールサインの個々のプッシュピンに切り替えます。押しピンの色は、MH6 モードではバンドごとに設定され、MH4 では初期設定で「赤」に設定されます。このモードは、「PSK-Reporter.info」の表示スタイルに敬意を表しています。

[Q] ログブック / ライブビュー

このホットキーは、マップ ビュー (グリッド モードまたは画鋏モード) を切り替えて、3 つのデータ設定のいずれかを表示します。現在のモードとバンドに対して GridTracker に含まれるすべてのライブ デコード、そのモードとバンドに対して GridTracker ログブック全体に含まれるすべての発信先、または両方の組み合わせ。モードまたはバンドを変更すると、表示されるデータが変更されます。

[R] コール・ロースターウィンドウを開く

このホットキーは、GridTracker で Call Roster ウィンドウを開きます。Call Roster とその使用方法については、このマニュアルの「Call Roster とは」セクションで説明されています。

[S] 設定を開く

このホットキーは、GridTracker の設定ウィンドウを開きます。[設定] ウィンドウに表示されるさまざまなタブについては、このマニュアルの他のセクションで説明されています。これらのセクションは、よくわからない変更を行う前に参照する必要があります。

[T] グリッド上の SPOTS を切り替えます

このホットキーを押すと、標準のグリッド ビュー (Logbook、Live 共に) がオン・オフされます

[Notify をクリック後に、T] TTS (テキスト読み上げ) アラートを選択

このホットキーは、「設定」「アラート」の[Notify]をクリックしてから T キーを押すことによって実行されます。

[U] アワードレイヤー結合の切り替え

アワード レイヤーがアクティブなときにこのホットキーを押すと、アワード レイヤーがアクティブなマップ情報 (ライブ デコード、ログブック データ、SPOTS など) をオーバーレイすることができます。これは、マップ上の特定の領域で発信先を検索する場合に役立ち、その領域の発信先が入力を提供するアワードを表示できます。